



宮崎大学医学部附属病院
Faculty of Medicine, University of Miyazaki Hospital

宮崎大学医学部医療人育成課 卒後臨床研修係
〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200
TEL : 0985-85-1864 FAX : 0985-85-0693
E-mail : senmoni@med.miyazaki-u.ac.jp



専門研修プログラム HP

[http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/
home/senmoni/](http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/senmoni/)

宮崎大学医学部附属病院専門研修プログラム 2024

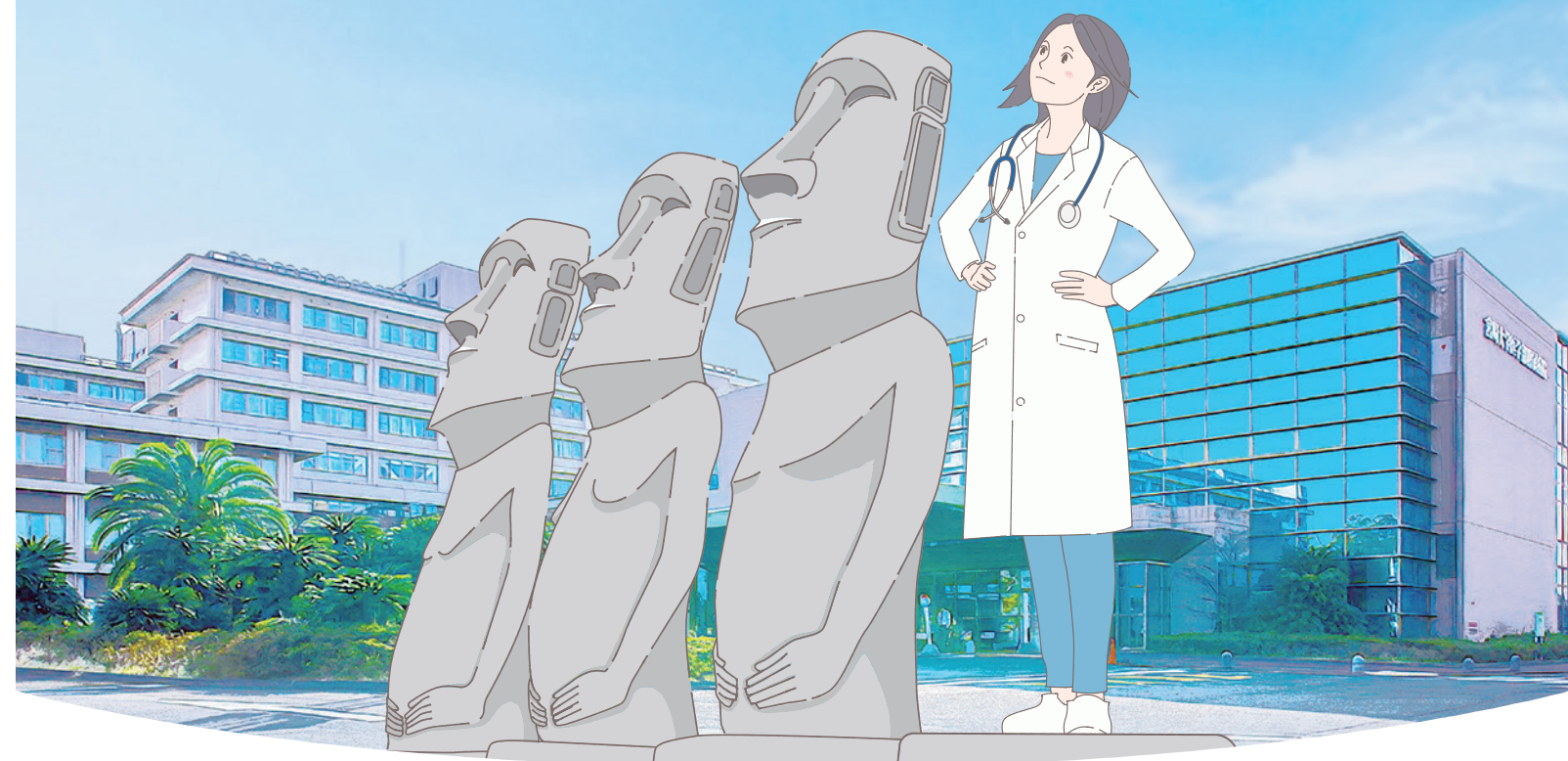
2023年7月発行

発行 宮崎大学医学部附属病院 医療人育成推進センター
宮崎大学医学部医療人育成課 卒後臨床研修係

発行人 小松弘幸(医療人育成推進センター 副センター長)

制作 スパークジャパン株式会社

宮崎大学医学部附属病院 専門研修プログラム Specialized Training Program 2024



宮崎大学
UNIVERSITY OF MIYAZAKI



CONTENTS

- 01 挨拶 病院長・卒後臨床研修センター長
- 03 病院紹介
- 05 専門研修プログラム
合同説明会、病院見学のお知らせ
- 06 各領域の専門研修プログラム紹介
- 59 専攻医の処遇について／病院施設紹介
- 60 ワークライフバランス／アクセス



表紙絵「サンメッセ日南のモアイ像」

宮崎県日南海岸の小高い丘に、10体のモアイ像が存在しています。1992年に日本がチリのイースター島のモアイ像の修復に協力したお礼として、イースター島から正式な許可を得て、復刻建立されました。海沿いに並べられた7体は「アフ・アキビ」と呼ばれ、触ると運氣が上がるといわれています。

病院長挨拶

The future depends on what you do in the present

病院長 帖佐 悦男

専門医を目指す皆さん、宮崎大学医学部附属病院の専門研修プログラムへようこそ。本冊子では、各プログラムをそれぞれ見開き1枚で紹介しており、その内容は、研修到達目標、利点、アピールポイント、専門医取得までのロードマップ、プログラム責任者や指導医からのコメント、先輩専攻医の体験談などです。まずは全ての診療科にふれてください。新たに気になる診療科に出会えるかもしれません。興味のある診療科を含め気になることがあれば、私を含め各診療科の先生へ、何でも気軽に相談してください。

コロナウイルス感染症は5類へ移行し、以前の日常生活を取り戻してきました。さあ、待ち望んでいた専門研修が始まります。専門医を目指す皆さんにもそれぞれの「希望」や「夢」があると思いますので、プログラムを十分活用し、キャリアを積み重ねステップアップすることで、理想の専門医を目指してください。その先にはサブスペシャリティを含め、より専門性の高い医師になる道が開かれています。それを実現するために、本院では臨床のみでなく研究や教育のチャンスもあることや、厳しさの中にも温かみのある「よき指導者」のもとで専門研修が受けられるようになっています。また、臨床で疑問に思ったことの基礎研究やトランスレーショナルリサーチも可能です。メディカルスタッフや学生教育にも一緒に参加す

ることで、自己研鑽にもつながります。「よき指導者」に加え、皆さんたちをサポートしてくれる素晴らしいメディカルスタッフも大勢います。私自身も良きメンターと出会えたことで、今の自分があります。きっと皆さんたちも当院のプログラムでかけがえのないメンターに会えると確信しています。

また、大学病院だからこそ診ることのできる稀有な疾患をはじめ、common diseasesを含めた様々な疾患の経験と共に真の地域医療を経験することができ、専攻医の皆さんたちを多方面からサポートする体制が整っています。他施設にない県、医師会、多くの関連施設と「All Miyazaki体制」が構築されており、医療関係者のみならず、患者さんからの若手医師である皆さんを厚遇したいという「気持ち」がひしひしと伝わってくる環境にあります。安心して専門研修に取り組んでください。

世界中的方々がCOVID-19に翻弄されてきましたが、特に基礎や臨床の両面で戦う献身的な医療従事者の姿が報道され、皆さんも様々な医療の分野で活躍したいと考えていると思います。直ぐに実現できることと経験を踏んでできることがあります。皆さんが一歩ずつ確実にステップアップすることで道が開けるようプログラムが準備されていますので、目標に向かって一緒に頑張りましょう。

卒後臨床研修センター長挨拶

宮崎から世界へ！
“オンリーワン”の専門医が育つ宮大専門研修プログラム

宮崎大学医学部では、医師養成における『卒前・卒後一貫教育の充実』を目指しています。2015年には医療人育成推進センターが新設され、卒後臨床研修センターとともに医学部臨床実習から卒後臨床研修、そして専門医プログラムまでを俯瞰できる体制を構築し、宮崎県全域の中核医療施設から地域の最前線で活躍する施設を網羅した、“All Miyazaki型”の医師養成フィールドを充実させてきました。その結果、現在では、宮崎大学医学部と連携している60以上の医学教育施設の約7割が、医学生と研修医、そして専攻医を同時に受け入れて下さっています。このような大学と中核病院、地域医療が密接に連携して多彩な研修フィールドを提供できる体制は宮崎大学の強みだと思いますし、宮崎大学出身者はもとより、宮崎県が策定した『キャリア形成プログラム』を選択する若手医師の方にとっても、安心して医師キャリアを積んでいただける環境だと思います。もちろん、臨床研修修了後に初めて宮崎で医師キャリアを開始する方にとっても、宮崎は穏やかな県民性もあって、専攻医として伸び伸びと医療に向き合っていただける快適な条件が揃っており、とても過ごしやすいと思いますよ！

医療人育成推進センター 教授
卒後臨床研修センター長

小松 弘幸



宮崎大学医学部附属病院には基本19領域全ての専門プログラムおよび専門医機構認定サブスペシャリティ領域の研修が整備されています。各領域責任者の熱いメッセージ、宮崎大学ならではの達成目標やスケジュール、先輩医師の生の声をぜひご覧下さい！どの領域でも『宮崎の最後の砦』として、多彩な経験を持つ医師が連携しながら、診療のみならず、基礎・臨床研究や医療者育成に尽力しております。

本学では創設以来ベプド研究を始めとする基礎研究が比較的盛んですが、最近では患者データに立脚した臨床研究も活発に行われています。特に宮崎は、同一患者さんを長期フォローアップしやすい利点を活かしたコホート研究に適した環境です。宮崎で専攻医として診療や研究スキルの基礎を修得しながら、自分の興味ある専門領域を発見し、そこを極めていくと、「××のことなら〇〇先生」といった“オンリーワン”の存在として同年代の医師より早く活躍しやすいのも特徴です。

ぜひこの宮崎で、国内あるいは世界を視野に“オンリーワン”の存在として輝いてみませんか！ 私たちは宮崎で学び活躍する専攻医を全力で支援・応援させていただきます！

宮崎大学医学部附属病院では、診療、教育、研究を通して「社会に貢献する」ことを理念として掲げています。宮崎大学医学部附属病院は、多くの診療科と中央診療施設等を中心に、県内唯一の特定機能病院として、また医育機関として、診療、教育、研究、さらに地域医療に貢献しています。また、宮崎県を始めとする自治体、医師会、大学病院の三者が一致協力して、All Miyazaki体制を築き、多くの分野にわたって医療提供体制を整備しています。各基本領域の専門研修プログラムにおいても県内の地域病院と連携し、県内全領域をフィールドに、先端医療から地域医療まで経験することができます。

若手医師や医療人は「貴重な地域資源」です。その育成と確保は大学病院の果たすべき地域貢献であると考えています。All Miyazaki体制では臨床研修から専門研修まで一貫した県内研修、それぞれのキャリアプランに合わせて自由度の高いプログラムを構築し、人間性豊かな、かつ「宮崎愛」を持った医療人の育成を目指しています。

診療科名	先進医療名	承認年月日
脳神経外科	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	H20.6.1
眼 科	ウイルスに起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)	R2.8.1
眼 科	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)	R2.8.1

宮崎大学医学部附属病院では、低侵襲手術を行うため、内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使用し、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（泌尿器科）、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（呼吸器外科）等を行っております。

東九州メディカルバレー構想を基に宮崎県・大分県の東九州地域において産学官連携による研究開発の推進などに取り組み、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指し、宮崎県の企業と共同開発しています。

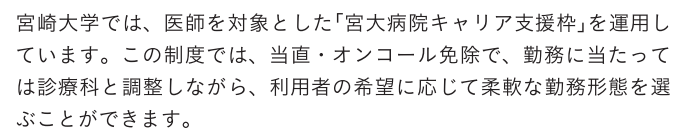
宮崎大学医学部附属病院救命救急センターでは「For MIYAZAKI」をスローガンに掲げ、宮崎県民のための救急医療の充実に取り組みながら、ドクターヘリやドクターカーによる病院前救急診療の研修にも力を注いでいます。

厚生労働省が行う救命救急センター充実段階評価で最高評価のS評価を受けました。救命救急センター充実段階評価は、全国の救命救急センターを対象に毎年実施しており、診療体制や患者受け入れ実績に基づいて点数化し(評価項目に対して)、施設の充実度を区分するものです。評価項目には「地域の重篤患者受け入れ数」・「行政・医師会などと連携した勉強会の開催」など地域の貢献度を評価する項目が盛り込まれています。県内の重症救急の患者さんの「最後の砦」として、そういった患者さんを積極的に受け入れると同時にいろんな教育機能、社会貢献などにも積極的に研究成果を大々的に発信ができるようにしています。

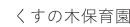
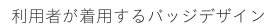


チーム医療の一員として医師事務作業補助者(DC：ドクターズクラーク)を配置し、医師の事務的業務の削減に取り組んでいます。DCのおかげで医師として患者さんのベッドサイドに行ったり、治療方針を考えたり

する時間も増え、医師が医師としての仕事に専念することができる環境をサポートするほか、患者さんに対してもきめ細やかなサービスを提供しています。



- 子育てや介護のため、フルタイムで働くことが難しい
- しばらく職場を離れていたけれどそろそろ復職したい
- これからのためにもっと自分のスキルを高めたい
- はじめての宮崎で、医師として働くきっかけをつかみたい



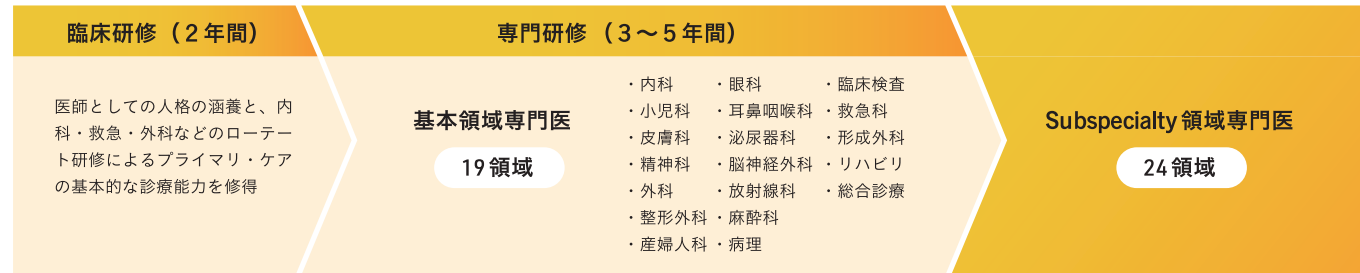
「保育園」や「就学児の一時的に預かるための施設」も設置しています。詳しくはP59をご覧ください。



みやざきで
はじめよう！新時代で咲き誇る
専門医を育てる現場体験を重視し
共に学ぶ

○新専門医制度の枠組み

宮崎大学では、臨床研修(2年)修了後は、シームレスな体制で、新しい専門医制度に即した専門研修プログラムを19領域用意しております。宮崎県での研修は、現場体験を重視し、教えるというよりも、一緒に学んでいくスタイルです。

○宮崎県専門研修
プログラム合同説明会

毎年6月下旬から7月初旬にかけて、研修医・医学生を対象とした宮崎県専門研修プログラム合同説明会を開催しています。県内6専門研修基幹施設のプログラムのポイント解説、各領域の個別説明を行っています。



○宮崎県の臨床研修・専門研修病院を見学してみませんか？

宮崎県の臨床研修・専門研修病院をよりよく知ってもらうために見学の受け入れを実施しております。将来の臨床研修・専門研修病院の選択に向けて情報収集をされる医学生及び臨床研修医の方を対象として交通費等の一部を支援しています。

県外の方			2023年7月現在
区分	住居地	支援額	
九州	鹿児島	15,000円	
	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分	20,000円	
中国・四国	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知	25,000円	
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	30,000円	
中部・北陸	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重	35,000円	
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川	40,000円	
沖縄	沖縄	40,000円	
北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	45,000円	

県内の医学生の方			2023年7月現在
臨床研修病院	支援額		
宮崎県立延岡病院	4,000円		
宮崎県立日南病院	3,000円		
藤元総合病院	3,000円		

県内の臨床研修医の方			2023年7月現在
区分	支援額		
延岡市⇄都城市 延岡市⇄日南市	5,000円		
宮崎市⇄延岡市 都農町⇄都城市 都農町⇄日南市	4,000円		
宮崎市⇄都城市 宮崎市⇄日南市	3,000円		
都農町⇄宮崎市 都農町⇄延岡市	2,000円		

交通支援
あります！

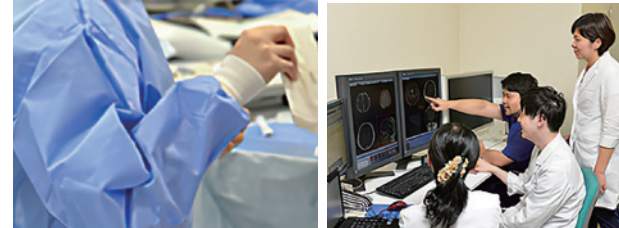
支援要件等がありますので、必ず宮崎県地域医療支援機構のHPをご確認ください。

スマートフォンからお申込できます。
宮崎県 病院見学

<https://www.med.pref.miyazaki.lg.jp/study/kengaku/>



自然環境にも恵まれた宮崎で、
より専門的でより幅広い視野を持つ
スペシャリストを育成



CONTENTS

基本領域

- 07 内科
- 10 循環器内科
- 11 腎臓内科
- 12 血液内科
- 13 脳神経内科
- 14 呼吸器内科
- 15 内分泌・代謝・糖尿病内科
- 16 膠原病内科
- 17 感染症内科
- 18 消化器内科
- 19 小児科
- 21 皮膚科
- 23 精神科
- 25 外科
- 28 消化器外科
- 28 心臓血管外科
- 29 呼吸器外科
- 29 小児外科
- 30 乳腺外科
- 30 内分泌外科
- 31 形成外科
- 33 整形外科
- 35 リハビリテーション科
- 37 産婦人科
- 39 眼科
- 41 耳鼻咽喉科
- 43 泌尿器科
- 45 脳神経外科
- 47 放射線科
- 49 麻酔科
- 51 病理
- 53 臨床検査
- 55 救急科
- 57 総合診療

- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 形成外科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 総合診療

内科専門研修プログラム

宮崎の地で内科を極める
内科専門医の育成を地域で支援します

募集定員
25名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ

内科には、熱や全身倦怠感、痛み、呼吸困難、腹痛などの自覚症状を有する患者さんが受診されます。内科医は、患者さんの多彩な訴えや症状から鑑別診断を行い、必要に応じてサブスペシャリティ領域の専門医にコンサルトし、また、肺炎、糖尿病、高血圧などのcommon diseaseに対処する必要があります。本プログラムでは、この様な全ての内科医の基盤となる研修に加え、内科の各サブスペシャリティ領域の研修も併行して行います。研修終了時には、広範囲な内科疾患の基本的な診断、治療ができることに加え、各自が選択したサブスペシャリティ領域の専門医への研修にシームレスに移行できます。

宮崎の地で、内科を極めよう。



循環器・腎臓内科学分野
教授 海北 幸一



血液・糖尿病・
内分泌内科学分野
教授 下田 和哉



呼吸器・膠原病・感染症・
脳神経内科学分野
教授 宮崎 泰可



消化器内科学分野
教授 河上 洋

プログラムの特徴

- ① 3種類の研修プログラムのなかから、研修期間や分野も自由に選択できます。
- ② 宮崎県全県下における地域の病診連携の中核のため、多数の症例を経験することができます。
- ③ 各Subspecialtyのエキスパートがそろっていますので、将来Subspecialty専門医の取得につながる内科研修が可能です。
- ④ 各種臨床試験、臨床研究や基礎的研究の基本を身につけることが可能で、将来的な大学院での研究者への道も提供できます。

連携施設名等

	施設名	指導医
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	下田 和哉 教授、他51名
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、宮崎東病院、都城医療センター、宮崎江南病院、古賀総合病院、潤和会記念病院、宮崎善仁会病院、千代田病院、平和台病院、宮崎生協病院、国立循環器病研究センター、宮崎県済生会日向病院、日南市立中部病院、高千穂町国民健康保険病院	
特別連携施設	藤元上町病院、共立病院（延岡市）、美郷町国民健康保険西郷病院、池井病院、京町共立病院、宮永病院、西都児湯医療センター、串間市民病院、宮崎市立田野病院、海老原総合病院	

プログラム達成目標

内科研修プログラムでは、主担当医として、入院から退院までの可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整を包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画をたて実行する能力

の習得を持って目標の到達とします。
専攻医3年終了時で、研修手帳に定められた70疾患群のうち、少なくとも56疾患群、160症例以上経験し登録します。また病歴要約は29症例を提出します。

専門医取得までのタイムスケジュール

本プログラムでは専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて以下の3つのコースを準備しています。

- ① 内科基本コース
- ② Subspecialty 重点コース
- ③ 内科・Subspecialty 混合コース

コース選択後も条件を満たせば他のコースへの移行も認められます。Subspecialty が未決定、または高度な内科専門医を目指す場合は内科基本コースを選択します。専攻医は各診療科の医師の指導のもと、3年間で各内科や内科臨床に関連ある救急部門などを3ヶ月から6ヶ月毎にローテートします。

将来のSubspecialtyが決定している専攻医はSubspecialty 重点コースまたは内科・Subspecialty 混合コースを選択します。
Subspecialty 重点コースはSubspecialty の希望診療分野を原則として1年か2年間研修し、研修進捗状況によって他の診療科を3ヶ月から6ヶ月毎にローテーションします。
いずれのコースを選択しても遅滞なく内科専門医受験資格を得られる様に工夫されており、専攻医は卒後6年目以降で内科専門医、その後Subspecialty領域の専門医が7年目か8年目以降で取得できます。内科・Subspecialty 混合コースは4年間かけて内科・Subspecialty領域を合わせて研修するもので、専攻医は卒後7年目以降でそれぞれ内科専門医、Subspecialtyの専門医の取得ができます。

1 内科基本コース

内科 (Generality) 専門医は勿論のこと、将来、内科指導医や高度Generalistを目指す方も含まれます。将来のSubspecialtyが未定な場合に選択することもあり得ます。内科基本コースは内科の領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースであり、専攻医研修期間の3年間において内科領域を担当する全ての科をローテーションします。原則として、延べ2年間に4科を基幹施設でローテーションします。

医師経験年数	1～2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
内科基本コース 特定の診療科に偏らず、満遍なく内科研修を行う	初期研修	内科専門研修 (宮崎大学または連携施設) JMECC受講/医療倫理・医療安全・ 感染防御に関する講習会の受講/CPC			Subspecialty 専門研修		終了認定	専門医試験
			新内科専門医 病歴提出	終了認定	筆記試験			

2 Subspecialty 重点コース

希望するSubspecialty領域を重点的に研修するコースです。3年間で内科専門研修を修了することが必須条件で、Subspecialty領域の研修を合計1年間か2年間の2タイプから選択します。Subspecialty領域研修の開始・終了時期、継続性は問いません。この期間、専攻医は将来希望する内科において理想的医師像とする指導医や上級医師から、内科医としての基本姿勢のみならず目指す領域での知識、技術を学習することにより、内科専門医取得へのMotivationを強化することができます。連携施設における当該Subspecialty科において内科研修を継続して

3年間のうち1年間は地域医療の経験と症例数が充足していない領域を重点的に連携施設で研修します。連携施設としては25施設(P7)で病院群を形成し、いずれかを原則として1年間ローテーションします(複数施設での研修の場合は研修期間の合計が1年間となります)。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、プログラム統括責任者が決定します。

Subspecialty領域を重点的に研修することも可能で、充足していない症例を経験します。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、希望するSubspecialty領域の責任者とプログラム統括責任者が協議して決定します。なお、研修中の専攻医数や進捗状況により、初年度から連携施設での重点研修を行うことがあります。あくまでも内科専門医研修が3年間で修了することが必須条件です。図に示すこのコースでは、1年型と2年型の研修コースを示していますが、Subspecialty開始・終了時期、継続期間については専攻医と面談の上、プログラム統括責任者が決定します。

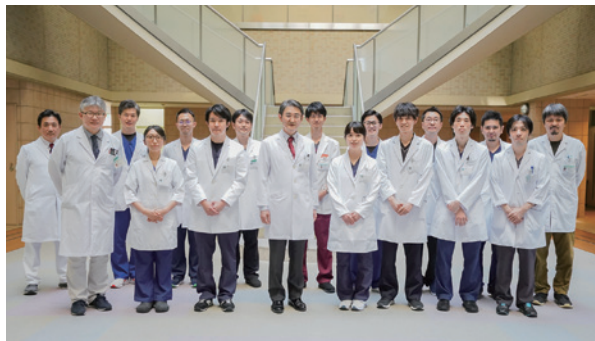
医師経験年数	1～2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
Subspecialty 重点コース Subspecialtyの研修に比重をおく期間を設ける 3年間で内科専門研修を終了することが必須条件	初期研修	内科専門研修 (宮崎大学または連携施設) JMECC受講/医療倫理・医療安全・ 感染防御に関する講習会の受講/CPC			Subspecialty 専門研修		終了認定	専門医試験
			新内科専門医 病歴提出	終了認定	筆記試験			
		Subspecialty研修 (例：2年型)	Subspecialty 専門研修 (合計2年相当) ※開始・終了時期、継続性は問わない		専門研修 終了認定	専門医試験		
		Subspecialty研修 (例：1年型)	Subspecialty 専門研修 (合計1年相当) ※開始・終了時期、継続性は問わない		専門研修	終了認定	専門医試験	

3 内科・Subspecialty 混合コース

このコースは、4年間、やや余裕をもって内科専門研修を組み、Subspecialty研修も行うもので、4年間で内科専門研修とSubspecialty領域の研修を同時に修了するものです。
Subspecialty 重点コースと同様に、Subspecialty領域研修の開始・終了時期、継続性は問いません。

研修内容や連携施設の選定などはSubspecialty 重点コースと同様に行います。このコースを選択すると内科専門医試験は卒後7年目以降に受験することとなります。また、専門医資格の取得と臨床系大学院への進学を希望する場合は、②あるいは③のコースを選択の上、大学院の指導教員と協議して大学院入学時期を決めて頂きます。

医師経験年数	1～2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
内科・Subspecialty 混合コース 4年間、やや余裕をもって内科研修を組み、Subspecialty研修も行う 3年間で内科専門研修を終了することが必須条件	初期研修	内科専門研修 (宮崎大学または連携施設) JMECC受講/医療倫理・医療安全・ 感染防御に関する講習会の受講/CPC						
			新内科専門医 病歴提出 ①	病歴提出 ②	終了認定	筆記試験		
		Subspecialty 専門研修 ※開始時期は自由				終了認定	専門医試験	



責任者からのメッセージ

循環器内科では循環器疾患の病態を深く理解し、急性期から慢性期までの循環器疾患診療を適切に行える知識や診療技術を修得するために日夜研鑽を積んでいます。そのため、当教室で修練を積んだ多くの医師は循環器内科の専門医として、大学病院および県内外の多くの医療施設で信頼される医師として活躍しております。また、当科では最先端の循環器診療を遅滞なく取り入れる努力をするとともに、当診療科発の新たな循環器診療のエビデンス創出も目指しております。循環器診療に興味をもっておられる志のある若手医師が当診療科で研修をされることを歓迎します。

領域の紹介

循環器内科では虚血性心疾患、不整脈疾患、弁膜症、心筋症および重症心不全など幅広い疾患に対して、他診療科との連携を保ちながら、総合的な診療を行うよう努めています。また、救急疾患症例(急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など)も経験することができ、救急医療に関する経験・知識も身につけることができます。心臓カテーテル検査、カテーテルアブレーション、経皮的冠動脈形成術などの検査・治療についても一人一人丁寧に行っており、内科専門医、循環器専門医による指導体制も整っています。

週間行事・研修に関する行事

時刻	月	火	水	木	金	土日
7:00						
8:00	8:00～リサーチカンファ 5F医局	8:00～TAVI前カンファ 3F外科医局	7:45～手術検討会 3F外科医局	8:00～心電図検討会 5F医局	8:00～ショートカンファ 5F医局	
9:00						
10:00	外来 初診 再診	外来 再診	外来 初診 再診	外来 再診	外来 再診	
11:00	RI 病棟業務	心カテ PCI	RI 病棟業務 心カテ	病棟業務 心カテ	RI 病棟業務 心カテ	
12:00	心カテ	TAVI	PCI	心カテ PCI	PCI	
13:00			アブ	アブ	デバイス	
14:00	14:00～病棟回診		デバイス			
15:00	15:00～病棟カンファ 5F医局		16:30～病棟入院症例の申し送り 5F医局			
16:00						
17:00	17:00～医局会 5F医局	17:00～循環器カンファ カテ症例検討		17:00～循環器カンファ 次週カテ検討		18:00～第4月曜 ACHDカンファ 5F医局
18:00						

カテーテル検査、治療について

当科では、不整脈に対するカテーテルアブレーション、虚血性心疾患に対するPCI、閉塞性肥大型心筋症に対するPTSMA(経皮的中隔心筋焼灼術)、肺高血圧症に対するバルーン形成術、末梢動脈疾患に対する血管内治療を行っております。不整脈に対するペースメーカーやICD(埋込み型除細動器)に加え、重症心不全に対してはCRT(心臓再同期療法)を多く行っています。近年、弁膜症に対するカテーテル治療介入(TAVI)の症例も増加しており、今後ますます発展していくものと考えられます。とてもやりがいのある治療です。ぜひ一緒にカテーテル治療をしましょう。



先輩からのメッセージ

循環器診療の面白さを教えて下さった先生方に憧れ、その背中を追いかけてこの世界に飛び込みました。治療に難渋した心不全の患者様が細やかな薬剤調整で症状が改善する様子に感銘を受けると同時に、心不全の再入院を減らし患者さんの幸福度を上げるために、患者背景を俯瞰して最適な医療を提供できるようになりたいと痛感しました。心不全の病態には、虚血、不整脈、弁膜症や心筋症など様々な基礎心疾患があり、画像検査や病理検査の理解、長期予後改善のためリハビリの介入や食事の調整なども重要です。また、多方面の

心不全加療における多職種連携を学ぶためには設備と人員の整った大学病院での研修が望ましいと考えました。そして何より、尊敬する先生方が所属される医局の一員となりたくて入局を決意しました。当科は今年度より海北教授をお迎えし、新体制でスタートしています。旧第一内科の先生方が積み重ねてこられた伝統を受け継ぎ、生まれ変わっていく循環器内科は、新たな幕開けを迎えたばかりです。私たちが創る、宮崎の循環器医療の未来をより良いものにするためには皆さんの力が必要です。ご入局を心よりお待ちしております。



ココに注目！生理検査室の紹介

生理検査室では、超音波検査士が中心となり、心エコー、血管エコー検査を行っています。近年ではスベックルトラッキングを用いた心機能評価や3Dによる弁形態評価なども行っています。経食道心エコー検査では、高い技術を習得した循環器内科医師のもと、3Dや解析ソフトを用いた画像構築を行い、弁膜症や先天性心疾患等の評価において質の高いエコー画像診断を行っています。自己流ではなく、「質の高い」心エコー検査の手法を学べる場として多くの若手医師の育成にも力を入れています。

週間行事・研修に関する行事

- 朝カンファレンス、分野ごとのカンファレンス・回診朝、患者申し送りを行い、指導医からフィードバックを受け、指摘された課題について学習を進めます。また分野ごとのカンファレンス・回診もあり、専門的指導を受けます。
- 総回診：受持患者について教授をはじめとした指導医陣に報告してフィードバックを受けます。受持以外の症例についても見識を深めます。
- 症例検討会(毎週)：診断・治療困難例、臨床研究症例などについて専攻医が報告し、指導医からのフィードバック、質疑などを行います。
- 診療手技セミナー(毎週)：分野ごとの診療手技において、診療スキルの実践的トレーニングを行います。
- CPC：死亡・剖検例、難病・稀少症例についての病理診断を検討します。
- 関連診療科との合同カンファレンス：関連診療科と合同で、患者の治療方針について検討し、内科専門医のプロフェッショナルリズムについても学びます。
- 抄読会・研究報告会(毎週)：受持症例等に関する論文概要を口頭説明し、意見交換を行います。研究報告会では講座で行われている研究について討論を行い、学識を深め、国際性や医師の社会的責任について学びます。
- Weekly summary discussion：週に1回、指導医とのdiscussionを行い、その際、当該週の自己学習結果を指導医が評価し、研修手帳に記載します。
- 学生・初期研修医に対する指導：病棟や外来で医学生・初期研修医を指導します。後輩を指導することは、自分の知識を整理・確認することにつながることから、当プログラムでは、専攻医の重要な取組と位置づけています。

症例および技能の達成目標

	専門研修 1年目	専門研修 2年目	専門研修 3年目
症例	カリキュラムに定める70疾患群のうち、20疾患群以上を経験し、専攻医登録評価システム(J-OSLER)に登録することを目標とする。	カリキュラムに定める70疾患群のうち、通算で45疾患群以上を(できるだけ均等に)経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム(J-OSLER)に登録することを目標とする。	主担当医として、カリキュラムに定める全70疾患群、計200症例の経験を目標とする。但し、修了要件はカリキュラムに定める56疾患群、そして160症例以上(外来症例は1割まで含むことができる)とする。この経験症例内容を専攻医登録評価システム(J-OSLER)へ登録します。既に登録を終えた病歴要約は、日本内科学会病歴要約評価ボード(仮称)による査読を受ける。
技能	疾患の診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医とともに行うことができるようにする。	疾患の診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医の監督下で行うことができるようにする。	内科領域全般について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して行うことができるようにする。

取得可能な専門医資格および技能

取得可能な専門医資格：内科専門医

取得可能な技能：総合内科Ⅰ(一般)、Ⅱ(高齢者)、Ⅲ(腫瘍)、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病および類縁疾患、感染症、その他各分野における専門的身体診察、専門的検査、治療について技能を習得できます。

指導医からのメッセージ

初期研修医時代とは違い、専攻医の皆さんの『仕事量』、『仕事内容』、そして『責任』は格段に増すと思います。将来進みたいSubspecialtyのことを視野に入れつつ、まずは内科医としての基本的な能力を培って欲しいと思います。自分としても良いと思えるような内科医を育てていきたいと考えています。頑張ってください！



先輩からのメッセージ

主治医として患者さんと疾患に携わっていくには責任も申し掛かります。その人の現状をいかに捉えてどうアプローチするか、しっかりと考えながら診療するにあたって、上級の先生や他科とも垣根が低く、大学病院だからできることもあれば、地域連携を念頭におく必要もある、ここでの研修は恵まれた環境だと感じます。県内中から集まる多彩な疾患の患者さんと、熱意のある先輩後輩から刺激を受けながら、一緒に仕事をしませんか。日々振り返りながら、新しい専門研修も安心して進められるはずです。



お問い合わせ先

担当：久富木 庸子 TEL：0985-85-9121 e-mail：naika_senmon@med.miyazaki-u.ac.jp

■ 責任者からのメッセージ

腎臓内科では、急性期から慢性期まで、全身性疾患の一部としても幅広く症例を経験することができます。また、経験豊富な多数の先輩医師が、研修医の皆さんをしっかりとサポートします。私も先輩たちから、そうやって育ててもらいました。腎臓内科の研修期間は必ず将来の糧になると思います。ともに切磋琢磨しましょう！

■ 領域の紹介

当内科では、検尿異常から腎不全まで、腎臓分野の全てを網羅する疾患の内科診療を担当しています。

- ① 検尿異常、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎機能障害に対し、評価を行った上で適応があれば腎生検を行っています。その後、病理医を交えた皆で腎病理診断に関する検討を行い、ステロイド薬や各種免疫抑制薬による治療、場合によってはアフェレーシス療法なども行っています。
- ② 腎不全に関しては、末期の慢性腎不全や院内発生の急性腎不全に対し、透析導入も含めて診療を行っています。透析に必要なバスキュラーアクセスの手術は当科で行っています。

■ 教育達成目標

【一般目標】

患者さんに寄り添いながら病歴を系統的に聴取し、全身の理学所見がとれるようになる。
また、入院後の検査の進め方や治療方針について指導医(上級医)と議論できるようになる。

【個別行動目標】

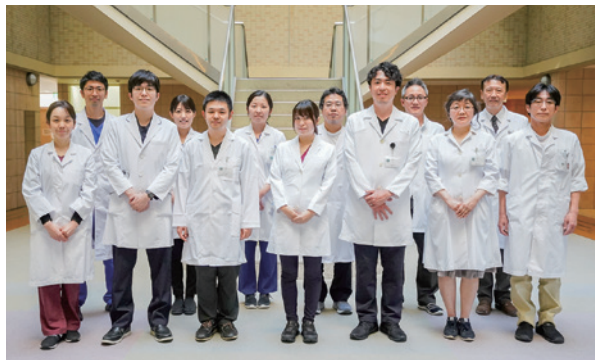
- 毎回の回診で担当患者と良好なコミュニケーションがとれ、指導医と情報を共有できるようになる。
- 病歴聴取と身体診察から複数の鑑別診断を挙げられるような臨床推論思考ができるようになる。
- 担当患者の全身状態／バイタルサインから緊急度／重症度を判断できるようになる。
- 鑑別診断について「確定診断」と「除外診断」に必要な初期検査を選択できるようになる。

■ 週間行事・研修に関する行事

時間	月	火	水	木	金	土
AM	病棟・外来診療 透析	病棟診療 透析	病棟・外来診療、 シャント手術、透析	病棟診療 透析	病棟・外来診療 透析	透析 (スタッフ)
PM	入院患者 カンファレンス	・各種アフェレーシス療法 ・病理カンファレンス ・腎臓研究室／カンファレンス	病棟診療	・腎生検 ・各種アフェレーシス療法 ・退院患者サマリチェック	病棟診療	

■ 取得可能な専門医資格および技能

当院は日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会の教育認定施設であり、当科での研修期間は各学会の専門医資格に使用できる。



- ③ 他科で入院した透析患者などの当院入院中の透析管理の責任者を担っています。また、各種アフェレーシス療法なども管理しております。

腎疾患は全身性の内科疾患の合併症であることも多く、腎機能障害では輸液管理や感染症治療等も重要となります。そのため、全身を診ることが重要であり、内科疾患を幅広く学ぶことができます。また、内科専門医・各学会専門医を取得するために必須な疾患を経験することができます。経験豊富なスタッフが、あなたの初期研修をサポートします。



- 末梢静脈路の確保ならびに動脈穿刺が安全に施行できるようになる。
- 輸液の必要性を判断でき、その際の初期輸液メニューを組むことができるようになる。
- 状況に応じた担当患者の紹介プレゼンテーションができるようになる。
- SOAPに基づいた問題解決型の診療録作成が遅滞なくできるようになる。

■ 主要症例と実績数

慢性糸球体腎炎(IgA腎症、他)、ネフローゼ症候群、全身性疾患に伴う糸球体疾患(糖尿病性腎症、腎硬化症、ループス腎炎、他)、急速進行性糸球体腎炎(ANCA関連腎炎、他)、尿管・腎間質性疾患、急性および慢性腎不全(透析導入やバスキュラーアクセス(シャント)形成術、合併症治療を含む)

■ 責任者からのメッセージ

血液疾患の診療では多臓器の合併症管理が必要となることから、血液内科医には高度な専門性と共に全身を診る総合的能力が必要です。また、私たちは、臨床研究や基礎研究の志、つまりリサーチマインドを抱いて働くことにより、知識のアップデートだけでなく、論理的思考力や判断力、周囲を巻き込む力が磨かれると考えています。血液内科では生命を脅かす難治性の疾患と闘います。総合力とリサーチマインドを武器に、治療目標を定め、到達への道筋を患者さんと確実に進んでいける血液疾患のプロフェッショナルを共に目指しましょう。

■ 領域の紹介

血液内科では造血器腫瘍の患者さんを多く診療します。この10年ほどの急速な技術革新により、腫瘍細胞の持つ全ての遺伝子情報(ゲノム)を短期間で解析することができるようになりました。造血器腫瘍は、固形腫瘍に比べて遺伝子変異による腫瘍化の仕組みは比較的単純であることがわかり、分子標的治療による腫瘍の制御が可能となりつつあります。また、腫瘍に対する

■ 教育達成目標

「赤血球系疾患」、「白血球系疾患」、「血栓止血系疾患」の各領域の症例経験に加え、「医の倫理と医療安全」、「知識」、「診察」、「検査」、「治療」に関する専門知識の取得を目標とします。造血などの血液学の基礎及び疾患の成因・病態生理、疫学といった基

■ 週間行事・研修に関する行事

- 主治医として患者診察を行い、回診、カンファレンスを通して診療情報の収集、治療方針決定の方法を学びます。
- 国内及び海外の関連学会に参加し、最新の血液学の知識を得ます。
- 症例を発表し、論文として報告します。
- 多施設の臨床研究に携わります。
- 血液疾患の細胞遺伝学、分子生物学、免疫学、細胞生物学といった基礎研究に携わります。

■ 主要症例名と実績数

■ 赤血球系疾患

鉄欠乏性貧血、腎性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、発作性夜間ヘモグロビン症、自己免疫性溶血性貧血、造血不全、再生不良性貧血、赤芽球癆、鉄芽球性貧血

■ 白血球系疾患

非腫瘍性疾患、無顆粒球症、血球貪食症候群、壊死性リンパ節炎、骨髄系腫瘍

■ 骨髄増殖性疾患

慢性骨髄性白血病、真性多血症、原発性骨髄繊維症、本態性血小板血症、骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病

■ リンパ系腫瘍

急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫

■ 出血性疾患

血小板減少症、血友病、後天性凝固因子異常

■ 造血細胞移植

自己末梢血造血幹細胞移植、同種骨髄移植、同種末梢血造血細胞移植、臍帯血移植、ハプロ移植

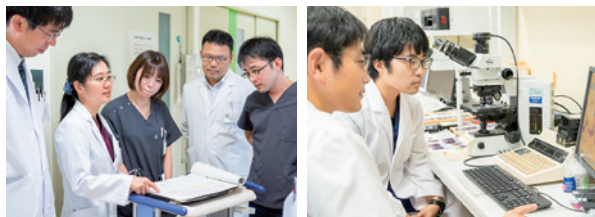


免疫細胞治療の分野でも同種造血細胞移植やCAR-T療法の画期的な進歩が始まろうとしています。21世紀前半はきっと腫瘍を克服する時代になるでしょう。特に造血器腫瘍はその最先端を進むことができる分野です。

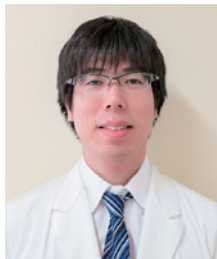
本的知識、形態学から遺伝子検査にわたる検査、薬物療法、輸血・細胞移植療法などの治療学を習得し、幅広く症例を経験することで、血液専門医として必要な知識・技能・態度を身に着けます。

■ 取得可能な専門医資格および技能

日本血液学会認定血液専門医、日本造血細胞移植学会認定医



先輩からのメッセージ



血液疾患グループ 秋月 溪一

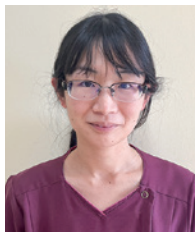
日本人の死因の第1位が悪性腫瘍となり、対策と治療の充実が叫ばれ、また移植・再生医療が隆盛となっている昨今、そのような分野に精通した血液・腫瘍内科医の需要は高く、その知識と経験が世の中に必要とされています。患者さんの笑顔を見るために…。血液疾患・悪性腫瘍の診療や研究に興味をもつ意欲ある若い仲間を待っています。

呼吸器内科

全身を診る呼吸器内科のスペシャリストを育成します！

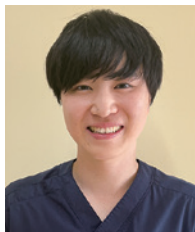


先輩からのメッセージ



北村 彩 医師 平成29年 宮崎大学卒

呼吸器内科に入局して今年で5年目になりました。大学では肺癌、難治性喘息、間質性肺炎など専門性の高い疾患を見つ、外来診療では気管支喘息、非結核性抗酸菌症、COPDなど common diseasesを沢山みる機会も増えました。気管支鏡などの手技もやりがいがあり楽しいです。呼吸器は慢性疾患が多いため、患者さんと信頼関係を築くことができます。新規治療も次々出てきており、今後の治療の進歩に期待が持てる分野です。新入局員も増え賑やかな雰囲気です。呼吸器内科医は決して多くなく、新しい力を欲しています。興味があれば是非見学に来てみて下さい！



横尾 優希 医師 令和2年 宮崎大学卒

4年目の横尾優希です。当院の呼吸器内科は肺癌、びまん性肺疾患、感染症、COPDや気管支喘息などの気道疾患、それぞれの領域にエキスパートの先生がいます。それらの疾患を満遍なく診ることができ、困った時は上級医に気軽に相談できる雰囲気があります。元々 generalな診療に興味があった私にとってはうってつけの環境でした。医局全体の雰囲気もよく、一緒に頑張れる同期も多いため入局先として正解だったと感じています。また、専攻医1年目から気管支鏡検査や胸腔ドレーン、胸腔穿刺など手技も数多く経験させていただいています。研修医の先生にも希望に応じて手技に参加してもらっています。手技をやりたいから、読影ができるようになりたいから、全身疾患が診たいから、急性期・慢性期疾患が診たいから、どんな理由でもいいので回ってもらえると嬉しいです。皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

責任者からのメッセージ

呼吸器内科は、呼吸器疾患全般を診療しており、common diseaseから重症の急性期疾患まで幅広く対応しています。経験豊富で優しいスタッフが揃っており、いつでも気軽に相談できます。呼吸器内科領域は、高齢化や先進医療の発展に伴い更にニーズが高まっている分野です。大学附属病院ならではの研修によって、高度な専門性を身につけるとともに、患者さんに寄り添った診療を行う総合力の高い内科医を育成します。大きな夢と希望を持った若い先生をお待ちしています。是非、一緒に頑張りましょう！

呼吸器内科 宮崎 泰可

領域の紹介

呼吸器内科は、腫瘍性疾患、呼吸器感染症、びまん性肺疾患、気管支喘息、COPD、肺循環障害、自己免疫疾患、呼吸調節障害など、他の内科領域と比較しても非常に多岐にわたる領域を担当する診療科です。当科の医師は日々知識と技術の研鑽を重ね、最新の知見を更新しながら、世界レベルでの医療に取り組んでいます。屋根瓦方式の臨床教育で関連病院も充実し、豊富な臨床経験を積むことが可能です。また、気管支内視鏡検査や胸腔ドレーンをはじめ手技が多いことや、多職種でチーム医療を実践していることも大きな魅力です。そして何より、患者さんひとりひとりと人間的に向き合い、寄り添い、一緒に治療を進めていく全人的医療を実践するのが呼吸器内科の醍醐味です。当科では家庭的な雰囲気の中でやる気に満ちた呼吸器内科医が集まり、一丸となり切磋琢磨しながら診療にあたっています。

教育達成目標

- ① 総合内科医的、腫瘍内科医的な視点から、問診に重きを置いた基本的かつ系統的な診療能力を習得する。
- ② 画像所見、生理学的所見、検査所見の解釈を含めた洞察力、臨床的技能、問題解決力、鑑別疾患を挙げる能力、プレゼンテーション能力を身につける。
- ③ 患者さんを中心とした多職種とのチーム医療連携を学び、全人的医療を実践する。
- ④ 将来の自分のキャリアパスを見つめ、研修中に実践すべき計画を立案、実行する。

取得可能な専門医資格および技能

日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器学会指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、日本感染症学会専門医、日本感染症学会指導医、日本がん治療認定医

主要症例名と実績数

令和4年度 呼吸器内科
外来初診者数 477名、新患入院患者数 430名。

主要症例：原発性肺癌、特発性間質性肺炎、膠原病肺、サルコイドーシス、細菌性肺炎、肺膿瘍、肺真菌症、肺結核症、肺非結核性抗酸菌症、ニューモシチス肺炎、COPD、びまん性汎細気管支炎、気管支喘息、急性好酸球性肺炎、過敏性肺炎、肺胞蛋白症等。

脳神経内科

脳神経内科診療を通して疾患から社会・福祉環境を理解できる医師を育てる

責任者からのメッセージ

脳神経内科は脳血管障害からパーキンソン病のような変性疾患まで幅広い分野を網羅する領域です。また高齢化社会に伴って多くの疾患が増加傾向にある領域でもあります。難しく稀な疾患のイメージから多くの疾患を目にすることがある領域となっています。また患者さんの社会背景や療養・福祉の環境調節が必要なことも多い領域です。疾患から福祉まで経験することで、医師として今後必要な多くの技能を得ることができる領域です。

領域の紹介

内科における脳神経内科の必要とされる症例は9分野にわたります。

- ① 脳血管障害
- ② 感染症・炎症性疾患
- ③ 中枢性脱髄疾患(多発性硬化症)・免疫性末梢神経疾患(ギランバレー症候群)・免疫性筋疾患(多発筋炎)
- ④ 末梢神経疾患・筋疾患
- ⑤ 変性疾患(パーキンソン病など)
- ⑥ 認知症疾患
- ⑦ 機能性疾患(てんかん)
- ⑧ 自律神経疾患・脊髄脊髄疾患・腫瘍性疾患
- ⑨ 代謝性疾患・内科疾患に伴うもの

いずれも代表的かつ脳神経内科では多く経験のできる疾患が挙げられています。

取得可能な専門医資格および技能

日本内科学会専門医、脳神経内科専門医、
日本臨床神経生理学会専門医

主要症例名と実績数

2022年度の総症例数は約350症例で、主たる疾患の実績数は、以下のとおりです。

- | | |
|----------------------------|------|
| ● 神経変性疾患(パーキンソン病、ALSなど) | 約80例 |
| ● 中枢性脱髄疾患・自己免疫疾患(多発性硬化症など) | 約50例 |
| ● 末梢神経障害(CIDP、ギランバレー症候群など) | 約70例 |
| ● 筋疾患(筋炎、重症筋無力症など) | 約50例 |
| ● 感染性疾患(HAM、髄膜炎など) | 約30例 |
| ● 脳血管障害(脳梗塞など) | 約20例 |
| ● 機能性疾患(てんかんなど) | 約20例 |
| ● 代謝性疾患、他 | 約30例 |

ココに注目！

10名足らずの診療チームですが、少数精鋭で活気に溢れており、多方面に積極的に取り組んでいます。

- 他大学・他分野との連携による日本最先端医療の実践(HTLV-1 関連脊髄症など)
- 医工連携で世界をリードする研究の遂行(AIを利用した神経診察の定量化など)
- 定期レクチャーなどの若手医師の教育の充実(研修医向け勉強会、PANの会)など

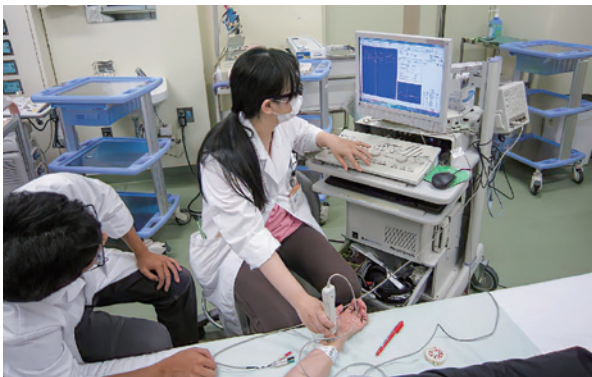


教育達成目標

脳神経内科での必要経験症例数は最終9症例のうち専攻医3年終了要件では5症例以上となっています。また必要な技能として、身体診察、専門的検査があります。

- ① 主として判定を行う：(頭部・脊椎単純X線、頭部CT・頭部／脊椎脊髄MRI検査)
- ② 自ら施行し判定を行う検査：腰椎穿刺(脳脊髄液検査)

治療は、薬物療法、救急処置と初期対応、その他が挙げられています。いずれも脳神経内科病棟では十分に経験することができます。



先輩からのメッセージ



ここ数年間、脳神経内科を志す若き医師が入局してきており、脳神経内科医は順当に増えて、後輩の指導も十分にできる環境が整っています。臨床経験を積むために、若手医師を積極的に国内の他施設へも研修の場を広げています。ご自分が取り組みたい分野がある場合には、その意向に沿うように関連施設や国内の先端医療施設への派遣も検討できます。脳神経内科は今後医療の発展が最も期待できる分野でもあり、若い先生方の臨床と研究への意欲を十分に発揮できる分野です。脳神経内科に興味のある先生方にはぜひ当科にて専門医を目指してほしいです。是非、一緒にがんばりましょう！

膠原病内科

膠原病診療を通して全身をバランス良く診る総合内科医の育成



断ツールの開発や適切な免疫抑制剤・抗菌剤の使用を常に目指しています。

【研修内容】

- より複雑な膠原病の経験を積む。
- 関連した呼吸器疾患の診療経験を積む。
- 専門領域の画像読影能力を習得する。
- 気管支鏡や人工呼吸器管理に精通するなど技術的な面を習得する。
- 免疫抑制剤(ステロイド等)や抗菌薬の使用方法に精通し、副作用に対処できる。
- 関連病院において、特に頻度の高い感染症やリウマチなどを含むコンディージーズの経験を積む。
- 急変に対応できるようにする。
- EBMに基づく臨床判断ができるように、文献を読む。
- 問題意識を持ち、自ら学会報告を行えるように能力を磨く。
- 専門医試験受験の準備を行う。
- 希望者は大学院に進学する。

先輩からのメッセージ

当科の大きな特徴の一つは、全身性の自己免疫疾患を診ることから多臓器に対するアプローチを行っていく点です。このため、全身の診察や各臓器に対する検査・治療方針の計画が必要となり、内科医としての力を養うことができます。主治医として多臓器の疾患に関わることから、新しく始まった内科専門医制度に関しても必要な症例を経験することができる体制となっています。また、学会への参加も盛んに行っており、専攻医の先生と一緒に担当した症例をスライドやポスターにまとめて報告することで、学会発表を経験してもらっています。膠原病という専門性の高い領域から、感染症というコモンな疾患まで幅広く勉強することができる科なので、是非ご検討下さい！

責任者からのメッセージ

膠原病診療では、様々な臨床徴候から診断を行うプロセスが非常に重要です。教科書による座学とは異なり、患者個々の診断や治療方針決定に難渋する症例を多く経験します。そして自己免疫現象の理解、分子生物学的知見に基づく治療などによって炎症病態の本質を学ぶことができます。さらに治療過程で易感染性となる症例が多いため、社会に流行している感染症、耐性菌問題、病院(院内)感染症問題など、社会的インパクトが大きい話題と常に密接に関係している領域でもあります。これらの経験を通して、問診と診察から鑑別疾患を挙げる、教科書・文献を参照しながら診断/治療方針を検討する、丁寧な説明のもと治療を進める、という内科医の基礎が身につくと考えています。専攻医の皆さんには、何よりもまず良き内科医になってほしいと願っています。

領域の紹介

関節リウマチ、全身性エリテマトーデスをはじめとする膠原病、膠原病に伴う間質性肺疾患や日和見感染症を主体とした呼吸器疾患、不明熱など診断困難な症例などを対象に診療を行います。感染制御部や検査部とも密に連携して、迅速・適格な診

教育達成目標

当科で扱う疾患は一つの内臓に限られない臓器横断的な病態で、かつ様々な病像を呈します。そのため、多臓器に加えて筋・骨格系や皮膚疾患など広く全身をバランス良く診ることのできる能力育成を目指します。内科疾患で基本となる病歴聴取、理学所見の取り方と、検査データや画像を自分で読めるようになること、また個々の患者の問題点の抽出、文献検索を経て、鑑別疾患を広く挙げ、適切な免疫抑制剤や抗菌薬の選択など診断から治療まで個々の症例で完結できることを目指します。



取得可能専門医資格および技能

- 日本内科学会専門医
- 日本リウマチ学会専門医
- 日本感染症学会専門医
- 日本呼吸器学会専門医

主要症例名と実績数

膠原病領域：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、シェーグレン症候群、多発性筋炎/皮膚筋炎、混合性結合組織病、血管炎症候群、ベーチェット病、サルコイドーシス、IgG 4 関連疾患、抗リン脂質抗体症候群、間質性肺炎など

感染症領域：敗血症、日和見感染症(ニューモシスチス肺炎、非結核性抗酸菌症、CMV 感染など)

その他：免疫抑制療法関連リンパ増殖性疾患、薬剤性ループス、肥厚性硬膜炎、好酸球増多症候群、SAPHO 症候群など

責任者からのメッセージ

内分泌・代謝・糖尿病内科では、先端巨大症などの希少疾患から糖尿病や脂質異常症などの common disease に至るまで、多様な患者さんを担当します。また、三次救急医療機関として県内の医療機関から紹介される糖尿病性ケトアシドーシスや甲状腺クリーゼを経験できます。当科での研修で、外科、泌尿器科、小児科、産婦人科などとの診療連携を実践し、個人の病態や生活スタイルに合わせた糖尿病治療薬の選択を学ぶことができます。疾患の多様性、専門医による指導が当科の研修プログラムの強みと考えています。

領域の紹介

内分泌代謝関連では、甲状腺癌に対する分子標的薬や低リン血症性くる病・骨軟化症を治療する FGF23 抗体医薬などの新規治療薬が次々と上市されています。糖尿病関連では、インスリン製剤を含めた 10 種類の糖尿病治療薬が保険適応となり、持続血糖モニタリングやセンサー補助型皮下持続インスリンポンプなどデバイスが次々に開発されています。内分泌代謝専門医は高度な専門性から、糖尿病専門医は症例数の多さから、医療機関においてニーズの高い領域です。対象疾患の性質から長期間にわたり外来・入院で担当するため、患者さんのライフイベントに寄り添った医療を提供することが診療科の特徴です。

取得可能な専門医資格および技能

取得可能専門医：日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、日本糖尿病学会専門医、日本甲状腺学会専門医、日本肥満学会肥満症専門医

教育達成目標

診療グループの一員として、コ・メディカルと協力しながらチーム医療を実践できる。

先輩からのメッセージ

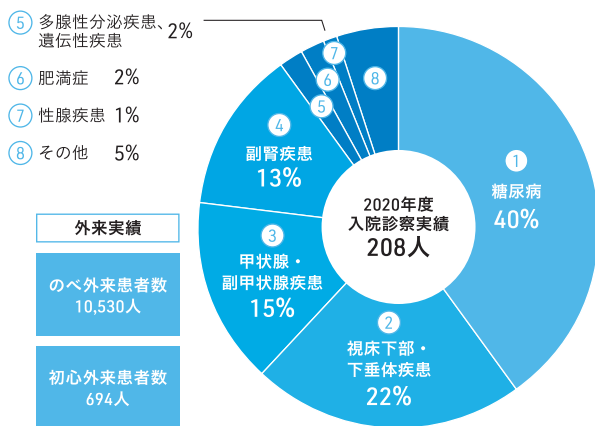
1週間のスケジュール						
	月	火	水	木	金	土 日
8:00	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤	当直修了
9:00						
10:00	外来業務	外来業務		外来業務	外来業務	
11:00						
12:00	休憩	休憩	学外病院への勤務	休憩	休憩	休日
13:00						
14:00	病棟業務	全体カンファ・病棟回診		学生教育	病棟業務	
15:00		内分泌代謝カンファ		病棟業務	病棟業務	
16:00	論文執筆・学会発表準備	病棟業務	退勤	論文執筆・学会発表準備	内分泌代謝カンファ	
17:00	退勤	退勤	退勤	退勤	学外病院への出勤	

内田 泰介

皆さんこんにちは。2018年入局の内田泰介です。私はここ内分泌・代謝・糖尿病内科で新専門医制度の第1期生として内科研修を開始し、滞りなく日本専門医機構認定内科専門医と内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医を取得することができました。喜ばしいことに優秀な後輩たちが毎年のように入局してくれており、診療の方は彼らにだいたいお任せしつつ、私は昨年度から大学院生として研究に精を出しているところです。休日は趣味のテニスをしたり、野球観戦をしたりしてリフレッシュしています。ON/OFF をしっかりできることが当科の特長だと思っています(*^o^*)



主要症例名と実績数 2020年の入院実績



週間行事・研修に関する行事

週2回火曜日に金曜日にカンファレンスを行い、情報を共有します。屋根瓦式に指導医チームに加わり、病棟ラウンド、急患や他科コンサルテーションへの対応を行います。興味ある症例を担当した際は、院内外の研究会や学会で筆頭演者として発表できます。

古郷 美美子

2019年入局の古郷です。入局2年目に産休育休をしっかりと取らせていただき、現在は職場復帰しています。内科専攻医プログラムの症例集めや学会発表など、ご助力頂き無事に試験合格できました。妊娠出産子育てにとっても理解のある職場で、働きやすい環境が整っているので、キャリアも家庭も大切にできると思います。内分泌代謝・糖尿病疾患の特徴として”内科一般”の知識や経験を積める専門領域なので、進路で迷ったり、内科を先行しようと思ってる研修医の先生は、是非、見学に来て下さい〜！

中村 孝之

2023年春に2人目が生まれ、仕事と育児を並行しながら頑張っている毎日です。通常業務に加えて、専門医獲得のためのレポート、試験勉強に論文・研究ワーク、そして仕事の前後には子供の保育園の送り迎え・・・と毎日忙殺されていますが、勉強すればするほど内分泌代謝糖尿病領域の面白さが分かるようになり、やりがいのある毎日を過ごせています。大変な時には皆でサポートしあう体制も整っており、仕事も育児も妥協することなく両立できています。

責任者からのメッセージ

COVID-19の世界的な流行は、感染症診療の重要性を改めて認識させました。今後も新興感染症の発生が予想される中、感染症診療体制の充実と人材育成はますます喫緊の課題となっています。感染症内科は、感染症診療および研究、教育の充実により尽力すべく、新たに設立されました。感染症専門医は他の専門分野と比べて少なく、宮崎県においても全国的にも不足しています。感染症診療と感染制御を実践できる専門医の必要性はますます高まっています。感染症分野は、診療、研究、教育など、多岐にわたり今後も重要性が増す分野です。日本のひなた、宮崎県で感染症専門医の取得を目指しましょう！

領域の紹介

細菌・真菌感染症、HIV/AIDS、性感染症、リケッチア感染症、輸入・新興感染症など専門的知識・技術を必要とする感染症の担当医として直接診療に携わります。また、院内の各診療科で治療に難渋している感染症についてコンサルテーションを受け担当医と協力・支援する役割を担うため、内科系・外科系を問わず豊富な感染症症例を経験することができます。感染症診療とあわせて、抗菌薬適正使用に対する取り組み、院内感染対策に対する取り組みを行っています。抗菌薬適正使用に対する取り組みとしては、感染制御部と連携して、血液培養陽性患者、広域抗菌薬使用患者、免疫不全患者などの状況を把握しており、必要に応じて働きかけを行っています。今回の令和4年度診療報酬改定においては、外来感染対策向上加算・連携強化加算・サーベイランス強化加算が追加となりました。これまで以上に県内の病院や診療所と連携して、宮崎県全体での抗菌薬適正使用および感染対策のレベルアップを目指していきます。



取得可能な専門医資格および技能

- 日本感染症学会 感染症専門医・指導医
- 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医・指導医
- Infection Control Doctor



教育達成目標

感染症は、全身の疾患であり、さまざまな臓器・部位に影響を及ぼすため、感染症専門医は、全身の系統的診療を行える医師でなければなりません。感染症専門医の資格取得には、基本領域学会の専門医資格取得が必要であり、感染症に関する豊富な診療経験と知識を要します。感染症の担当医として直接診療に携わる能力を備え、コンサルテーション要請を受けて担当医を指導・支援する役割を担い、院内および地域の感染対策にも積極的に貢献できる医師を目指しています。当科は、呼吸器・膠原病・脳神経内科分野も含まれた内科学講座に属しています。この長所を活かし、4つの診療科合同で毎週感染症カンファレンスを開催しており、幅広い症例を経験することができます。また、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師が毎日集まり、コンサルト症例や血液培養陽性例、耐性菌検出例などについて検討しています。感染制御部や検査部細菌検査室とも連携し、垣根のない交流によって診療、研究、教育の協力体制を構築しています。



主要症例名と実績数

- 敗血症
- 肺炎
- ウイルス性感染症
(新型コロナウイルス感染症、伝染性単核球症、HIV/AIDSなど)
- ダニ媒介感染症
(重症熱性血小板減少症候群、ツツガムシ病など)
- 日和見感染症
(ニューモシスチス肺炎、サイトメガロウイルス感染症など)
- マラリアなどの輸入感染症

責任者からのメッセージ

消化器内科では数多くの学会認定医・指導医の下で提供される充実した指導体制が整っています。また、県下全域から紹介される救急症例に対する治療や消化管・肝・胆・膵悪性腫瘍に対する集学的治療も行っています。急性期・common diseaseから専門性の高い症例まで幅広い経験ができるという特徴があり、充実した内科専門研修が行えます。

領域の紹介

消化管・肝・胆・膵の様々な良・悪性疾患に対する診療を行っています。検査に関して：上・下部消化管内視鏡検査、バルーン・カプセル内視鏡を用いた小腸検査、胆・膵領域の内視鏡検査により造影検査や超音波内視鏡を用いた検査、肝臓領域では腹部超音波検査、肝生検などを行っています。治療に関して：消化管では内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、光線力学療法(PDT)などを行っています。胆・膵領域ではERCP関連処置やEUS-FNA関連手技の超音波内視鏡ガイド下膿瘍ドレナージ術や瘻孔形成術などを行っています。肝臓領域では急性肝不全に対する集学的治療やウイルス性慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法、自己免疫性肝疾患の診断と治療、食道静脈瘤に対する内視鏡的治療を行っています。その他、炎症性腸疾患の内科治療(薬物・内視鏡)や各種消化器癌に対する化学療法などを行っています。胆・膵疾患に対しては県外でも行われていることが少ない治療を経験することができます。また、当院は宮崎県肝疾患診療連携拠点病院の指定されており、肝疾患センターと協力して、県内の肝疾患対策の活動を行っています。

週間行事・研修に関する行事

上級医師の指導の下、病棟業務および外来検査を中心に研修します。病棟では指導医(卒後10-20年目)の下、4-5人程度の入院患者を担当します。指導医が適宜サポートしますが、初期臨床研修医とは異なり、治療方針の決定など、入院患者の診療に主体的な役割を果たすことが求められます。EBMに基づいた

時間	月	火	水	木	金
AM	化学療法カンファレンス ・化学療法回診 外来診療 各種検査・処置	化学療法カンファレンス 外来診療 各種検査・処置	化学療法カンファレンス 外来診療 各種検査・処置	化学療法カンファレンス 外来診療 各種検査・処置	化学療法カンファレンス 各種検査・処置
PM	各種検査・処置	IBD・肝臓カンファレンス 全体カンファレンス 各種検査・処置	内視鏡治療カンファレンス 各種検査・処置	各種検査・処置	各種検査・処置

取得可能な専門医資格および技能

当院は、日本消化器病学会や日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会などの消化器関連学会の指導・認定施設となっており、将来のサブスペシャリティを視野に並行研修を行うことも可能です。

先輩からのメッセージ

自分が消化器内科を志した理由は内科+手技という組み合わせにとっても興味を持ったからです。消化器内科に入局して常々と思いますが、何かしらの手技に携わっている時間が多いと思います。また、その手技もバリエーションに富んでおり消化管だけでなく、胆膵、肝臓と多岐にわたり、観察から治療まで行えます。それだけでなく腫瘍やIBDでは内

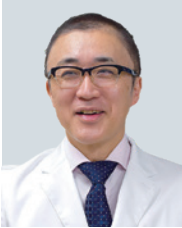


教育達成目標

- 内科専門医として自ら腹部疾患に対する診断法と基本的な消化管・肝・胆・膵領域の診療(治療選択、患者管理)を身に着けることを目標とする
- 消化管・肝・胆・膵領域の専門施設に相談・紹介すべき疾患・症例・管理法について学ぶ。
- 消化管・肝・胆・膵領域の各種検査・治療の適応について学ぶ。



診断・治療法を学ぶために、受け持ち症例以外の症例についても、積極的に回診、カンファレンス等を利用して研修することが期待されます。さらに内視鏡検査、消化管造影検査などに参加し、消化器内科としての基本的な手技を習得することを目指します。

募集定員
7名研修期間
3年責任者からの
メッセージ小児科
教授 盛武 浩

「なぜ小児科を選んだのですか？」とよく質問を受けます。私の場合、“小児医療は「曙の医学」である”と学生実習中に先輩小児科医師がおっ

しゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。

共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、主に宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、国立病院機構宮崎病院の6つの病院で研修することで、予防接種や健診を含む一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を偏りなく習得することが可能です。それぞれの病院で異なるタイプの医療を必要とする診療を経験し、指導・教育を受けることで、小児科専門医取得のための到達度を十分に満たすことができます。また、宮崎大学医学部附属病院には宮崎県下の症例が集約されており、各診療グループでの専門診療を行っています。グループ間の垣根がなく、それぞれの専門分野の知識や技術を活かし、1人の患者さんについて複数のグループで協力しながら適切な医療を提供する体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩 教授、他14名	小児医としてヒトの成長と発達をままもり援助するという心構えを確立する。小児科学のすべての領域をくまなく経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター、国立病院機構 宮崎病院		
関連施設	国立病院機構 宮崎東病院、都農町国民健康保険病院、宮崎市総合発達支援センター、愛生会日南病院、小林市立病院、高千穂町国民健康保険病院、京都市立病院		

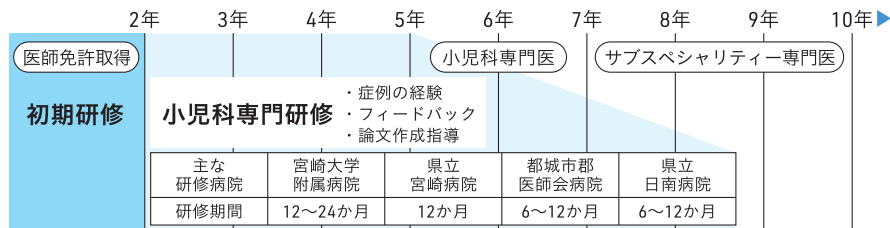
取得可能な専門医資格および技能

3年間の研修によって、小児科医として必要な小児の診察、採血や腰椎穿刺、骨髄穿刺などの一般的な手技を取得することができます。また、地域の一般病院の研修では、予防接種や検診について、各種専門領域の研修では、心臓超音波検査、心臓カテテル検査、腎泌尿器超

音波検査、腎生検、脳波検査、内分泌負荷試験、骨髄検査の評価、食物負荷試験などを学ぶことができます。
3年間の研修の後、小児科専門医を取得可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。



プログラム達成目標

専攻医は3年間の研修によって、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。宮崎大学医学部附属病院で研修を開始し、小児科の基本的な考え方や手技、感染免疫・アレルギー・膠原病・内分泌代謝・血液腫瘍・腎泌尿器・循環器・

神経筋・新生児医療などの各専門領域の研修を行い、2年目以降は各関連病院で小児の急性疾患、慢性疾患、地域医療を6か月間から1年間それぞれ担当医として研修します。3年間を通じ外来での乳児健康診査、予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患などすべての領域を研修します。

主要症例名と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の感染症はもちろん、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は右の通りです。

血液・腫瘍領域
神経・筋領域
循環器領域
腎・泌尿器領域免疫・膠原病・アレルギー領域
内分泌・代謝領域
新生児領域 (NICU)

白血病(6人)、悪性リンパ腫(2人)、固形腫瘍(5人)など
てんかん(30人)、脳炎・脳症(10人)、発達障害(60人)など
先天性心疾患(80人)、心筋疾患(10人)、不整脈(5人)、難治性川崎病(5人)など
ネフローゼ症候群(10人)、慢性糸球体腎炎(20人)、慢性腎不全(2人)、
急性腎機能障害(5人)、先天性腎尿路異常(20人)など
免疫不全症(2人)、膠原病(5人)、アレルギー(10人)など
低身長(30人)、糖尿病(5人)、甲状腺疾患(10人)など
超低出生体重児(30人)、人工呼吸器管理(60人)、新生児手術(40人)など

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金	土・日
～ 8:30	受持患者情報の把握					週末日直 (2/月)
8:30～ 9:00	抄読会・研究会報告	入退院・カンファレンス	ミニレクチャー	症例検討会	入退院・カンファレンス	
9:00～ 9:30	グループカンファレンス グループ回診					
9:30～12:00	病 棟	病 棟	病 棟・外 来	病 棟・外 来	病 棟	合同勉強会 (年3回)
12:00～13:00					薬理セミナー（不定期）	
16:00～17:30	病棟 学生・初期研修医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修医の指導 代謝・内分泌カンファ 神経カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 ハンズオンセミナー 学生症例発表（隔週）	病棟 学生・初期研修医の指導	
17:30～19:00	患者申し送り					
13:00～17:00		リサーチミーティング（隔週）			ふりかえり (1/月)	

※ 小児泌尿器合同カンファ(1/月)、循環器外科合同カンファ(1～2/月)を月曜日に開催

指導医からのメッセージ



准教授 此元 隆雄

宮崎大学小児科は、県北部では県立延岡病院、西部では都城医療センター、都城医師会病院、南部では県立日南病院、中央では県立宮崎病院などと連携をとりながら宮崎県全域の小児医療の発展と充実のために日々頑張っています。専攻医の先生は大学病院と地域の中核病院などで充実した研修をすることが可能です。専攻医の指導体制は、中堅医師が直接指導を行い、さらに各専門分野に関してはそれぞれのサブスペシャティエの専門医・指導医とともに診断・治療を行うことで最新の知見を学ぶことができます。女性医師も多数在籍しており、女性医師の様々なライフプランを医局全体で応援しています。小児医療に対する情熱をお持ちの方は、出身地、出身大学、男女問わず、いつでもご連絡ください。

先輩からのメッセージ



専攻医 大富 滉平

私が宮崎大学小児科を選んだ理由のひとつに医局の雰囲気の良いがあります。小児科は温厚な先生ばかりで日々の診療で迷うことがあっても、気兼ねなく相談できる雰囲気があります。そしてなにより、ここ数年は後期研修世代の若手医師が多く入局しており、屋根瓦式の指導体制が確立されています。入局すると後期研修1年目の先生が主治医として患者さんを担当することになりますが、同じく後期研修の2、3年目の医師も担当医として一緒に診療するスタイルになっています。初期研修では成人を診る機会が多いため、小児科という特殊な環境に最初は戸惑うかもしれませんが、基本的な手技や診療まで最初は手取り足取りサポートしますので安心してください。診療科を悩んでいる方も是非、研修や見学にいらしてください。宮崎のこどもたちのために一緒にがんばりましょう！



助教 原田 雅子

こどもは好きですか？臨床医はどの分野でも修練期間があります。時に辛いこと、苦しいこともあるかもしれません。小児科医の醍醐味はどんな時もこども達から元気をもらえることです。指導医もまた、こども達からいつも元氣と若さをもらっています。こどもにパワーをもらった大人はなんと、自然に優しく笑顔になります。つまり職場の雰囲気良すぎます。気軽に相談できます。みんなが自然に多様な働き方を心から受け入れています。私はその雰囲気によってこの世界の窓をたたき早14年。年々さらに良くなる医局の雰囲気を体感しています。さあ、あなたも私たちと一緒に明るく優しい小児科医になって、こども達の未来を支えていきましょう。



専攻医 海老原 秀生

小児科を志したきっかけは初期研修期間の大学での小児科研修でした。担当させていただいた白血病の子から最終日に絵をもらい、子ども達と信頼関係を築いていく過程に、他の診療科にはない魅力を感じました。もちろん入局してから、時に悲しくつらい場面に直面することもありましたが、小児科の先生方は医学的なことに限らず、日々の診療で困ったことがあれば何でも相談に乗って下さいました。また私自身、学生時代は対象とする疾患分野の多さから小児科に苦手意識を持っていましたが、教授をはじめ先生方が優しく指導してくださるため、今では着実に各分野の知識を深めることができています。小児科は充実したサポート体制のもと安心して働くことができ、何よりかわいい子どもたちとたくさん触れ合うことができる唯一の診療科です。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

お問い合わせ先

担 当：此元 隆雄

T E L：0985-85-0989

F A X：0985-85-2403

e-mail：konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp

小児科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/



皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

皮膚科専門研修プログラム

募集定員
4名

研修期間
5年



責任者からの メッセージ

皮膚科
教授 天野 正宏



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症蕁麻疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができます。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病/リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索を行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	天野 正宏 教授、他6名	56.3名	13.2名	243(入院)例
連携施設	県立宮崎病院、千代田病院、古賀総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準連携施設	国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、県立延岡病院(他)				

※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

基幹：研修基幹施設での研修

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間
(2年間まで)

連携：研修連携施設での研修

⇒県立宮崎病院(宮崎市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基幹	基幹	連携	連携	基幹	受験申請 ↓ 専門医試験 ↓ 専門医 ↓ サブスペシャリティー 修得
B 連携施設 中心コース	基幹	連携	連携	連携	基幹	
C 社会人 大学院コース	基幹	基幹 (社会人大学院)	連携 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に 受験するコース	基幹	連携	基幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※産休・育休の期間は**6か月**を上限に研修期間として認められます。

※1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※大学院生として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間で限度に研修期間と認められます。

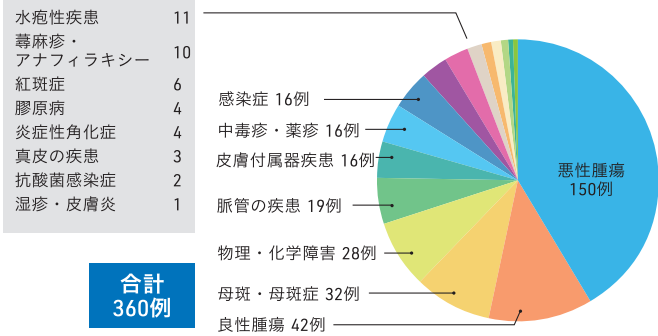
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる充分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての全般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことが出来るようになることを目標とします。

主要症例名と実績数(令和3年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

○入院患者疾病別内訳



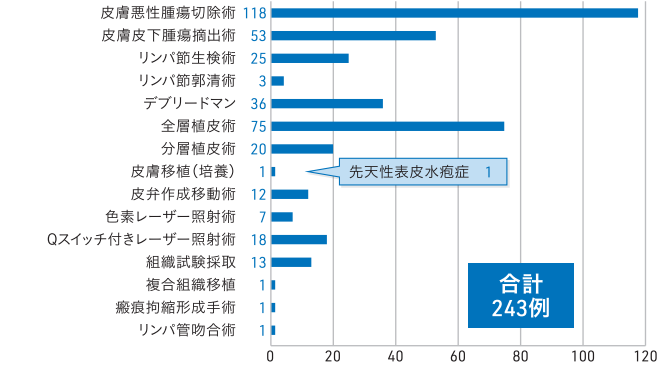
週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は自身の受け持ち入院患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってもらいます。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスにも参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水曜金曜の

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟回診	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	外 来
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	病棟、回診



○手術件数(入院)



外来日では教授陪席に従事します。その他指導医のもと、皮膚科的検査も積極的に行ってもらいます。病棟診療についてはチーム医療制度を導入し、受け持ち患者の診察・検査・治療・手術手技について、習得を目指します。その他日本皮膚科学会主催の必須講習会を受講し、年に2回以上筆頭演者として学会発表を行ってもらい、年に1編以上筆頭筆者で論文を作成していただくことを目標にしています。

指導医からのメッセージ「皮膚を通して全身を診る。」



講師 持田 耕介

宮崎大学皮膚科は、全身最大の臓器である「皮膚」を皮膚病変のみに限らず、それに随伴した全身疾患のマネジメントができる医師の育成に取り組んでいます。具体的には、大学で難治な疾患や手術手技等を学び、関連病院等でその技術や知識を地域に還元し、さらに専門性を深め、より深い学びのために希望者には大学院進学や先進医療を学ぶための国内留学、世界的視野を得るための海外留学等も行っています。私自身、国内留学として静岡がんセンターに1年間、大学院生として基礎医学の先生方とATLLの研究を行っています。医局員全体で協力し合いながらワークシェアを行い、皆が生きがいをもって働ける場の提供に努めています。皮膚科に少しでも興味がある方は、是非ご連絡ください。

先輩からのメッセージ



専攻医2年目 西原 桃子

令和4年度入局の西原と申します。兵庫県出身で宮崎大学医学部を卒業後、宮崎大学医学部附属病院で2年間研修し宮崎大学皮膚科へ入局しました。私が皮膚科に興味を持ったきっかけは学生時代の皮膚科での臨床クラークシップです。皮膚科は処置や手術など手を動かす機会が多く、学生だった私も一員として参加できたことにとってもやりがいを感じました。その後2年間の研修で様々な診療科を回り、手術や手技が多い診療科に魅力を感じ皮膚科の他にも外科や救急と迷うようになりました。皮膚科は外科的疾患のみならず内科的疾患も多く含まれており診断から治療を自科で完結できるところにも魅力を感じるようになりました。また、自分のライフスタイルが変わったとしても比較的同様の働き方をしやすい診療科というところも魅力の一つだと思いました。皮膚科は患者さん自身が治療効果を実感できる診療科であり治療継続するためにも患者さんとの信頼関係が重要だと感じています。そのためにも上級医の先生方や同期、患者さんから様々なことを吸収し日々精進していきたいと思っています。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2967
F A X : 0985-85-6597
e-mail : derma@med.miyazaki-u.ac.jp

担 当 : 持田 耕介

皮膚科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/>



精神科専門研修プログラム

多様性に富んだ心と人生を支える精神科医を目指してみませんか？

募集定員
10名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

精神科
准教授 平野 羊嗣



目まぐるしく変化する現代社会のニーズに応えるべく、精神科医の活躍の場は益々増えています。患者さんの悩みや人生に寄り添い、

多様性に富んだ人間の心(脳)を診ることができる、一流の精神科医を育てることが我々の最大のミッションです。そのために、当科は個々人の多様性と自由闊達な雰囲気大切にしています。当科のプログラムは、指導体制が充実した多数の高度な専門医療機関と連携しながら、常にバランスのいい研修ができるように心がけています。また、精神科医として欠かせない科学的な視点を養うためにも、専門医を目指しながら研究に従事できる環境も整えています。我々と一緒に、多様性に富んだ心と人生そのものを支える精神科医を目指してみませんか？

プログラムの特徴

県内多くの精神科医療機関と連携したプログラムです。基幹施設の宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケア、リエゾンなど学びます。県立宮崎病院、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートして研鑽を積み、精神保健指定医と専門医を並行して取得することが可能です。また、大学院進学プログラムもあります。石田康教授の退官に伴い、2024年からはプログラム責任者が平野羊嗣准教授に交代しますが、これまで積み重ねてきた知見に新たな風が加わり、より充実したプログラムをお約束します。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	平野 羊嗣 准教授、他4名	統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連携施設	県立宮崎病院精神医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、国見ヶ丘病院、県南病院、鮫島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、藤元病院、吉田病院、延岡保養園、若草病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

- 日本老年精神医学会認定専門医
- 日本緩和医療学会専門医
- 子どものこころ専門医
- 精神科救急専門医
- 一般病院連携精神医学専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は基本的には大学病院で基本的な精神疾患を身体的・器質的疾患の除外や論理的考察を元に経験します。2年目以降は各自の希望に沿ったプランを組むことも可能です。精神保健指定医の症例も3年間で十分経験することができます。また、この時期に学会発表や論文作成の指導を受け、研究に興味を持つ医師は臨床経験に併行して博士課程で博士取得に向けた研究を行うことも可能です。

1年目	2年目	3年目
精神科の基礎知識を学ぶ	希望に沿ったプランを組む	より専門性に特化した研修
連携病院	精神医療センター (連携)	民間精神科病院 (連携)
	認知症疾患医療センター (連携)	宮崎東病院児童精神科 (連携)
	宮崎東病院児童精神科 (連携)	精神医療センター (連携)
	民間精神科病院 (連携)	認知症疾患医療センター (連携)
大学病院（基幹）		

プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に患者を受け持ち、面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、コンサルテーション・リエゾン精神医学を経験する。症例カンファレンス、セミナーに参加し、学会や研究会等で発表する。2年目は指導医の指導を受けつつ面接技法を学び、診断と治療計画の能力を充実させる。薬物療法の知識を深め、精神療法の基本的考え方を学ぶ。また、症例報告など論文執筆の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟業務 救急・病棟回診	病棟業務・外来予診	病棟業務・外来予診	病棟業務・外来予診	病棟業務・外来予診
PM	病棟業務 病棟行事 入退院 カンファレンス	病棟業務 病棟行事 リエゾン カンファレンス	病棟業務 集団精神療法 リエゾン カンファレンス	病棟業務 SST 緩和ケア カンファレンス	病棟業務 抄読会・研究発表会 病棟 カンファレンス

指導医からのメッセージ



講師 船橋 英樹 (医局長)

精神科には、精神保健指定医と精神科専門医の二つのライセンスがあります。3年の時間をください。大学病院を基幹として、県内20の連携施設とともに、指定医・専門医にふさわしい症例を経験してもらい、疾患の考え方から治療法、精神保健にまつわる法律、レポートの書き方まで、責任をもって指導します。2020年度、2021年度の申請者はすべて遅滞なく合格しています。まずはスタンダードができる精神科医をしっかりと育成しますし、そこからサブスペシャリティの相談にも乗ります。従来の老年精神専門医、緩和医療専門医に加え、子どものこころ専門医、精神科救急専門医の体制を整備しました。大学院で博士を取得したい人もぜひ。お待ちしております。普段より真面目に答えています。

先輩からのメッセージ

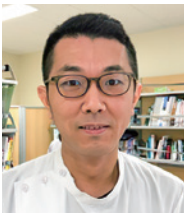
助教 上野 鷹司郎

「医者は年中無休働くべき!」「趣味なんかする時間はない!」って、いやいや勘弁してくださいよ〜と思ったあなた!私の場合サーフィンやギターなど趣味に没頭しながら専門医取得に向けて勉強させて頂いています。これから長年働く上で、みなさん医師である前に人間ですので、プライベート時間の確保もしっかり考えるべきです。精神科は働く医師の心の健康のためにも医局員皆がお互いのプライベート時間を大切に考えています。

主要症例名と実績数

症例	外来	入院
F0 器質症状性精神障害	約4,600例	約2,200例
F1 精神作用物質障害	約800例	約500例
F2 統合失調症圏	約3,700例	約2,300例
F3 気分障害	約4,500例	約1,000例
F4 神経症性障害	約3,000例	約400例

助教 大平 洋明



精神科専門研修をお考えの先生、精神科に興味を持っていただき有難うございます。先に白状しますと、当教室は田舎の大学精神科医局です。常に人手不足です。都会のキラキラした大規模病院のように、様々な専門性を売りにしているわけではありません。カリスマ指導医も、今はまだ、いません。けれど小さいからこそ結束力が強く、日々起こる想定外の事態に知恵を出し合って対応しています。精神保健指定医や精神科専門医を取得するための症例には事欠きません。指導医も病棟医もそれぞれ専門性を意識しながら診療や研究に専念しています。宮崎県の自殺対策に情熱を燃やす医師、災害精神医療の研鑽や準備に余念のない医師、他科と密に連携しながら緩和ケアに貢献する医師、電気けいれん療法の最適化を臨床の立場から模索する医師、サーファーの精神世界に惹かれ早朝必ず波に乗ってから臨床に臨む医師、など魅力的な先輩だけです。もちろん、子育て中の医師もあり、ライフサイクルに合わせた柔軟な勤務、研修が可能です。精神科医としての第一歩を、ぜひ当科の研修プログラムで踏み出してみませんか。4月にお会いできますことを、楽しみにお待ちしております！



お問い合わせ先

担当：船橋 英樹

T E L : 0985-85-2969
F A X : 0985-85-5475
e-mail : psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

精神科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/>



外科専門研修プログラム

いざ宮崎の革新的な外科大講座へ！
日々是好日へ

募集定員
10名

研修期間
3年

プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、宮崎県で有数の研修病院
拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になってい
ます。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大

取得可能な専門医資格および技能

1 階建て部分の外科専門医を 3 年で取得し、引き続いて 2 階、3 階建て部分の各サブスペシャリティ専門医に速やかに移行していきます。
外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と

学外科専門研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展しています。分野間の連携が良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。

外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術を習得します。



連携施設名等

	施設名	統括責任者	専門分野・特徴
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志 教授	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、 乳腺内分泌外科
連 携 施 設	県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、宮崎県済生会日向病院、串間市民病院、 潤和会記念病院、千代田病院、新行橋病院、古賀総合病院、南部病院、宮崎協病院、黒木病院、さがら病院宮崎、 国立病院機構 宮崎東病院、宮崎善仁会病院、国立病院機構 都城医療センター、小林市立病院		

責任者からの メッセージ

肝胆膵外科学分野
教授 **七島 篤志**



宮崎大学医学部外科が誇る革新的な大講座制度プログラムに、あなたの若々しい独創性を織り交ぜましょう！私たちの外科プログラム

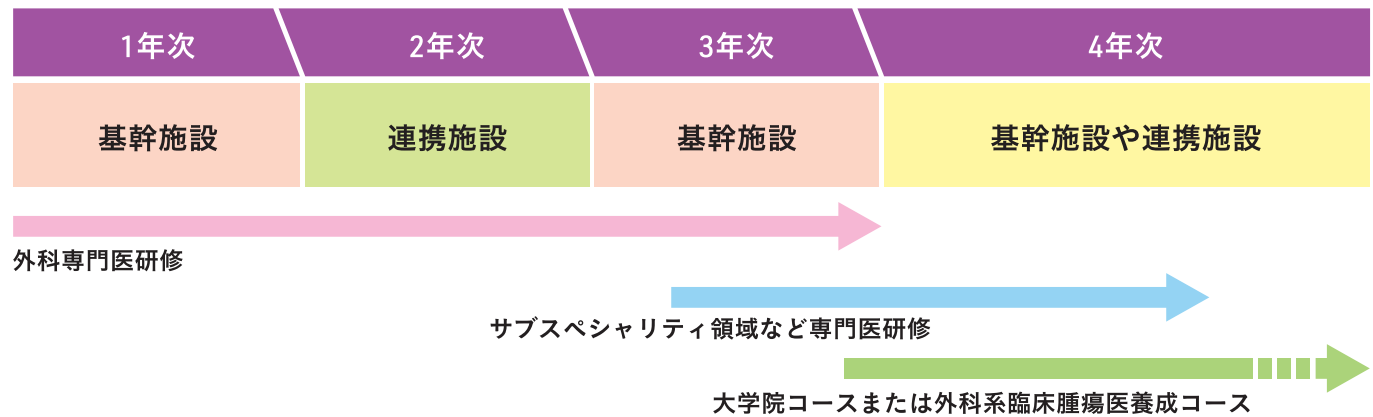
は、全国で唯一、外科全般6領域＋形成外科をカバーしつつ、消化器外科を目指す方々には、サブスペシャリティのプログラムが用意されています。我々が所属し、まず専攻医が取得する日本外科学会の専門医制度では、最終的なサブスペすべての領域を統括し、今後はさらに専門領域へと一元管理が拡大される予定です。

外科医の課題には、まず第一に地方での専門医不足がありますが、逆に考えれば、都会の大規模病院に比べて個々のチャンスは多いと捉えることができます。第二の課題は、女性外科医の促進と環境整備です。他の領域と同様に、積極的な管理運営が期待されています。私たちも、職場環境を整え、常にウェルカムな体制を2015年から実践しています。第三の課題は働き方改革で、2024年春からは時間外労働の制限や勤務状況による労働の在り方が一般の労働基準に近づきます。過去の過重労働や無益な労働を解消し、外科医の働き方やワークライフバランスに配慮することが求められます。さあ、若くて才能あふれる皆さん、技術と知恵、未知の能力を兼ね備えたあなたが、地域から世界を支え、発展させていく一員となりましょう！うまくこなせば**日々是好日(ひびこれこうじつ)**な生活も送れる時代になってきました。第四は外科における急速なデジタル技術、高速回線、AIなどの進歩を活用して、これまでの煩わしい雑務や手順を効率化し、本来求められてきた**外科医の生命を救う真の能力を発揮できる**ようになります。グリーン(またはブルー)ジャケットを身につけながら、外科医のみが許される生体に傷を加えることのできる技術からみ得られる、将来の**謙虚で優れた全人の人格**を形成していくことが大切です。さあ、技術と知恵と、まだ見ぬ外科医としての未知の能力を兼ね備えた若人のみなさん、我々と一緒に世界を地域から支え、発展させていきましょう！

専門医取得までのタイムスケジュール

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。下図に宮崎大学外科研修プログラムの1例

を示します。専門研修１年目は基幹施設、２年目は連携施設、３年目は基幹施設や連携施設での研修です。３年目以降の研修は２年次終了時の達成度合いで、研修内容を検討いたします。



サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。

専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

習得目標及び経験症例数

○ 専門研修1年目

主に大学病院で基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、読書会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 200 例以上(術者 30 例以上)

○ 専門研修 2 年目

基本的診療能力の向上に加えて、主に関連病院で外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 350 例以上／2 年(術者 120 例以上／2 年)

○ 専門研修3年目

チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

3年目は原則として宮崎大学病院で研修を行い、不足症例に関して各領域をローテートします。

主要症例名と実績数

宮崎大学医学部附属病院において、外科の年間の退院患者数は約1,200人、外来患者延べ人数は、約12,000人です。手術件数も年間約1,200件ありますので、各分野の症例数は十分に満たします。

院患者数	外来患者延べ人数	手術件数も年間
約1,200人	約12,000人	約1,200件

■ ココに注目！

現代の患者のニーズでは女性外科医の必要性は年々高まっていて、宮崎大学プログラムはいち早く女性医師が働きやすい環境整備をすすめ、性別にかかわらず就業・キャリア形成ができるよう最善を尽くしています。女性が働きやすい職場こそ男性も働きやすい職場である認識から、共に21世紀の働き方を改革しましょう。



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	カンファレンス	抄読会、勉強会	カンファレンス	カンファレンス
午前	病棟業務・外来				
午後	外来・総回診	外 来			
9:00～	手 術				
夕方	放射線診断合同 カンファレンス	医局全体ミーティング	内科外科合同カンファレンス 医局全体ミーティング	病理合同カン ファレンス	病理合同カン ファレンス

指導医からのメッセージ



消化管・内分泌・小児外科
市原 明子

初期研修が無事終了し、これからいよいよどの専門に進むか思いを巡らせておられることと思います。一度きりの人生を大きく左右する選択といっても過言ではありませんが、これまでの学生生活や研修医期間の決められたカリキュラムと違って、これからは自分がどんな医師人生を歩んでいきたいか、それぞれの意思で自分の道を築いていくことになります。当外科学教室は大講座制で、各専門分野の先輩たちと一緒に働きながら、自分の関心のある領域をじっくり選ぶことが可能です。また、大学病院と地域の連携病院をローテートする研修プログラムを通して、幅広くバランスの取れた臨床経験を積んでいくことができます。困難を乗り越えながら、一生探求し続けることのできる魅力的な分野と思います。興味のある方、大歓迎です！

先輩からのメッセージ



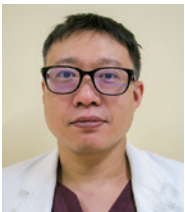
猪俣 麻佑

私自身、学生や研修医時代は見るもの全てが新鮮で、なかなか志望科を決めきれずにいましたが、その中でも手術の面白さに触れ、さらに患者様の体内から自分たちの手で病気を取り除くことができることに医師としての醍醐味を感じて2020年度より入局しました。宮崎大学は大講座制であり、各領域が一同に集まっていることで相談しやすい環境が整っていることが大きな特徴の一つだと思います。温かく、熱心な先生方からご指導いただきながら、外科医として必要な症例経験はもちろん、各科の周術期管理やそれに付随する手技を取得することができます。外科ならではの強い結束力も魅力の一つですので、ぜひ一度見学に来て、その雰囲気を感じていただければと思います。



肝胆膵外科
濱田 剛臣

大学では大講座制の強みを活かした研修が可能であり、臓器別の高度な手術および術後管理を学ぶことができます。さらに、各分野との垣根も低く、合同手術を行うことも稀ではありません。幅広い経験ができ、必ず自身の糧になります。一方、関連施設では、地域医療を担うため、年齢層も幅広く、common diseaseが多いです。今まで培った知識・技能をさらに昇華させることができ、「患者さんを診る」ことの本質を学ぶことができます。2023年度は5人の先生方がこの研修プログラムを選択してくれました。今、勢いのあるプログラムの一つです。近い年代の先輩がいることは、指導・目標・同志などの面で、非常に大きなメリットです。外科に少しでも興味がある方は一度見学に来てください。



心臓血管外科
川越 勝也

宮崎大学外科では各分野が協力しながら、日々診療に当たっております。また、研修中は各分野をローテーションするため、外科専門医取得に必要な知識と経験を身につけることができます。県内にある多数の連携施設での研修もあることから地域の医療に貢献できるという醍醐味もあります。外科医は、自分の技術をもって患者さんを救う機会が他科に比べて多いと思われます。そのような外科医に興味があるかたは、是非当科で研修を行ってみてください。指導医の先生方も、大切な後輩であるため一生懸命成長を促してくれると思います。一緒に宮崎の外科医療を支えていきましょう。

千代反田 顕



みなさんこんにちは。私は、久留米大学を卒業後、宮崎大学での研修を経て外科に入局し6年目になります。外科専門医を取得し、消化器外科専門医を目指して日々奮闘してます。当科は大講座制を掲げておりますが、実際に私がいる医局の部屋には心臓血管外科や呼吸器外科の先生も机を並べており、世間話をするなど各分野の距離感がとても近くfriendlyな環境です^^。消化器外科分野でもロボット手術が導入されるなど、術者も日々技術を磨く必要性がありますが、勉強会が定期的に開かれるなど若手の指導にも力を入れてくださっており、先輩方の背中を追いかけてながら満足のいく環境で仕事をする事ができています。私は手術室で无影灯の下、手術をされている先生方に憧れて外科医となりました^^。悩んでいる方がいれば相談に乗りますので、是非気軽に連絡して下さい。お待ちしております^^。

診療科の紹介

- 消化管(食道・胃・小腸・大腸)の疾患を取り扱う消化管外科と腹部実質臓器(肝・胆道・膵・脾)の疾患を取り扱う肝胆膵外科の2分野の紹介です。
- 外科学分野を横断的に学んで外科専門医を資格を得たのち、消化器外科専門医の資格取得を目標にこの2分野で研鑽をつんでいきます。
- 症例毎に手術適応、手術内容、術後合併症の対応、全身管理について、カンファレンスを重ね、安全性の高い外科診療をめざしています。
- 各領域で鏡視下手術を積極的に導入しています。
- 2022年よりロボット手術も導入し症例を増やしています。
- 緊急手術や外傷手術も対応しており、救命外科を経験できます。
- 若手の先生がバランスよく効率的に消化器外科に精通できるような丁寧な指導をこころがけています。

取得できる専門医及び技能

消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、消化器病学会専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、胆道学会指導医、膵臓学会指導医、大腸肛門病学会専門医、食道学会食道外科専門医、気管食道科学会専門医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定医、日本腹部救急医学会認定医、日本Acute Care Surgery学会認定医など資格取得に必要な手術や処置の技術



主要症例名と実績数

2022年の手術実績数		
症 例	実績数	
【肝胆膵外科 96例】	高難度手術	42
	膵頭十二指腸切除術	17
	肝切除術	37
【食道外科 67例】	高難度手術	56
【胃・十二指腸手術 51例】	高難度手術	14
【下部消化管手術 179例】	小腸腫瘍・大腸癌	112
	炎症性腸疾患	6
【緊急手術 92例】	内因性疾患手術	75
	外傷手術	17

消化器外科

有事即應！臨機応変に対応できる消化器外科医を育てます！

診療科の紹介

当科では成人心臓疾患(心臓弁膜症、虚血性心臓病など)、先天性心疾患(心室中隔欠損症など)、大動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離など)、末梢動脈疾患、静脈疾患など幅広い疾患を対象に診療を行っています。カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)やステントグラフト内挿術などの低侵襲治療にも積極的に取り組んでいますが、宮崎県の最後の砦として難易度の高い手術や小児・成人先天性心疾患への対応も求められ、最善の治療が提供できるようチーム一丸となって日々の診療に当たっています。県内の関連病院(県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院)と共に修練施設群を形成し、計11名の心臓血管外科専門医を配置し、豊富な手術症例数を確保しています。さらなるスキルアップのため国内外のHigh Volume Centerへの留学も行っています。

週間行事・研修に関する行事

月・水曜日は外来。火・木・金曜日は手術。毎週水曜日にハートチームカンファレンス、毎月末の月曜日に成人先天性心疾患カンファレンスを行っています。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導医、循環器専門医、脈管専門医、ステントグラフト実施医および指導医、TAVI実施医および指導医



主要症例名と実績数

2021年は223例の手術を実施しました。修練施設群内の過去4年の年間平均総手術数は801例です。

2021年の手術実績数		
症 例	実績数	
成人心臓大血管手術	141	
胸部大動脈ステントグラフト内挿術	27例	
経皮的動脈弁植え込み術	26例を含む	
小児心臓大血管手術	30	
小児人工心肺使用手術	20例	
腹部大動脈・末梢血管手術など	52	

心臓血管外科

人を思いやる温かいハートとハンドで、循環器疾患に立ち向かおう

乳腺外科

宮崎で乳腺専門医を目指しませんか。



取得できる専門医及び技能

外科専門医、乳腺専門医やその前段階の乳腺認定医が取得可能です。また、マンモグラフィー読影医やがん治療認定医を取得するサポートを行います。2022年より日本専門医機構でも乳腺外科はサブスペシャリティ領域として認定されました。

2022年の手術実績数

症 例	実績数
【乳腺悪性腫瘍手術 68例】	
乳房温存部分切除+センチネルリンパ節生検	16
乳房温存部分切除+腋窩廓清	1
乳房切除+センチネルリンパ節生検	27
乳房切除+腋窩廓清	17
その他の乳腺悪性腫瘍手術	7
乳腺腫瘍摘出等	8
その他(リンパ節生検等)	6
計84例	

診療科の紹介

乳癌は女性の悪性腫瘍の中で最も頻度が高く、しかも40代後半から60代と働き盛りの世代に多い疾患です。しかしながら、宮崎県では乳腺外科の医師が少ない現状です(乳腺専門医は11名。全国で38位)。

当科では、画像診断(マンモグラフィやUS)、針生検などの基本的な乳腺診療から手術、化学療法まで全てを行っています(がんゲノム医療や妊娠性の問題も取り組みやすい環境です)。女性の方は、結婚後や子育て中でも、乳がん検診を行うことで乳癌診療に貢献することができます。また、通常、術後に大きな合併症はありません。

乳癌に対して薬物療法も行っていますが、薬剤の進歩により最近では著効例も多く、この点もやりがいを感じることが出来ます(CDK4/6阻害剤や新規抗HER2薬など)。

研究面では化学療法の有害事象について、個体差が生じる分子メカニズムの解明をテーマに少しずつですが取り組んでいます。

主要症例名と実績数

昨年、68例の乳癌手術を行いました。大学ではリスクが高い症例や高齢者が多い関係で乳房切除術が多くなっています。また、リンパ浮腫のリスクの少ないセンチネルリンパ節生検(色素とRIとの併用)を多くの症例(45例)で行っています。

また、乳房の整容性を保つために、乳房温存部分切除術(放射線照射を要します)や形成外科と合同で乳房同時再建(3例)を行っています。加えて、昨年は延べ300例以上の化学療法を行いました。

診療科の紹介

当内分泌外科では主に甲状腺腫瘍(甲状腺癌や良性腫瘍)とバセドウ病、副甲状腺病変に対して外科的治療を行っています。各科と連携し患者さんの状態や疾患の状況を十分に評価した後に外科的適応を評価します。

当科では、通常の手術だけでなく進行症例や重度の併存疾患を有する症例においても対応しています。特に心臓血管外科や呼吸器外科と連携し高度浸潤症例においても積極的に手術介入を行っています。

また整容性の向上に努めるためにも近年は鏡視下手術を導入し行ってます。術後の傷が目立たず患者さんからの高い満足度がえられています。

都市部との治療格差がないよう常に最新の知見を意識しながら最高の診療を提供できるように努めています。

取得できる専門医及び技能

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本内分泌外科学会専門医・指導医

主要症例名と実績数

2022年の手術実績数

症 例	実績数
【甲状腺手術 57例】	
甲状腺癌手術	34
甲状腺良性腫瘍手術	10
バセドウ病手術	13
うち鏡視下手術	7
【副甲状腺手術 5例】	
副甲状腺腫瘍	5

内分泌外科

全国で不足している
内分泌外科を目指しませんか。



診療科の紹介

当呼吸器外科では、原発性肺癌、他臓器からの転移性肺腫瘍などの胸部腫瘍性疾患、縦隔の各種疾患、気胸や悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、胸部の感染性・炎症性疾患(肺結核、非定型抗酸菌症、膿胸など)、胸壁疾患(胸壁腫瘍や漏斗胸)などの外科治療を行っております。当科では、科学的根拠のある、経験に裏打ちされた医療を、安全・確実に遂行するよう心がけております。近年の手術では、内視鏡を使用して侵襲の少ない小さな手術創で行う胸腔鏡下の手術(VATS)を各種呼吸器疾患に広く応用しています。

また令和2年1月より、原発性肺癌に対するロボット支援手術を開始し、質を落とすことなくさらなる低侵襲治療を行っています。

週間行事

月曜日・金曜日は外来日、火曜日・木曜日は終日手術です。検査、カンファレンスは水曜日に行い、また内科、放射線科、病理との合同カンファレンスも行っております。

取得できる専門医及び技能

- 外科専門医(卒後6年)
- 卒後8年で呼吸器外科専門医
呼吸器外科では若い外科医に積極的に肺癌を始めとした手術の執刀をしていただいています。



主要症例名と実績数

肺腫瘍(肺癌を含む)、気管・気管支腫瘍、自然気胸、胸壁腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜疾患、膿胸、横隔膜疾患、胸壁疾患、胸部外傷

2022年の手術実績数

症 例	実績数
【呼吸器外科手術数 211例】	
肺悪性疾患	134
縦隔腫瘍	19

呼吸器外科

宮崎県の
次世代呼吸器外科を担うのは君だ！

小児外科

こどもの成長に寄り添う
小児外科医を育成します！

診療科の紹介

小児外科は先天性疾患(鎖肛や食道閉鎖、Hirschsprung病など)、未熟児の消化管穿孔といった新生児・乳児疾患から、虫垂炎や腸重積などの救急疾患、重症心身障害児への外科的介入、小児がんに至るまで幅広い疾患を対象として診療を行っています。頸部から肛門に至るまで、呼吸器、消化器、生殖器、軟部組織と幅広い臓器を扱えるのが大きな魅力の一つです。また機能的な予後を長期にわたりフォローすることから、診療に携わったこどもの成長をご家族と一緒に実感することができます。この喜びは小児外科に特有のものです。

週間行事

定例手術は金曜日に行っています。外来は火曜日と木曜日です。毎週月曜日と水曜日は消化管・内分泌・小児外科のカンファレンス、火曜日と木曜日は肝胆膵外科のカンファレンスに参加します。また必要に応じて小児科や産科、新生児科とのカンファレンスも行います。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、小児外科専門医、小児外科指導医、小児がん認定外科医、新生児認定外科医



主要症例名と実績数

2022年の手術実績数

症 例	実績数
鼠径ヘルニア手術	34 (うち腹腔鏡手術14例)
胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術・胃瘻造設術	7
停留精巣固定術	6
植込型中心静脈カテーテル留置	6
臍ヘルニア根治術	5
漏斗胸に対する胸腔鏡下胸骨挙上術(Nuss法)	4
鎖肛(高位及び低位)根治術	3
新生児腸癒・人工肛門造設(穿孔、高位鎖肛など)	2
小児固形悪性腫瘍手術	1
腸閉鎖症手術	1
腹腔鏡下胆道拡張症手術	1
横隔膜ヘルニア(遅発性)根治術(腹腔鏡下)	1
腹腔鏡下腸回転異常症手術	1

総計90件

うち新生児症例7件(8%)、腹腔鏡・胸腔鏡下手術32件(36%)

募集定員
2名

研修期間
4年

責任者からのメッセージ

形成外科
病院教授 伊東 大



宮崎県には形成外科専門医も指導医も足りません。2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センターが連携施設です。また、東京女子医大病院と鹿児島市立病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、指導医のもと実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

当科では、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- 1 包括的な体表外科：**先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- 2 多種多彩な創傷に対応する外科的治療：**「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- 3 微小血管吻合技術を用いた再建手術：**外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊離組織弁移植術を行っています。また、切断指再接着や肝切除の際の肝動脈吻合などの微小血管吻合も行い、良好な治療成績を得ています。再建・マイクロサージャリー指導医の取得も可能です。
- 4 熱傷治療施設としての地域貢献：**これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療に力を入れてきました。今後は当科も協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献していきます。熱傷専門医の取得も可能です。
- 5 研究への取り組み：**脂肪幹細胞などの再生医療分野や創傷治癒などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

連携施設名等

	施設名	指導医	症例数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	伊東 大 教授、他1名	約400例
連携施設	都城市郡医師会病院、宮崎江南病院、国立病院機構災害医療センター		
他プログラムの基幹施設	鹿児島市立病院、東京女子医大病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構 形成外科専門医
- 日本形成外科学会認定 特定分野指導医
皮膚腫瘍外科分野指導医
小児形成外科分野指導医
再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会認定 頭蓋顎顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定 熱傷専門医
- 日本手外科学会認定 手外科専門医

プログラム達成目標

- 1 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- 2 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- 3 4年間での手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例名と実績数

主科別手術件数

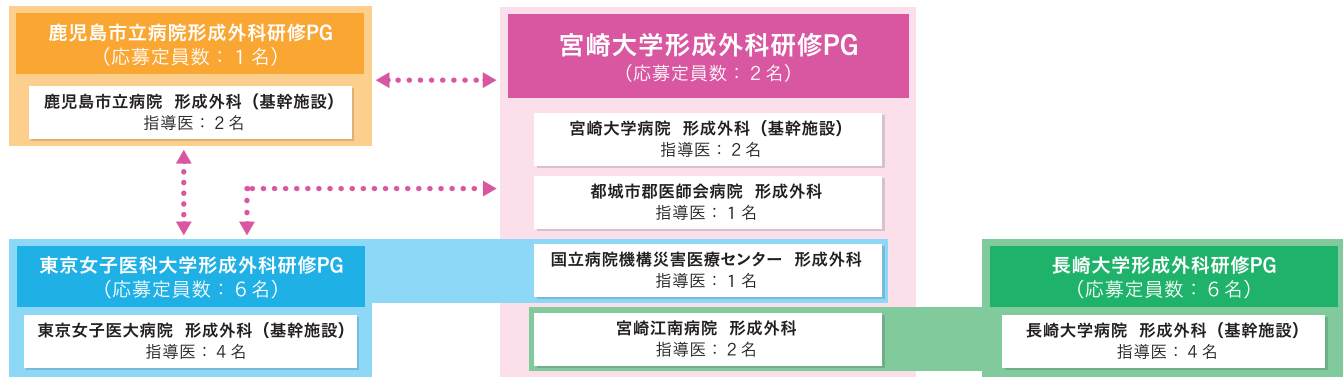
診療科	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
形成外科	205	257	317	360	300
耳鼻咽喉科	34	33	15	8	9
歯科口腔外科	18	30	28	27	23
救急科	5	8	7	4	6
整形外科	10	10	5	12	9
外科	22	7	20	27	21
皮膚科	10	2	0	0	1
脳外科	7	3	3	3	2
産婦人科・NICU	1	0	1	0	4
合計	312例	350例	396例	441例	375例



専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、3つの連携施設、及び2つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能とな

専門研修施設群



【ローテーションの一例】

※専攻医は最低1年間基幹施設である宮崎大学医学部附属病院での研修を必要とします。

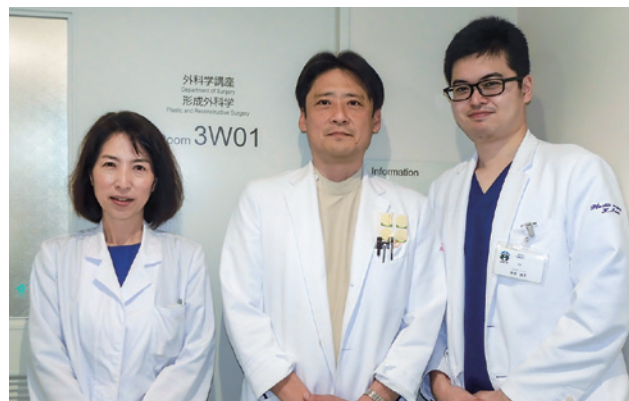
専門研修1年目	2年目	3年目	4年目
宮崎大学医学部附属病院	鹿児島市立病院	都城市郡医師会病院	国立病院機構災害医療センター

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診
午前	外 来	外 来 中央手術	中央手術	外 来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師3名で診療にあたっております。手術症例数は2022年の1年間で約400例でした。約1/3が他科との連携手術症例で、その殆どが再建手術であり、年々増加傾向です。つまり当科の特徴は、一人当たりの経験症例数が非常に多いため、経験値が急上昇。しかも他科からの紹介症例が多く、経験できる手術症例の種類が多様である事です。さらに形成外科学分野は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。外科学講座内は非常にコミュニケーションがとりやすく、垣根が無く、風通しの良い職場です。そのため、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決され、さらに外科の知識が豊富に吸収できます。是非見学に来てください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担 当：伊東 大

T E L：0985-85-9786
F A X：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

形成外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



Orthopaedics is My Life!
運動器のスペシャリストを目指して！

整形外科専門研修プログラム

募集定員
6名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

整形外科
教授 帖佐 悦男

宮崎の自然や人は最高です。
また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。
是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法の治療医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	帖佐 悦男 教授、他13名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連携施設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都市市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橘病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院、なんごう病院		

取得可能な専門医資格および技能

<取得可能専門医>

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

<サブスペシャリティ>

日本脊椎脊髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本手外科学会専門医

<取得可能な資格>

日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医、日本障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ医、日本医師会健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆学会認定医、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会関節鏡技術認定医

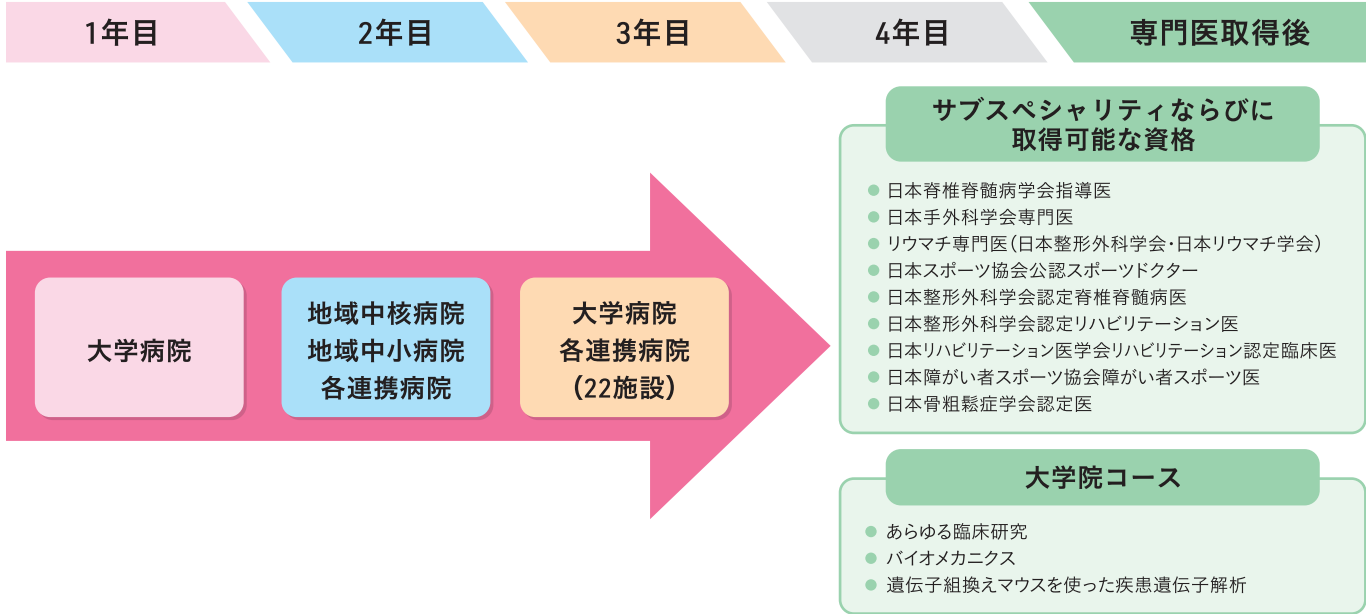
プログラム達成目標

宮崎大学医学部附属病院整形外科専門研修プログラムは到達目標を「自立したプロフェッショナルとしての整形外科医師」としています。
整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化社会をむかえた我国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。現在、宮崎大学医学部附属病院整形外科には、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、および研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リウマチ、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった22におよぶ施設、病院があり、機能的なローテーションにより、プライムケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことを目標としています。

主要症例名と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靱帯損傷に対する靱帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	外来	外来	手術	外来・抄読会
PM	手術	外来・病棟業務	検査	手術・術前カンファ	術後カンファ・回診・医局会

指導医からのメッセージ



助教 永井 琢哉

『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリュ－1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの笑顔が見られることです。今まで歩けなかった方が歩けるようになったり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティーにも挑戦できまし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行っています。整形外科に少しでも興味のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てくれば嬉しいですよ。一生の仕事になると思います。

ココに注目！

当科では、なでしこジャパンやラグビーワールドカップ、国体の帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っています。また学童期の運動器検診、少年野球検診、ロコモティブシンドロームに関する事業にも力を入れており、子供から高齢者までの運動器のケアを行っています。

先輩からのメッセージ



大江整形外科病院 近藤 梨紗

私は、H16年に東京女子医大を卒業後、地元の宮崎に戻り、卒後臨床研修を経て、当医局に入局しました。医師3年目に、同じ卒後臨床研修医の夫と結婚し、妊娠しましたので、初期にしっかりとした研修が受けられませんでした。1年間の育休後に、職場復帰させていただきました。復帰時は、整形外科医としては何も分からない状態で、不安もありましたが、医局の先生方からしっかりと指導していただき、関連病院での研修を積み、整形外科専門医を取得することができました。子育てをしながらの常勤での勤務は、時には過酷でもありましたが、当医局は進路についても希望を考慮していただき、結婚、出産後も仕事を続けることができております。現在は実家の病院を継承し、今後は生まれ育った宮崎の地域医療に貢献し続けていきたいと考えています。整形外科は力仕事、男性の職場というイメージが強いですが、当医局は子育てをしながら働く女性医師も多いですし、医局の先生方も子育てと仕事の両立に非常に理解、協力をして下さるので、女性でも働きやすい職場です。また大学病院には、託児所も併設されておりますので、環境も整っています。当医局では、バリバリ手術される女医さんから、時短勤務で働かれる女医さんまで、働き方は多様ですので、女性だから、整形外科はちょっと、と二の足を踏んでいる方は、是非一度見学、研修に来てください。

お問い合わせ先

担当：坂本 武郎

T E L：0985-85-0986

F A X：0985-84-2931

e-mail：seikei@med.miyazaki-u.ac.jp

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/>

整形外科 HP





責任者からの メッセージ

リハビリテーション科
教授 荒川 英樹



宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専攻医養成プログラムは、地方の立地を生かし、多くの症例の経験ができ、専攻医の皆さんの多様な希望にこたえられるプログラムを提供します。宮崎県はいわゆる地方都市です。大都市と比較して患者数ではかないませんが、以下の点で有利であり研修を勧めます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科が地域の7つの連携施設と密に連絡を取りあい、専攻医の希望を取り入れながら研修を進めていきます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGのメリットは以下の通りです。

- ① ほとんどすべての難治症例が宮崎大学医学部附属病院に搬送されます。従って基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で研修することは、多くの難治症例を経験することができます。専攻医数も少ないので丁寧な指導が期待できます。
- ② 一人あたりの専攻医が受け持たせてもらえる患者の数や、主体となって実施できる検査などが格段に多くなっています。
- ③ 大都市の病院では専門分野は細分化する傾向がありますが、地方都市では多くの専門分野を総合的に研修できます。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関で、ドクターヘリを運用する救命救急センターを軸とした超急性期リハや高度合併を有する内部障害リハ、がんリハなど幅広いリハが特徴です。また近接する宮崎大学宮崎市立田野病院と併設の介護老人保健施設では地域在宅のリハ／ケア医療の実践に力を入れていますので、実際の地域往診、訪問・介護リハ、看取りケアなどを体験することができます。

取得可能な専門医資格 および技能

リハビリテーション科専門医(日本リハビリテーション医学会認定)宮崎大学医学部附属病院専門研修PGでは、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	荒川 英樹 教授、他1名	リハビリテーション科・整形外科
連携施設	宮崎市立田野病院、延岡リハビリテーション病院		
関連施設	宮崎県立こども療育センター、国立病院機構都城医療センター、宮崎江南病院、野崎東病院、潤和会記念病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの3年間のプログラム(基幹病院と連携施設のローテート)における1コース例を示します。

施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決められます。

○ 宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科研修PGのコース例



プログラム達成目標

知識として求められるものには、リハビリテーション概論、機能解剖・生理学、運動学、障害学、リハビリテーション関連領域疾患の知識などがあります。専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)として求められるものは、8領域に亘ります。

- ① 脳血管障害、外傷性脳損傷など
 - ② 外傷性脊髄
 - ③ 運動器疾患、外傷
 - ④ 小児疾患
- ⑤ 神経筋疾患
 - ⑥ 切断
 - ⑦ 内部障害
 - ⑧ その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファ リハ外来	勉強会（月1回） 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	病棟カンファ リハ外来	病棟カンファ リハ外来
午後	定期ミーティング（月1回） 他科合同カンファ（月1回）	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ	装具外来 疾患別カンファ	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会（月1回）	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

ココに注目！

広がる リハビリテーション医学・医療のニーズ

わが国のリハビリテーション医学・医療の原点は、戦前の急性灰白髄炎(脊髄性小児麻痺：ポリオ)、骨・関節結核、脳性麻痺などの肢体不自由児に対する療育にあるとされています。宮崎県では1959年に宮崎県立整肢学園が開設され、現在のこども療育センターへと発展しています。その後、戦傷、労働災害や交通事故で対象となる患者さんが急増し、四肢の切断や骨折、脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療が大きな課題となりました。そして超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療の対象として、これまでの小児疾患や切断・骨折・脊髄損傷に中枢神経・運動器(脊椎・脊髄を含む)・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がん、スポーツ外傷・障害などの疾患や障害が加わりました。さらに周術期の身体機能障害の予防・回復、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルなども加わり、ほぼ全診療科に関係する疾患、障害、病態を扱う領域になっています。更に東京オリンピック・パラリンピックも決定し、障がい者(後遺症)のADLだけでなくQOLさらにより高度な機能改善に視点を向ける“障がい者スポーツ”も注目されています。残存機能に適した補装具、スポーツ関連機器などの適正やクラス分類分けなどを、リハビリテーション医学・医療という幅広い視野で経験することができます。宮崎県には、障がい者アスリートが日本・世界各地からキャンプに訪れ、サブスペシャリティとして取得可能な“障がい者スポーツ医”としても活躍できます。

主要症例名と実績数

症例	実績数（延人数／年）
脳血管障害、外傷性脳損傷など	3,000
脊髄疾患	50
運動器疾患、外傷	4,000
小児疾患	300
神経筋疾患	400
切断	50
内部障害	1,500
その他（廃用症候群、がんなど）	1,500

先輩からのメッセージ



助教 山口 洋一郎

地域の基幹病院であるため様々な分野の症例を経験できます。また指導医の先生方の専門分野も多様で、専攻医も少ないことから充実した丁寧な指導を受けることができます。是非一緒に宮崎でリハビリ専門医を目指しましょう。

お問い合わせ先

担当：荒川 英樹

T E L：0985-85-0986
F A X：0985-84-2931

e-mail：rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp

リハビリテーション科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/>



募集定員
8名

研修期間
3年

連携施設名等

	施設名	指導医	分娩数（2020年度）
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	桂木 真司 教授、他9名	271
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、独立行政法人国立病院機構都城医療センター、宮崎市郡医師会病院、古賀総合病院、宮崎善仁会病院、ARTレディースクリニックやまうち、鹿児島市立病院、船橋中央病院、三重大学医学部附属病院、九州大学病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期新生児学会 周産期専門医(母体・胎児、新生児)
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 婦人科内視鏡技術認定医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医

プログラム達成目標

日本産科婦人科学会専門医習得に必要な症例数は以下の通りで、このプログラムで必要な症例数は確保可能です。

症 例	必要症例数
経陰分娩	100
帝王切開術執刀	30
帝王切開術助手	20
前置胎盤／常位胎盤早期剥離症例執刀／助手	5
子宮内容除去術／子宮内膜全面搔爬を伴う手術執刀	10
腔式手術執刀	10
子宮附属器摘出術執刀	10
単純子宮全摘術執刀	10
浸潤がん手術執刀／助手	5
腹腔鏡下手術	15
不妊症治療担当／助手	5
生殖補助医療における採卵・胚移植術者／助手／見学者	5
思春期／更年期女性症例	5
経口避妊薬・低容量エストロゲン・プロゲステロン初回処方時の担当医／助手	5

責任者からのメッセージ

産科婦人科
教授 桂木 真司



当科では臨床医かつ研究者として幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。産科、婦人科ともに症例が豊富でチーム医療を通じて高度な技術や診断能力を高める事ができます。周産期、婦人科、新生児領域における研究も盛んであり、臨床と研究の両立も盛んであり、働き方改革を意識した勤務時間にも留意しています。女性：男性＝6：4程度で育児中の若いママさん先生も多く活躍し、医局全体が明るく楽しく仕事ができる診療科です。次世代を築く若い先生方と臨床の喜びを共有できる日がくる事を心まちにしています。

プログラムの特徴

専攻医1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医2～3年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。大学病院で比較的症例の少ない内視鏡手術や不妊症の分野は関連施設で経験できるようプログラムを作成し、3年間で専攻医申請に十分な症例が得られます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。専攻医4年目には産婦人科専門医を受験し資格取得が可能です。

主要症例名と実績数

	症 例	実績数	症 例	実績数		症 例	実績数
産科	経陰分娩	109	産科合併症		婦人科	広汎子宮全摘術	13
	帝王切開術	135	・双胎 MD	15		子宮体癌手術	18
	・選択的帝王切開術	56	DD	13		卵巣癌手術	17
	・緊急帝王切開術	79	・胎盤	2		悪性腫瘍以外の子宮全摘術	20
	合併症妊娠		・妊娠高血圧症候群	9		腹腔鏡手術	45
	・妊娠糖尿病	43	・前置胎盤	5		腔式手術	27
	・糖尿病合併妊娠 type1	6	・癒着胎盤	1	新生児	超低出生体重児	30
	type2	5	・常位胎盤早期剥離	1		極低出生体重児	13
	・甲状腺疾患	25	・胎児発育不全	13		低出生体重児	67
	・血液疾患	3	・胎児心奇形	10		重症新生児仮死	1
	・中枢神経系疾患	9	・胎児消化管閉鎖	3		先天奇形	16
	・心疾患	10	・胎児髄膜瘤	3		先天性心疾患	20

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
朝	関連病院合同症例カンファレンス	新生児科症例カンファレンス	リサーチカンファレンス研究結果発表会	産科症例カンファレンス	婦人科症例カンファレンス
午前	病棟	手術／病棟	病棟	手術／病棟	病棟
午後	回診	手術／病棟	病棟	手術／病棟	病棟
夕方			病理部門合同カンファレンス		

指導医からのメッセージ

前卒後センター 助教
(本年度は育児休暇取得予定) 圓崎 夏美

産科では新たな命の誕生に立ち会い、NICU(新生児集中治療室)では小さく生まれた赤ちゃんの全身管理を行い、婦人科ではがんと闘う女性のサポートを行います。ひとえに産婦人科といっても学べることは幅広く、内科的管理から外科的管理まで様々な知識が必要です。私たちは一丸となり、毎日宮崎の赤ちゃん＆女性のため奮闘しています。忙しい・大変なイメージがあると思いますが、出産・育児を行いながら働く女性医師も増えており、自分の人生設計に応じた働き方ができるようサポートしていきます！宮崎の産婦人科医療と一緒に盛り上げていきましょう！

先輩からのメッセージ

専攻医3年目 宮崎大学勤務 小畑 静

当院産婦人科は新生児管理を小児科とともにを行っています。出生後の管理を通して産科管理にフィードバックでき、これは他の病院にはない強みだと感じています。また週に1回県内外の多施設を繋ぎテレビカンファレンスを行っており、自施設以外の様々な症例から学ぶことができます。私達は小さな赤ちゃんから始まる女性の一生に寄り添っています。時には大変な時もありますが、それだけやりがいがある、患者さんの喜びにも立ち会うこともできる唯一の診療科です。ぜひ一緒に体感してみませんか？

専門医1年目 都城医療センター勤務 大富 正子

産婦人科は周産期、腫瘍、新生児医療、女性医学など幅広い分野があり、やりたいことがあれば各々に適した道が用意されています。内科的な頭の使い方も、外科的な体の動かし方もでき、メリハリのある生活の中で専門性を高めていくことができるという魅力もあります。また、私たちの医局には出産・育児を行いながら働く医師が多数在籍しており、各々の人生設計に応じた働き方が可能です。外科か内科で迷っている方、「何に向いているのかわからない」と悩んでいる方、子育てしながら仕事を続けていけるのか不安な方、ぜひ宮崎と一緒に働きましょう！

ココに注目！ 講師・総合周産期母子医療センター副センター長・教育医長 山田 直史

当教室では産科、婦人科、新生児科の3分野を皆がトレーニングして専門医に必要な技術・知識を習得します。約30年前に現宮崎大学学長の池ノ上克先生が県内の周産期医療を立ち上げ、NICU(新生児集中治療室)を主に産婦人科医が担当、診療を行うのが特徴です。2021年2月からは桂木真司教授が着任し得意な周産期領域を中心に据え、ロボット手術も含めた婦人科、生殖医療など幅広い内容を含んだ魅力的なプログラムにさらに発展させる予定です。県内の関連施設は腹腔鏡を中心とした病院、産婦人科救急症例の多い施設等多彩で、充実した幅広い分野の研修が可能です。分娩に立ち会う産科医は、新生児蘇生のスキルが重要で分娩直後に状態が悪い新生児に迅速に対応することが大切です。当大学で

は新生児領域のローテーションを行い新生児蘇生の技術を身につけることが可能です。そして臨床医かつ研究者として通用する人材の育成が目標です。少数の医師で構成される地域医療では短期間に多くのかつ深く濃厚な臨床経験が可能です。連携施設には数多くのバラエティに富んだ県外の施設と連携しています。またネットワークを利用した全国の施設との週1回のカンファレンス、米国、カナダへの留学、全国学会の主催など数々イベントを通し“臨床と研究に強い”医師の養成を目指しています。育児との両立も可能で多数の女性医師が現在、活躍中です。症例について一緒に悩み、考え、臨床の喜びを共有できる日が来ることを心待ちにしています。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-0988
F A X : 0985-85-6149
e-mail : koutarou_doi@med.miyazaki-u.ac.jp

担 当 : 土井 宏太郎

産婦人科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/obgyn/



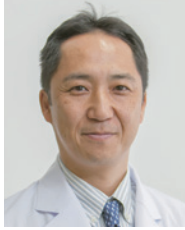
募集定員
4名

研修期間
4年



責任者からの メッセージ

眼科
教授 池田 康博



宮崎大学医学部眼科学教室は、1976年に創設された比較的若い教室です。医局員は30名と少しずつ増えてきておりますが、教授・准教授から研修医までがいつも顔を合わせながら、アットホームな雰囲気の中で日々の診療・教育に励んでいます。広大な宮崎県の眼科医療を当教室が支えています。白内障や緑内障のような一般的な疾患だけでなく、小児眼科、瞼や涙道の疾患などといったあらゆる眼疾患に対し、高いレベルを保ちながら診断から治療までを実践しています。眼科学を楽しめる環境を整備することで、若い先生には少しでも早く一人前に育ってもらい、宮崎県の眼科医療を支えて欲しいと思っています。

プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。宮崎大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

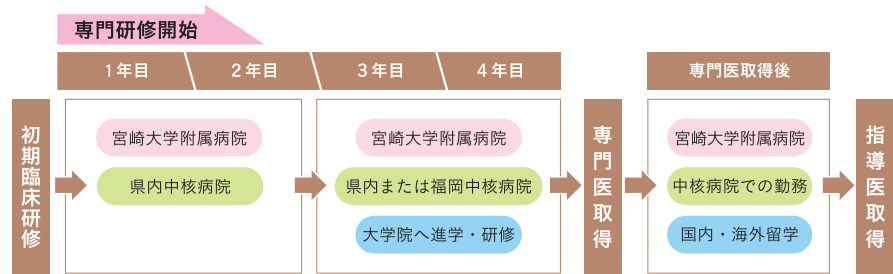
- ① 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
- ② 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
- ③ 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

連携施設名等

	施設名	指導医	内眼手術（年間）	外眼手術（年間）	レーザー手術（年間）
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	池田 康博 教授、他5名	1,198	513	190
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、済生会日向病院、宮崎中央眼科病院、宮田眼科病院、九州大学病院、JCHO九州病院、麻生飯塚病院				

専門医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修期間中、1年目、あるいは2年目のどちらかを専門研修基幹施設である宮崎大学医学部附属病院で研修します。1、2年目は宮崎大学医学部附属病院、連携する県内の中核病院のいずれかで研修を行い、3年目以降は宮崎大学医学部附属病院、県内の中核病院、もしくは福岡県の中核病院で研修します。



取得可能な専門医資格および技能

眼科専門医、神経眼科相談医、眼科PDT認定医

プログラム達成目標

- ① 医師としての基本姿勢・態度、眼科6領域（角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器）、他科との連携に関する専門知識。
- ② 検査、診断、処置、手術、手術管理、疾患の治療・管理に関する専門技能。
- ③ 学問的姿勢。
- ④ 医師としての倫理性、社会性を身につける。

主要症例名と実績数

2022年度の宮崎大学医学部附属病院眼科における手術件数は、白内障手術591件、網膜硝子体手術304件、緑内障手術277件、斜視手術207件、レーザー手術190件、涙道手術53件、角膜移植2件を含む計1,901件でした。これは眼科のほぼすべての領域をカバーしています。さらに県下唯一の大学病院であるため、稀少症例も経験することができます。また県内外の6つの専門研修連携施設においても、common diseaseをはじめそれぞれの施設の特色により集まった多数の症例があり、基幹施設以外でも専攻医として必要な手術症例数を十分に経験できます。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金
午前	・手術 ・専門外来 （緑内障）	・病棟回診 ・外来業務	・手術 ・専門外来 （小児・斜弱・神経眼科） （ぶどう膜炎）	・病棟回診 ・外来業務	・手術 ・専門外来 （黄斑変性） （未熟児網膜症）
午後	・手術 ・専門外来 （緑内障） ・病棟業務	・外来業務 ・専門外来 （未熟児網膜症） ・病棟業務 ・手術カンファ	・手術 ・専門外来 （小児・斜弱・神経眼科） （ぶどう膜炎） ・病棟業務	・外来業務 ・専門外来 （角膜） ・病棟業務 ・症例検討会	・手術 ・専門外来 （黄斑変性） （未熟児網膜症） ・病棟業務

指導医からのメッセージ

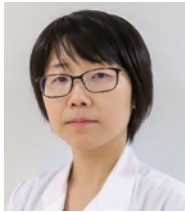


助教 杉田 直大

眼科というと身体のほんの小さな部分だけを扱う狭い領域のように感じるかもしれませんが、実際はそこにも多くのサブスペシャリティがあり、それぞれに奥深い世界が広がっており飽きることはありません。

また宮崎大学眼科大きな医局ではないので、それぞれの希望に応じた小回りの利く専門研修ができると思います。実際、私はキャリアの割に多くの硝子体手術を経験させてもらっており、今後は後輩たちにもそれを伝えていきたいと思っています。是非私たちといっしょに、宮崎大学眼科で楽しく眼科道を究めましょう！

先輩からのメッセージ



山添 早織

眼科は診察や検査など特殊ではありますが上級医の先生方に指導を受けながら1年目から手術の執刀や

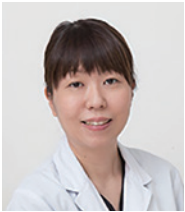
外来に携わることがができます。手術の基本となる白内障手術は豚眼を使用してヒトの眼に近い状況で練習を積んで実際の手術に臨むことができるため、手術ができるか不安な人でもトレーニング環境は充実しています。眼科の診療は外科的要素だけでなく内科的要素もありますし、意外と全身疾患と関連する眼症状・所見が多くあり、眼科所見から全身疾患を疑う端緒となることもあれば、全身疾患の合併症として眼科疾患が疑われることもあります。ですので、学生・研修医で全身について学んだことは決して無駄にはなりません。眼科に入ってからでも選択肢が多いため、ある程度進路を決めた人も何も決まっていなくてもとりあえず眼科を回ってみて下さい！



新井 千晶

たった2センチちょっとの器官である眼に…こんなにもたくさんの病気があるの?!というのが、眼科研修を始めてまず

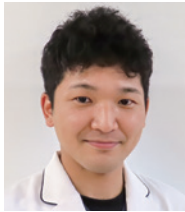
感じたことでした。眼科は検査も診察も専門的でありなじみがなかったのですが、勉強しながら日々その面白さを感じて診療しています。治療の経過で「かすみが取れてきた!」「今日視力1.2だった!」「だぶりがなくなって楽になった!」と、アウトカムが患者さんにも医療者にもわかりやすい側面があり、患者さんからそんなふうに言われた時はいつも一緒に喜んでいます。わからないことや不安な手技があっても、年数の近い先輩から准教授、教授まで、すぐに尋ねたり、一緒に診療してくださる雰囲気があるので、心強い環境で不安なく研修を積めるのが宮崎大学の強みだと思います。少しでも興味がある方は百聞は一見にしかず!ぜひ一度見学にいらしてください。のぞいてみてわかる奥深い眼科の世界にきっと魅了されます。



助教 日高 貴子

初期研修医の時に私が眼科を選んだ理由は、手術に携わることができて、幅広い年齢の患者様を診療することができることでした。眼科医になってからは、眼科診療の奥深さ、面白さを感じながら日々精進しております。

今指導する立場となり、眼科の魅力を感じることができ、研修医の皆さんの糧となるような指導ができたらと思っています。それぞれ皆さん色々なバックグラウンドを持ちながら働いていらっしゃると思いますが、眼科はそれぞれの働き方に柔軟に対応できる科です。眼科に興味がある先生方だけではなく、どの科を回ろうか悩んでいる先生もぜひ一度眼科で研修してみてください！



満留 一匠

眼科医である私の父は、手術の動画を家でもよく見ていました。子供心に、ずっと目ばかり見てなに

が面白いんだろうと思いつつ、横でゲームをしていた記憶があります。しかし自分が眼科医になり、今なら眼科の面白さがわかります。手術のたびに新しい発見・改善点があり、できなかったことができるようになったときには頭の中でレベルが上がる音がします。眼科ならではの診察・検査で隠れた所見を探し出し、最適な治療法を選択するプロセスは謎解きのような醍醐味があります。そして、いつも周りにはアドバイスをくれる心強い先生方がいて、目の健康を守るために毎日共に戦っています。一緒に眼科の冒険の世界を楽しんでみませんか、お待ちしております。

お問い合わせ先

担当：日高 貴子

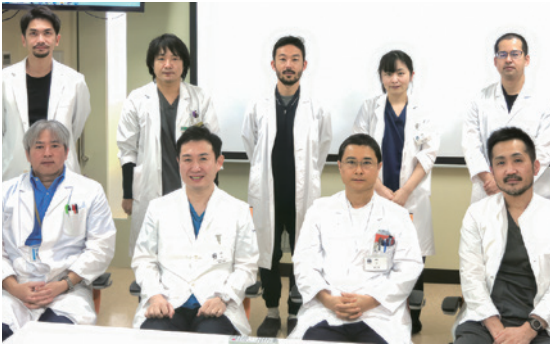
T E L：0985-85-2806
F A X：0985-84-2065

e-mail：takako_hidaka@med.miyazaki-u.ac.jp

眼科 HP

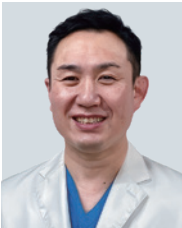
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/ophtha/





責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科
教授 高橋 邦行



耳鼻咽喉科・頭頸部外科の範囲は、生命・機能維持に関する多くの感覚器、運動器があり、内科的、外科的な両面から、生活の質(Quality of life)の改善、健康増進を目指しています。めまい、感染症、アレルギー性疾患から、人工聴覚器のような先進医療、気道緊急などの救急疾患、悪性腫瘍に対する集学的治療まで、さまざまな分野に対応しています。映像の共有、シミュレーション手術も使い、レベルに合わせた屋根瓦方式な指導で、若いうちより安全、確実に技術の獲得ができます。医療者自身が健康で楽しく仕事をできないと、患者さんの健康を守ることができません。当科では組織として互いにリスペクトし、楽しく仕事ができる環境を実践しています。

プログラムの特徴

耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医としての知識・技能・医療倫理を兼ね備えた医師を養成しつつ、宮崎県の地域医療充実と質の向上に貢献することを目的としています。宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室を中心とする連携研修施設群において、耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムであると同時に、学会発表や学術論文作成を通じて自然科学者としてのリサーチマインドも重視します。また、地域の医療情勢の理解、他大学との技術交流、人材交流の目的で、琉球大学、東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学との連携も選択可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	高橋 邦行 教授、他 4 名	904
連携施設Ⅰ	県立宮崎病院、国立病院機構都城医療センター、宮崎善仁会病院		
連携施設Ⅱ	琉球大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、国際医療福祉大学成田病院		

連携施設Ⅰ・・・地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上、年間手術件数150件以上
連携施設Ⅱ・・・他大学病院(様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。)

専門医取得までのタイムスケジュール

コース	1年	2年	3年	4年
基本コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学附属病院
国内留学コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	他大学連携施設	宮崎大学附属病院
基礎研究展開コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学大学院
地域枠キャリア形成コース	宮崎大学附属病院	地域医療施設	地域医療施設	宮崎大学附属病院

プログラム達成目標

1年目(2024年度)：

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の基礎を固めます。

2年目(2025年度)：

宮崎大学医学部附属病院において大学病院特有の専門性を有する疾患の経験を積みます。

3年目(2026年度)：

連携施設Ⅰのいずれかにおいて6ヵ月～12ヵ月間の地域医療の実践的な研修を行います。また、連携施設Ⅱにおける大都市や異なる医療圏での研修の選択も可能です。

4年目(2027年度)：

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の総点検を行い、不足事項があれば補填した上で専門医試験前対策期間を適宜設けます。また、基礎研究展開コースでは社会人大学院に入学して基礎研究を開始します。

主要症例名と実績数

専攻医は4年間の研修期間中に右表の疾患について、外来あるいは入院患者の管理を受け持ち医として実際に診療経験しなければならいとされていますが、当プログラムでは十分経験することが可能です。

症例	実績数	症例	実績数
難聴・中耳炎	25例以上	喉頭腫瘍	10例以上
めまい・平衡障害	20例以上	音声・言語障害	10例以上
顔面神経麻痺	5例以上	呼吸障害	10例以上
アレルギー性鼻炎	10例以上	頭頸部良性腫瘍	10例以上
鼻・副鼻腔炎	10例以上	頭頸部悪性腫瘍	20例以上
外傷・鼻出血	10例以上	リハビリテーション(難聴、めまい・平衡障害、顔面神経麻痺、音声・言語、嚥下)	10例以上
扁桃感染症	10例以上		
嚥下障害	10例以上	緩和医療	5例以上
口腔・咽頭腫瘍	10例以上		

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	MENTOR朝ゼミ 抄読会	手術 聴覚支援 外来	症例検討会 病棟回診	手術
		外来		外来	
PM	手術	手術 外勤：発達支援センター	手術 聴覚支援 外来	放射線科合同 カンファレンス	手術 外勤：田野病院
				医局会 MENTORタゼミ	

指導医からのメッセージ



医局長 後藤 隆史

みなさん、こんにちは。医局長の後藤です。当教室は、永年耳科学を中心に全国に発信して来た教室で、耳科手術に関しては全国トップレベルに位置し、年2回の手術講習会開催を通じて全国の先生方と知り合う機会にも恵まれている、そんな教室だと自負しています。また地域医療の基幹拠点として、県内3施設・県外2施設に常勤医を、県内・県外の10施設に非常勤医を派遣し地域医療に貢献しています。また外科医としてのみならず内科系医師としても、フルタイムでもパートタイムでも働く事が出来る環境にあります。「宮崎ブランド」としてどこに出しても恥ずかしくない耳鼻咽喉・頭頸部外科医に育てますので、老若男女問わずお待ちしております。

ココに注目！

◆耳鼻咽喉科の特徴

五感、すなわち視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち視覚を除いて耳鼻咽喉科の守備範囲です。耳鼻咽喉科は人間が人間らしく生きる上でもっとも基本的かつ重要な機能を扱っています。扱う疾患、手技が多岐にわたるため、個々の興味、能力、体力などに応じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、自分にふさわしい分野(サブスペシャリティー)を見つけることができます。

◆女性医師について

日本耳鼻咽喉科学会会員の女性医師は年々増加傾向にあり、現在24%を超えています。小児難聴をはじめ従来から女性医師が活躍してきた領域も多く、高い専門性を保ちながら医療の第一線で活動を継続している女性医師が多いのも耳鼻咽喉科の特徴です。

先輩からのメッセージ



猿渡 英美

私は初期研修の時に耳鼻咽喉科に興味を持ち、入局を決めました。耳鼻咽喉科の魅力の一つは、耳、鼻、のど、頭頸部と幅広い分野を学ぶことができ、また新生児から高齢者まで様々な方と関わることができる点だと思います。働き方も様々で、専門分野を決めることもできますし全ての分野を学ぶこともできます。また診療形態の選択肢も多く、育児をしながらでも希望通りの働き方で仕事を続けやすい環境だと思います。耳鼻咽喉科に興味のある方もない方も、まずはぜひ気軽に遊びにきてください。



久富木 冠

入局して、4年が経とうとしています。ポリクリでの実習を通して、興味を持ったこの科の一員として、憧れだった先輩方と一緒に楽しく働かせていただいています。耳鼻咽喉科医は、音楽を聞く、睡眠をとる、食事を摂る、といった楽しく生きていく上でとても重要な役割を果たしている器官の専門家です。1年目から、これらに対し、手術・外来診療を通して深く関わることができ、症状が改善したときには、患者さんの喜びを直に体感できることが当科の魅力だと感じています。もちろん自分自身が楽しく生きることが重要で、毎朝のサーフィンは診療前の至福のひとつとなっています。ぜひ、宮崎大学病院耳鼻咽喉科で、ともに楽しく働きましょう。

お問い合わせ先

担当：奥田 匠

T E L：0985-85-2966
F A X：0985-85-7029
e-mail：takumi_okuda@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/

耳鼻咽喉科 HP



募集定員
6名研修期間
4年責任者からの
メッセージ泌尿器科
教授 賀本 敏行

当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

大学病院では“大学病院ですべき領域”を明確にし、連携施設との役割分担、開業医の先生との緊密な医療ネットワークを活用して、宮崎県の泌尿器科医療はかなり高いレベルになっていると自負しています。泌尿器科領域にはその他にも数多くの疾患がありますが、専門研修においては宮崎県の中で広く身につけていただくようなプログラムを作成しています。4年間で専門医を取得した後は、基礎研究に興味がある先生には大学院に進学していただけます。また希望があれば、国内の他の施設との人事交流も積極に行っていますので、サブスペシャリティーとして特化した領域の病院や、“都会”の中核病院でのさらなる研鑽も可能です。医師として長く納得して仕事をするためには、診療の“実力”を身につけること、良き人間関係の構築、そして何より“家族”が大事です。そのためには医局の雰囲気 が最も重要だと思っています。その点、当教室の医局員の皆さんは気持ちの良い先生ばかりで、大変良い雰囲気 で仕事ができていると思っています。日本のトップレベルの泌尿器科になるために是非力を貸してください。

プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、2つから選択することが可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	賀本 敏行 教授、他7名	421
連携施設	県立延岡病院、県立日南病院、藤元総合病院、野崎東病院、千代田病院、おがわクリニック、串間市民病院、潤和会記念病院、古賀総合病院、小林市立病院、人吉医療センター、熊本大学病院、済生会熊本病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

○ 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒業後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。

専門医取得									学位取得		
専門研修プログラム									大学院		
卒業後	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
研修病院	初期研修	大学病院	連携病院	大学病院							

○ 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2-3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会 で決定します。

専門医取得								
専門研修プログラム								
卒業後	1	2	3	4	5	6		
研修病院	初期研修	大学病院	連携病院	大学病院				

取得可能な専門医資格および技能

- 1 泌尿器科専門医、指導医
- 2 癌治療認定医
- 3 泌尿器腹腔鏡技術認定
- 4 日本内視鏡外科技術認定(泌尿器科領域)
- 5 日本小児泌尿器科学会認定医
- 6 da Vinci Xi surgical system certificate

プログラム達成目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)からなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

○ 4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)

- 1 泌尿器科専門知識
- 2 泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術
- 3 継続的な科学的探求心の涵養
- 4 倫理観と医療のプロフェッショナルリズム

主要症例名と実績数

- 1 前立腺、尿道 : 前立腺癌、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道下裂
- 2 膀胱 : 膀胱癌、膀胱結石、神経因性膀胱、膀胱尿管逆流症、間質性膀胱炎
- 3 腎 : 腎細胞癌、腎盂癌、腎結石、末期腎不全、水腎症
- 4 尿管 : 尿管癌、尿管結石、尿管狭窄
- 5 副腎 : 副腎腫瘍
(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)
- 6 陰嚢・陰茎 : 精巣癌、陰茎癌、停留精巣、精索捻転、陰嚢水腫

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間 朝	月 カンファレンス	火 抄読会	水	木	金 カンファレンス
午前	外来診察・入院患者処置	外来診察・入院患者処置	手術	外来診察・入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置
午後	外来診察・入院患者処置	カンファレンス・回診	手術	外来診察・入院患者処置	手術
夕方	小児泌尿器科カンファレンス (第2月曜)	病理カンファレンス (隔週)			

指導医からのメッセージ



准教授 澤田 篤郎

泌尿器科の医師が携わる領域はこの10年間でダイナミックに変化しています。手術はロボット手術による低侵襲かつ質の高い手術がメインとなり、またがん薬物治療では免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬の導入で治療選択肢が増えたこともあり、一人ひとりの患者さんに一貫して満足感のある治療を行うことが可能となりました。また排尿障害や尿路結石、男性医学や女性骨盤臓器脱など、幅広い領域のスペシャリティがあるのも泌尿器科の特徴です。特にロボット手術においては、泌尿器科が10年以上前に他のどの診療科よりも早くロボット手術を導入しリードしてきました。宮崎大学には最新機種 のda Vinci Xiが2台ありますので、当科ではこれをフル活用して最高峰の手術を患者さんに提供しています。当科の雰囲気は、漢気あふれる賀本教授を中心に明るく和気あいあいと仕事をしています。国内留学にも積極的で、京都大学やその関連病院、札幌医科大学などで貴重な経験を積んで医師としての幅を広げることも可能です。研修医の皆さん、ぜひ一度見学に来てください。待っています！

ココに注目！

泌尿器科とは？

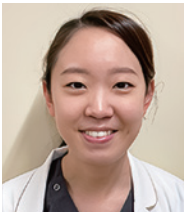
外科or内科系？どんな疾患をみるの？全身管理はするの？抗がん剤の治療はするの？などなど、名称ではイメージがつかない科の代表だと思います。外科的治療では内視鏡治療、体腔鏡、ロボット支援手術を発展させ、内科的治療では分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤などを多く使用している科です。一人の患者さんに対し診断、手術、抗がん剤治療、週末期に至るまでを主科としてみる事が多く、初期症状から人生の終着までの一連の流れを体験・理解することができます。また、研修中に習得してもらいたい手技として、腹部エコーや導尿などを指導しております。是非コツを掴んでください！最後に、研修すれば入局したくなってしまうと思います。お互い別れはつらいですが、他科に進まれる場合も笑顔でお見送りしますので、心配なく研修に来てください！それでは、会える日をお待ちしております。

先輩からのメッセージ



泌尿器科2年目 宮元 耀嗣

私が宮崎大学泌尿器科に入局しようと思ったのは初期研修医2年目の夏でした。それまでは、漠然と外科系に進みたいと考えておりました。泌尿器科には、開腹手術・腹腔鏡手術、内視鏡、排尿機能、生殖、小児、移植、感染症と様々な分野があります。外科的な治療だけでなく、排尿機能や抗がん剤などの内科的な治療まで幅広く行うところが最大の魅力でした。早いもので入局して1年が経ちましたが、手術の執刀だけでなく、透視下でのステント挿入術、内視鏡操作など様々な手技を経験させていただいております。手技だけでなく、内科的にも癌や結石、排尿障害などと格闘する日々です。本当に様々な症例に出会うため、飽きる暇がありません。少しでも泌尿器科に興味のある方、まだ進路を決めていない方は是非、一度雰囲気だけでも味わいに来られてはいかがでしょうか？



泌尿器科1年目 大橋 かすみ

今年度泌尿器科に入局した大橋かすみです。宮大卒業後、県外で初期研修を行い宮崎に戻ってきました。泌尿器科には学生時代から興味があり、ロボットを用いた大手術から、腎臓・膀胱瘻造設術や結石手術、透析シャント拡張手術など、幅広い手技ができることに魅力を感じて選びました。初期研修先への入局も考えましたが、宮崎大学の先生方のお人柄や雰囲気の良さに惹かれ、宮崎大学泌尿器科での専門研修を選びました。入局して1か月ほど経ち、先生方の熱心な指導のもと、日々の手術や外来、外勤などに取り組んでいます。あなたも宮崎大学泌尿器科で充実した日々を送りませんか？ぜひお待ちしております。

お問い合わせ先

担当：高森 大樹

TEL：0985-85-2968

FAX：0985-85-6958

e-mail：urology@med.miyazaki-u.ac.jp

泌尿器科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/urology/>

脳神経外科 専門研修プログラム

日本のひなた宮崎県で
あたたかな脳神経外科医を目指しませんか

募集定員
3名

研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	竹島 秀雄 教授、他 6 名	328
連 携 施 設	県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、潤和会記念病院、金丸脳神経外科病院、池田病院		
関 連 施 設	熊本大学附属病院、大分大学附属病院、和田病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本脳神経外科学会専門医を取得後、サブスペシャリティ専門医として以下の資格が取得可能です。

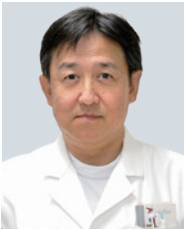
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中の外科学会技術認定医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本脊髄外科学会専門医
- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本癌治療認定医
- 機能的定位脳手術技術認定医

プログラム達成目標

当プログラム開始後 4 年間で脳腫瘍、脳血管障害、外傷、脊髄脊椎疾患、小児疾患、機能的疾患、感染などの疾患を経験し、最終的に日本脳神経外科学会専門医を取得することを目標とします。手技的には開頭手術や脊髄脊椎手術、脳血管内手術などの助手業務をこなし、訓練状況によっては開頭血腫除去術などを執刀医として手術を完遂できる技量を身につけることを目標とします。同時に脳神経外科専門医として必要な外来業務、病棟業務をこなし他科医師への適切な助言提供が行えることも目標とします。

責任者からの メッセージ

脳神経外科
科長 竹島 秀雄



宮崎大学における脳神経外科専門医の取得を目指すプログラムです。専門医取得のための症例数や診療・手術経験は、このプログラム

で十分に充足させることができますし、非常に高い合格率を誇っています。これを通過点として、血管内治療学会専門医などのサブスペシャリティの専門医資格や研究・留学などで更に飛躍を目指す若手医師を募集しています。時に厳しいものの恵まれた自然と暖かい人間関係のもとで、自分の可能性を大きく羽ばたかせてみませんか。

プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内での連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学(熊本大学、大分大学)を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設(宮崎大学)では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。手術設備についても手術用顕微鏡以外に内視鏡、外視鏡、ナビゲーションシステム、光線力学的治療装置など最先端機器を導入しその技術習得が可能です。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科(博士課程)に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

当プログラム開始 1 年目(卒後 3 年目)は基幹施設(大学病院)で研修を開始します。2 年目、3 年目は連携施設もしくは関連施設で 1 年間ずつ臨床医師として訓練を積み、4 年目で基幹施設に戻り研修を継続、5 年目(卒後 7 年目)の夏に脳神経外科専門医試験(筆記および口頭試問)受験となります。脳神経外科専門医資格取得後はサブスペシャリティとして脳血管内治療専門医や脳卒中専門医などを任意で目指して頂きます。



主要症例名と実績数

基幹施設では脳腫瘍、先天性奇形・水頭症、機能的疾患手術や脳血管内手術が大部分を占め、一方で連携・関連施設では脳血管障害、外傷、脊髄脊椎外科手術、脳血管内手術が多くを占めます

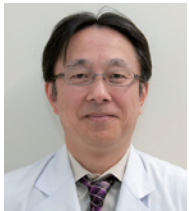
症 例	実績数
脳腫瘍手術	133
脳血管障害手術	132
外傷手術	293
先天性奇形・水頭症手術	108
脊髄脊椎手術	206
機能的疾患手術	16
脳血管内手術	243



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間		月	火		水	木		金	
午前	7:30 ~	抄読会	回 診		カンファ	回 診		回 診	
	8:00 ~	カンファ	手 術	病 棟		手 術	病 棟	手 術	病 棟
	8:30 ~				総回診				
	9:30 ~	病 棟			病 棟				
	10:00 ~								
午後	13:00 ~ 17:00								

指導医からのメッセージ



医局長 大田 元

私は「神経を扱う外科系」に興味があり、最終的に脳神経外科を選択しました。デリケートな部位を扱う診療科であるため、入局前や入局直後は「果たしてやっていけるのか?」という不安が多かったです。しかし多くの臨床経験を積み、先輩・同僚・後輩・コメディカルスタッフの助けを受けながら、いつの間にか脳神経外科専門医として成長できました。不安があっても相談し解決できる事は多くあります。「自分に脳外科医が務まるか」と迷っている君、安心して脳神経外科学分野に飛び込んで下さい。全力でサポートします。明るい未来が待ってます。



病棟医長 松元 文孝

私は2006年に宮崎大学を卒業後、臨床実習の際に脳神経外科で働く先生方に接したことでこの診療科へ進むことを決意しました。顕微鏡手術は実にかっこよく見え、この世界で自分も生きたいと思いました。卒後研修後2008年に脳神経外科に入局し、自分の人生が始まったと感じたのをよく覚えています。脳の手術をするという、すごく難しいことをして、自分には無理だと思うかもしれませんが。しかし脳神経外科の大部分の手技は理屈を理解し、最善の作戦を立てることの方が重要です。ここに少しの器用さを添えることで、手術は魔法のように完成していきます。私も多くの先輩から魔法のような手術をたくさん見せていただき、今はそれを自分が実践していく番になってきていると感じています。もし皆さんと接する機会があれば共にこの技術を伝承しながら次の時代につなげていけたらと考えます。

ココに注目！

宮崎県下の脳神経外科専門医数は少なく忙しいのは事実ですが、少ないからこそ短期間での「個人症例経験数」は多くなることはメリットです。また夏季休暇(2週間)と冬季休暇(1週間)はきちんと確保しますし、希望者には国内・海外留学も可能です。

博士号や各種専門医・認定医の資格獲得も手厚く援助致します。また外部講師を招いての講演会(懇親会)を頻繁に行い人脈作成も可能ですし、全国学会や国際学会への積極的な参加もサポート致します。



先輩からのメッセージ



助教 河野 智樹

脳外科には研修医時代に特に外傷に興味を持ち、脳神経外科を専攻することを決めました。宮崎大学脳神経外科は限られた人数で、宮崎県内の脳腫瘍・脳血管障害・脊髄脊髄・小児・機能分野をカバーする必要があり、仕事量が多いと思います。しかし、卒後8年目ですが執刀医の機会も多く、幅広く経験をさせてもらっています。和気あいあいとした医局で一緒に働きませんか。お待ちしております。



専攻医 有川 壮磨

私は学生の頃より外科に興味があり、研修医時代に脳神経外科医が救急外来で対応している姿に惹かれて脳神経外科の道を選びました。脳神経外科は脳血管障害や脳腫瘍にしろ、画像検査等を駆使して緻密な戦略を立てて手術を行うところが魅力の一つです。また当院では従来の顕微鏡手術、脳血管内治療、内視鏡治療に加えて、令和4年度から外視鏡治療も取り入れており、最先端の技術を経験できる環境があります。人数の多い医局ではないですが、先輩方がしっかりご指導して下さい。確かに忙しいですが、休日祝日は当直医が対応するため毎日呼び出されるということはなく、夏休みが2週間、冬休みが1週間あるなどオンオフはしっかりしています。是非一度見学だけでもお越しください。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-3128
F A X : 0985-84-4571

担 当 : 山下 真治

e-mail : miyazakineuros@gmail.com

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/neurosurgery/

脳神経外科 HP



放射線科 専門研修プログラム

目指せー“Doctor's doctor”
必要とされる優れた放射線科医へ！

募集定員
5名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ



放射線科
教授 東 美菜子

放射線医学は、放射線診断(画像診断、核医学、IVR：Interventional Radiology)と放射線治療からなります。近年、高精度で安全な検査・治療を可能にする技術の開発が著しく、人工知能(AI)の研究もさかんで、高度な技術の臨床応用が進んでいます。放射線科では、様々な技術を駆使して、各診療科のニーズに応じ、あらゆる年齢・臓器を対象とした適切な放射線診療を提供することに日々励んでおります。我々宮崎大学放射線科は、宮崎の放射線診療の充実を目的とした人材育成に力を入れ、チーム医療の一員としての心構えや各診療科医師とのコミュニケーションスキル、放射線診療の知識と技術を習得できるような充実した研修プログラムを作成し、熱心に教育を行っています。さらに、最先端の画像技術やAIを用いた研究を行っており、リサーチマインドの育成にも取り組んでおります。みなさんと一緒にお仕事ができる日を医局員一同大変楽しみにしております。

プログラムの特徴

本プログラムは、放射線診断医・放射線治療医となるために必要な研修を、基幹病院である宮崎大学医学部附属病院と連携施設で行います。

- 基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で、放射線診断(画像診断・核医学・IVR)・放射線治療のトレーニングを幅広く受けます。
- 連携施設では、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断を多く経験し、総合的な診療能力を培います。
- 症例報告を含む学会発表の経験を積み、海外での学会発表や論文作成を目指します。
- 希望者は、先進画像を用いた研究や人工知能(AI)研究など、画像診断・放射線治療に関する研究を経験できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	11名	画像診断・IVR・放射線治療
連携施設	県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、藤元総合病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院		
関連施設	都城健康サービスセンター		

取得可能な専門医資格および技能

- 放射線科専門医
- 放射線診断専門医
- 放射線治療専門医
- 核医学専門医
- PET核医学認定医
- IVR専門医
- マンモグラフィ読影認定医
- がん治療認定医

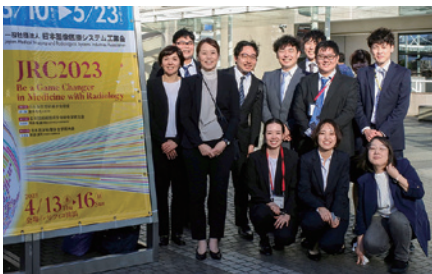
○ 研修コース 本人の希望で決定します

A：大学病院での研修を中心としたコース

B：大学病院で基礎的な研修をしたのち、連携施設中心に研修するコース

C：大学病院・連携施設での研修と博士号取得を同時に目指すコース

	1年目	2年目	3年目
A	大学病院	大学病院	連携施設
B	大学病院	連携施設	連携施設
C	大学病院 (臨床・大学院)	大学病院 (臨床・大学院)	連携施設 (臨床・大学院)



プログラム達成目標

- ① 画像診断・IVR・放射線治療に関する知識の修得
- ② 安全で質の高い医療を提供する専門技能の修得
- ③ 医療人としての倫理観とチーム医療の一員としての姿勢を持つ専門医の育成
- ④ リサーチマインドの育成

経験すべき検査・読影数		経験すべき治療数	
X線単純撮影	400例	IVR	30例
消化管X線検査	60例	放射線治療	30例
超音波検査	120例		
CT	600例		
MRI	300例		
核医学検査	50例		

週間スケジュール

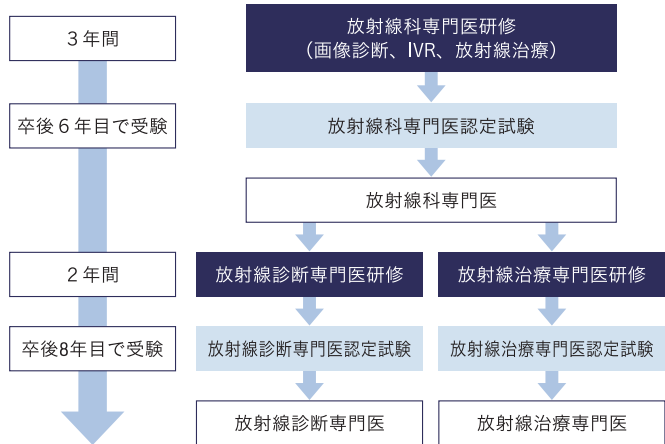
各部門の研修をそれぞれ3～6か月行います。

- ① 脳神経・骨軟部部門
- ② 胸部部門
- ③ 腹部部門(IVR)
- ④ 核医学部門
- ⑤ 放射線治療部門

(腹部部門の例)

	月	火	水	木	金
午前	CT当番 病棟業務	CT当番 病棟業務	IVR 病棟業務	IVR 病棟業務	CT当番 病棟業務
午後	MRI当番	MRI当番	IVR	医局会・勉強会 病棟カンファレンス	MRI当番
夕方	症例レビュー	症例レビュー	症例レビュー	症例レビュー 救急カンファレンス	症例レビュー

専門医取得までのタイムスケジュール



- CT・MRI当番では、CT・MRI室で読影をしながら、撮影方法の決定・検査前チェック(腎機能・アレルギー・金属など)・造影剤の選択・副作用対応など、安全で適切な検査の実施を担当します。
- 腹部部門にはIVRが含まれ、症例を多く経験し、緊急IVRにも対応します。
- 核医学部門では、放射性同位元素を用いた画像診断や内用療法を担当します。
- 放射線治療部門では、治療計画の設計や、治療中の患者の診察・ケアを行います。
- 毎日、グループごとに、その日の症例の診断・治療に関する振り返りを行い、診断に困った症例や皆で共有すべき症例、若い先生にとって教育的な症例などを、グループのチーフがレビューします。
- 指導医と一緒に入院患者を受け持ち、毎週木曜日の病棟カンファレンスで担当患者に関するプレゼンテーションを行います。
- 毎週木曜日の勉強会では、論文紹介や症例提示を担当します。

指導医からのメッセージ



川野 真嗣

CTやMRI、核医学を中心とした画像診断、CTガイド下生検や各種カテーテル治療を行うIVR、手術をせずに癌を治す放射線治療は、様々な医療を提供する現場において中心的役割を担っており、年々必要性が高くなっています。当科では、将来の宮崎の放射線診療を支える専門医育成に情熱をもって取り組んでいます。若手医師、女性医師も多くライフプラン・キャリアプランに関して相談しやすい環境が整っており、ライフステージの変化や個人の希望・能力に応じ多様な働き方ができる医局です。ぜひ一緒に頑張しましょう。

先輩からのメッセージ



松村 研吾

放射線科のお仕事は多種多様です。胎児から亡くなった人まで、頭から足の先まで、健診から診断、さらに治療までかわります。新しい検査法や機器もどんどん開発され、無限に広がる世界が待っています。様々な分野を学びながら、日々楽しく働いています。画像診断の研修は高くなってきており、自分の頑張りがdirectに患者さんに還元でき、やりたい自分、やりたい事を叶えるのに非常に良い職場だと思っています。一緒に宮崎の放射線科を盛り上げていきましょう。



原 卓也

救急・集中治療から放射線科に転科し、放射線科医5年目となりました。画像診断/IVRを中心に、宮崎の患者さんにより良い医療を提供できるよう日々頑張っています。若手も増え、非常に風通しのよい職場で毎日楽しく働いています。画像診断のニーズは高くなってきており、自分の頑張りがdirectに患者さんに還元でき、やりたい自分、やりたい事を叶えるのに非常に良い職場だと思っています。一緒に宮崎の放射線科を盛り上げていきましょう。



山口 朋音

放射線科は裏方的な存在ではありますが、他科の先生方を支える重要な科です。またメインの読影だけでなく、IVR等で治療を行ったりする機会もあり幅広く活躍することも可能です。このように放射線科には様々な可能性があるため、読影に興味がある方にはもちろん、自分の得意分野が分からなかったり興味のある分野が定まらない方にもおすすめできます。実際にローテーションして放射線科の明るい雰囲気を感じて欲しいです。若手医師も多くいるので気軽に見学に来てください！



山田 莉奈

自分は初期研修で宮崎大学放射線科をローテーションして、指導医の熱心な教育体制と活き活きとした若手の先生方を見て入局を決めました。また放射線科はDoctor's Doctorと言われる、読影の所見で他科の先生方に貢献できることも魅力だと感じました。実際に来てみないと想像できない職場だと思います。読影はどの科でも必要だし、一ヶ月だけでも読影力が上がります！ぜひ一度初期研修中にローテーション、見学に来てみてください！楽しく盛り上がって働きましょう！



山田 莉奈

救急が忙しい病院で初期研修をしており、CT/MRIをオーダーする機会が多かったのですが、翌日の読影レポートで自分が見つけた所見の何倍もの情報量が返ってきた時に「同じものを見ているはずなのに」、放射線科医のすごさを実感し専攻を決めました。全ての臓器、年齢を対象にしており非常に奥が深い分野です。また当科では、毎日振り返りの時間があり、自分が読影した症例のフィードバックを診断専門医の先生から直接頂くことができます。先生方もとても優しいので気兼ねなく質問ができる最高の環境です。見学大歓迎ですので、是非一度いらしてみてください。皆さんのことを医局員一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

担当：東 美菜子

T E L : 0985-85-2807
F A X : 0985-85-7172
e-mail : minako_azuma@med.miyazaki-u.ac.jp

放射線科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/>



麻酔科専門研修プログラム

家庭も仕事も大事にしたいから、
麻酔科いいんじゃない・・・

募集定員
10名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

麻酔科
科長 恒吉 勇男



当医局は、麻酔科としてプロフェッショナルになることはもちろんですが、そのために家庭生活がおろそかになるような不合理は認めません。家庭あってのお仕事です。仕事の満足度、収入、家庭に奉仕する時間、それらをバランスよく得られるように最大限配慮しています。

プログラムの特徴

九州各県の代表的な研修施設と連携し、幅の広い研修を積むことができます。もちろん、宮崎大学でも豊富な症例がありますので、立派な麻酔科医に成長することは確約します。4年目に専門医を受験します。集中治療やペインクリニックなども研修できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	恒吉 勇男 教授、他17名	麻酔、集中治療、ペインクリニック
連携施設A	県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院、潤和会記念病院、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、国立病院機構 都城医療センター、都城市医師会、神戸大学附属病院、労働者健康安全機構神戸労災病院、産業医科大学病院、九州労災病院、北九州総合病院、JCHO九州病院、九州大学病院、九州医療センター、市立こども病院、福岡総合病院、福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、久留米大学病院、久留米大学医療センター、大牟田市立病院、聖マリア病院、北九州市医療センター、琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター		
連携施設B	県立日南病院、筑紫市立病院、福岡県赤十字病院、福岡東医療センター		

専門連携施設A：研修プログラムの中核的な施設として十分な臨床実績と指導体制を有する施設

専門連携施設B：必要に応じて部分的な補完が出来る施設

取得可能な専門医資格および技能

- 麻酔科専門医
- 集中治療専門医
- ペインクリニック専門医
- 緩和ケア専門医
- 区域麻酔専門医
- 老年麻酔専門医
- 心臓血管麻酔専門医
- 小児麻酔専門医



プログラム達成目標

昨今、麻酔科は専門性を高め、高度医療には欠かせない診療科となっています。麻酔科ニーズは、宮崎ではとても高いものがありますので、将来にわたって不安なく就労することも出来ます。さらに、ペインクリニック、集中治療、緩和ケアなどのサブスペシャリティーを修得すると、さらに魅力的な麻酔科医に成長することが出来ます。

主要症例名と実績数

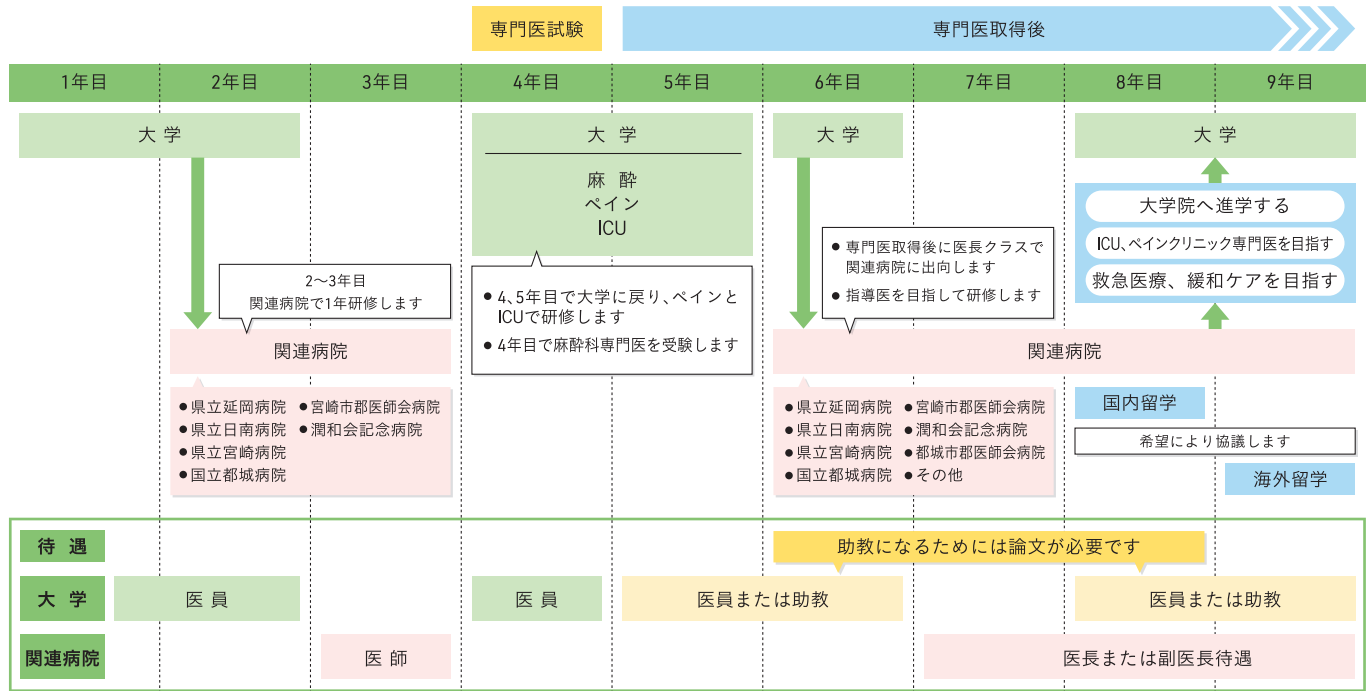
大学病院実績（R2）	
症例	実績数
総手術件数	6,055例
麻酔科管理症例	4,395例
集中治療室	867人

専門医取得までのタイムスケジュール

はじめの2年間は大学にて麻酔研修を行います。基本的な麻酔症例から、2年目には食道がんや心臓手術などの高度な手術の麻酔管理を行い、麻酔全般を満遍なくこなすことで、麻酔科医として一通り完成します。その後1～2年は関連病院に出向し、緊急手術をはじめとして第一線で様々な症例を経験することで、独り立ちできる自信を身に着

けます。4～5年目は、大学にてペインクリニックや集中治療を研修する傍ら、麻酔科専門医試験を受験します。その後は、麻酔の指導医を目指して麻酔を極めるなり、集中治療やペインクリニックの専門医を目指します。また大学院に入学し、学位取得を目指して研究に勤しむこともできます。その先には、夢の海外留学も待っています。

宮崎大学麻酔科 後期研修医研修プログラム



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金	土	日
AM	手術室					休み	
PM	手術室					休み	
当直			当直				当直

指導医からのメッセージ

麻酔科医としてどこでも通用する高い技術レベルを指導します。医局も明るく朗らかで、いい人ばかりです。いわゆるブラックな人はいませんので、安心して仕事に打ち込むことができます。麻酔科医としての成長に終わりはありません。麻酔科は、クオリティオブライフを保ちつつ自己研鑽に努めたい方には是非ともお勧めできる診療科です。心より、お待ちしております。

先輩からのメッセージ

入局を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひ病院見学に来てください。見学に来られた際には、もっといろんなお話ができるかと思いますので、ぜひ見学だけでも来てください。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-9357

麻酔科、集中治療部、ペインクリニック科
担当：石山 健次郎 e-mail : kenjiro_ishiyama@med.miyazaki-u.ac.jp

麻酔科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/masui/



病理専門研修プログラム

信頼され、求められる病理医と一緒に目指そう！

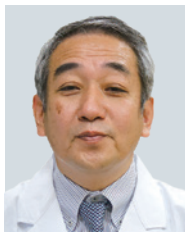
募集定員
2名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

病理診断科科长
佐藤 勇一郎



宮崎大学附属病院病理診断科では、全科・全領域にわたり、病理診断をしています。指導医とマンツーマンで、マクロ・ミクロの病理標本を

みながら、基礎的な標本の見方から希少症例や難しい症例の診断まで経験することができます。病理解剖も執刀医として行い、全身臓器の病理所見、さらに患者様の全体像をとらえる重要なトレーニングがつめます。宮崎県内の連携施設、病理医との関係が強く、連携施設での研修も可能です。学会活動や研究も積極的に行っており、日本病理学会や九州沖縄支部スライドカンファレンスにも参加、発表、論文発表も行っています。宮崎県内の病理医も少しずつ増えています。宮崎大学で、一緒に病理医としてのトレーニングをつんでみませんか。

プログラムの特徴

- ① 全領域にわたる豊富な症例を指導医とともに経験できる。
- ② 各診療科とのカンファレンスがおこなえる。
- ③ 執刀医として病理解剖を行い、全身臓器に精通できる。
- ④ 宮崎県内全ての病理医から指導が可能で、連携施設での研修も可能。
- ⑤ 病理学会、九州・沖縄支部スライドカンファレンスにも積極的に参加、発表、論文作製も行える。

取得可能な専門医資格および技能

病理専門医：病理解剖、生検、術中、手術材料の病理診断、細胞診断が早く正確な診断が行える。

解剖資格医：解剖を安全にかつ正確に行える技能を身につける。

細胞診専門医(新規)：細胞診断を正確に行い、細胞診技師を指導できる。

分子病理専門医(新規)：分子病理に精通、病理検体の管理・提供、遺伝子解析が行える。

連携施設名等

	施設名	指導医	
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	佐藤 勇一郎 病理部部长、他6名	
連携施設1群	県立宮崎病院、防衛医科大学校病院、公益財団法人 がん研究会有明病院、宮崎市郡医師会病院		
連携施設2群	県立延岡病院、県立日南病院、潤和会記念病院、宮崎善仁会病院		
連携施設3群	古賀総合病院、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター、藤元総合病院		

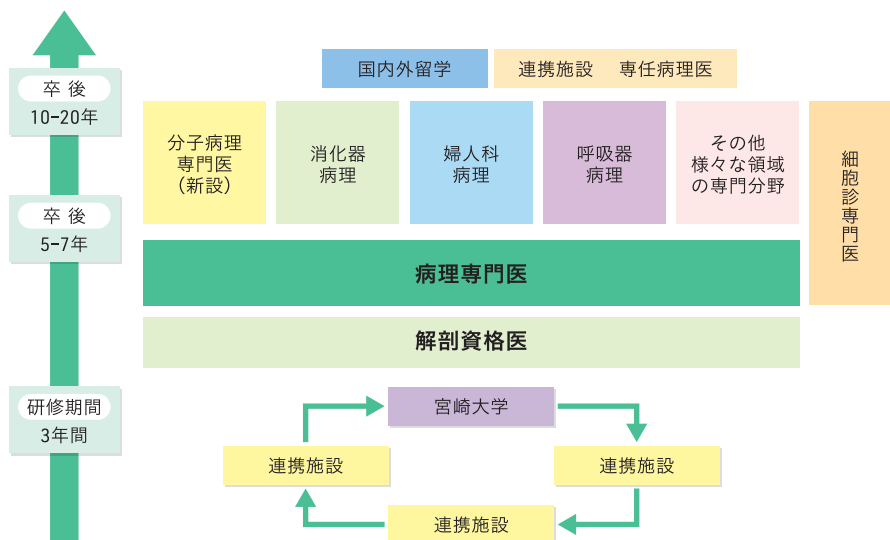
連携施設1群・・・複数の常勤病理専門指導医と豊富な症例を有しており、専攻医が所属し十分な教育を行える施設

連携施設2群・・・常勤病理専門指導医がおり、診断の指導が行える施設

連携施設3群・・・病理指導医が常勤していないが、基幹病院から定期的に指導医が派遣されている施設

専門医取得までのタイムスケジュール

本プログラムでは、宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、3年間は専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。連携施設と併せて年間50例以上の剖検数があり、組織診断も27,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。研修終了後1年間は基幹施設または連携施設において引き続き診療に携わり、研修中に不足している内容を習得します。宮崎大学に在籍する場合には研究や教育業務にも参加していただきます。専門医資格取得後も引き続き基幹施設または連携施設において診療を続け、サブスペシャリティ領域の確立や研究の発展、あるいは指導者としての経験を積んでいただきます。本人の希望によっては留学(国内外)や連携施設の専任病理医となることも可能です。



プログラム達成目標

病理専門医は病理学の総論的知識と各種疾患に対する病理学的理解のもと、医療における病理診断(剖検、手術標本、生検、細胞診)を的確に行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保するとともに患者を正しい治療へと導けることを目標とする。生検、術中病理診断、手術材料の診断においては、診断が比較的容易で症例数の多いものからはじめ、希少症例、難解症例では鑑別診断をあげられるようにする。剖検では、執刀からCPC、および報告書作製まで行い、全身臓器に精通し、症例をまとめる能力を身につける。

日課タイムスケジュール

時間	病理診断当番	解剖当番
AM	生検・手術検体診断	病理解剖
PM	指導医による診断内容チェック	追加検査提出、症例まとめ記載
	手術材料 切出	

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月	火	水	木	金
産婦人科合同カンファレンス	外科カンファレンス	産婦人科術前カンファレンス	神経放射線病理カンファレンス	解剖症例肉眼チェック
頭頸部カンファレンス(隔週)	泌尿器科カンファレンス(隔週)	骨髄生検カンファレンス	外科病理抄読会	
呼吸器カンファレンス(隔週)	腎生検カンファレンス	C P C	研究検討会	

指導医からのメッセージ



盛口 清香

皆さんが思う病理医って、どんな感じでしょうか？ 華やかさはありません。患者さんに、ありがとうと言われることも、ほとんどありません。地味と言えば地味です。でも、私が顕微鏡をみて下した診断が、患者さんの治療に繋がると思うと、気が抜けない、重要な仕事だと誇りに思っています。そんなお仕事、一緒にやってみませんか？

先輩からのメッセージ



都築 諒

病理診断科で専門医研修2年目の都築です。学生時代はあまり病理に興味が無く、漠然とムスカイイものという印象でした。研修医の時に病理をローテーションした際に、診断病理を経験することで、病理の魅力に引き込まれました。ただ組織所見を見つけるだけではなく、なぜそのような組織像になったのか、考えることは非常に面白いです。また上級医とのディカッションでまた新たな解釈を学ぶことができ、成長が実感できます。嗜めば嗜むほど味が出てきます。他にも病理医の魅力があり、ベッドフリーなので時間の融通が効きます。仕事とプライベートを両立したく、顕微鏡で見ることにアレルギーがない方は向いていると思います。病理医も選択肢として如何でしょうか？

主要症例名と実績数

症例	実績数
組織診断	約25,000
術中迅速診断	約1,300
細胞診	約30,000
病理解剖数	約60

梅北 佳子



もともと臨床医志望でした。学生時代の病理学の授業や試験は記憶にないです。私にとって病理とは、そのくらい縁遠い世界でした。研修医時代、同期が病理を選択していたので、つられて私も選択してみました。それが運命の出会いでした。意外に自分に合っていることに気が付き、入局、今に至ります。病理診断の楽しさを短い文章でお伝えするのは難しいです。少しでもご興味があれば、まずは一カ月、病理診断科で研修してみしょう！

黒木 麻由



専門医研修1年目の黒木です。学生時代に研究室配属をきっかけに病理に興味を持ち、入局するに至りました。病理に対する印象を聞いてみると多くの学生や先生方から「難しそう」「試験が厳しかった」「よく分からない」といった声をよく耳にします。一般の方からもあまり知られていないというのが実情です。しかし最近では漫画の題材になったほか、芸能人の発言で取り上げられたことにより少しずつ知名度を得てきています。どんなきっかけであれ、病理について知り、興味を持っていただけたら嬉しいです。一緒に病理医として働く仲間が増えることを心待ちにしています。

お問い合わせ先

担当：佐藤 勇一郎

T E L : 0985-85-2809

F A X : 0985-85-2809

e-mail : yuichiro_sato@med.miyazaki-u.ac.jp

病理 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathology/>



募集定員
1名研修期間
3年

責任者からのメッセージ

検査部
部長 梅北 邦彦

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

プログラムの特徴

初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと(セカンドキャリア)も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

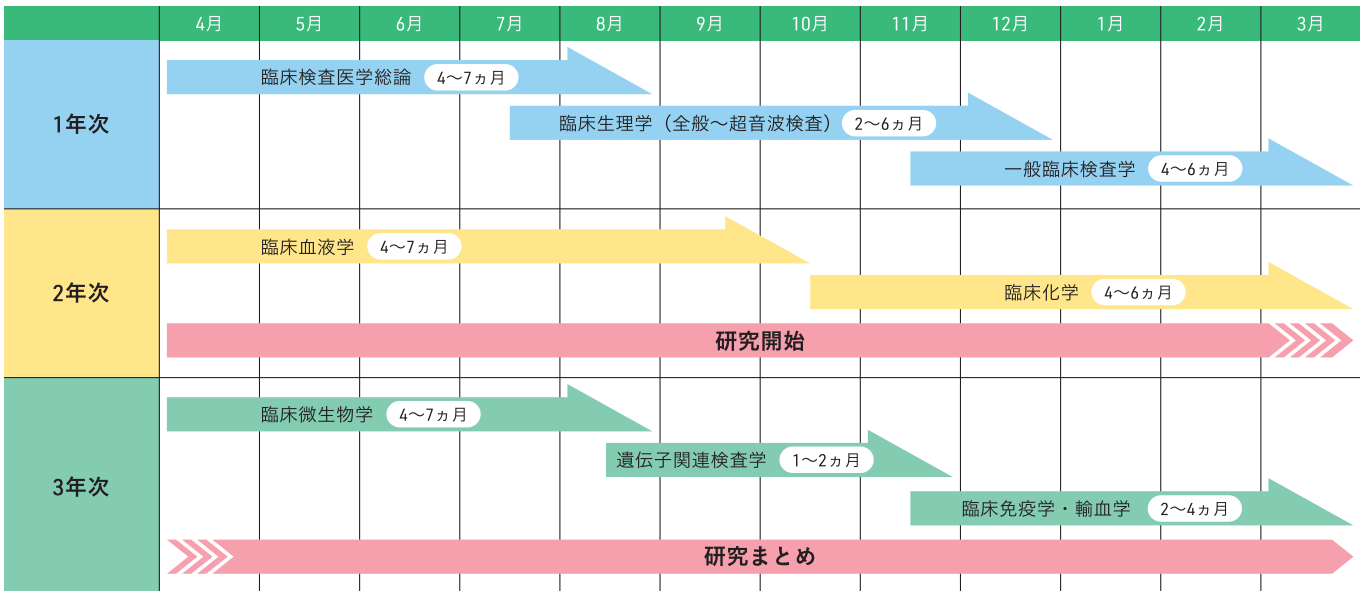
取得可能な専門医資格および技能

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。

以下はプログラム制の例です。3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなども設計できますので、ご相談ください。



プログラム達成目標

以下の項目達成をプログラム制では3年間の目標とします。

- ① 経験すべき臨床検査として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学があります。
- ② 報告書の作成とコンサルテーションへの対応として、臨床検査の報告書作成、施設内のチーム医療活動への参加、コンサルテーション対応などがあります。
- ③ 検査データカンファランス(RCPC: reversed clinico-pathological conference)に参加します。
- ④ 宮崎県で行われる地域の検査事業に参加します。また臨床検査専門医資格を受験するためには臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち筆頭者としての原著論文が少なくとも1編以上あること)が必要です。

週間スケジュール

下の例は臨床生理学(特に超音波検査)の研修を優先させる場合について記載します。

○ 超音波検査集中研修時

時 間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習
午後	超音波検査研修				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

○ 超音波検査研修修了後

時 間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

指導医による指導・自己学習

検査室以外の場所(医局、研修室など)での研修です。指導医や上級検査技師によるミニ講義、過去の検査報告書・教材の自己学習、研修レポートの作成などを行います。

検査室研修・検体検査診断業務

検査室における研修で、検査の実施、見学、判定、報告書作成などを行います。研修が修了している検体検査科目は診断業務を行います。例えば、血液検査の研修が修了していれば骨髄像検査の報告書作成を行います。

主要症例名と実績数

- ① **臨床検査医学総論**: 外部精度管理(日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、CAPなどが実施)の成績(3回以上)。
- ② **一般臨床検査学・臨床化学**: 内部精度管理(10項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(10項目以上について。各項目は3回以上)。
- ③ **臨床血液学**: 内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。病的末梢血液像、病的骨髄像についてはあわせて10例以上。
- ④ **臨床微生物学**: 一般細菌培養(グラム染色所見を含む)により起因菌同定と薬剤感受性試験が行われた症例(10例以上)。抗酸菌培養、抗酸菌塗抹検査が行われた症例(3例以上)。
- ⑤ **臨床免疫学・輸血学**: 内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。血液型判定(変異型も含む)、クロスマッチ、不規則抗体検査が行われた症例(3例以上)。
- ⑥ **遺伝子関連検査学**: 血液造血器腫瘍、悪性腫瘍、薬物代謝に関連した遺伝子、または遺伝性疾患の遺伝子診断が行われた症例(2例以上)。
- ⑦ **臨床生理学**: 超音波検査(5例以上)、心電図検査(5例以上)、呼吸機能検査(2例以上)、神経・筋関連検査(2例以上)。超音波検査は実施したものとする。

救急科専門研修プログラム

病院前から集中治療まで管理できる
General Emergency Physicianを目指す！

募集定員
7名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

救急科
教授 落合 秀信



本プログラムは、ドクターヘリやドクターカーなどによる病院前救急診療から、ER型救急、救急集中治療、重症多発外傷、そして精神科

の関連する救急医療まで幅広く研修することにより、いつでもどこでも地域のニーズやシステムに応じ即戦力となって救急医療を展開できる、“救急科の総合医”を育成することを目的としています。それと同時に、地域から世界へ情報発信できる“academic emergency physician”の育成も目的としています。

“いつでもどこでも地域に根差した高度な救急医療の提供”と“世界を視野にいたれた情報発信”を合言葉と一緒に研鑽していきませんか？

プログラムの特徴

本研修プログラムは、重篤な多発外傷、内因性疾患、特殊な中毒疾患、重症熱傷について、初期治療から集中治療まで継続して診療し、重症患者の初期対応や全身管理について学ぶことができます。また、ドクターヘリ、ドクターカー等の病院前救急診療や災害医療を学ぶ体制も充実しています。救命救急センター内に救急初療室を忠実に再現したシミュレーション室や病院前救急診療の研修に特化した救急車カットモデルを有しており、教育体制についても十分に整備されています。また特殊な教育的試みとして解剖体を用いた救急手技トレーニングシステムを構築しており、経験する頻度の少ない重要手技について解剖体を用いて修練を積むことも可能です。

YouTube
救急科専門研修
プログラム紹介



連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	落合 秀信 教授、他15名	三次救急医療施設、基幹災害拠点病院、災害拠点病院、ドクターヘリ、ドクターカー配備、地域MC協議会中核施設
連携施設	県立宮崎病院、宮崎善仁会病院、都城市郡医師会病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、小林市立病院		
関連施設	高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、串間市民病院		

取得可能な専門医資格および技能

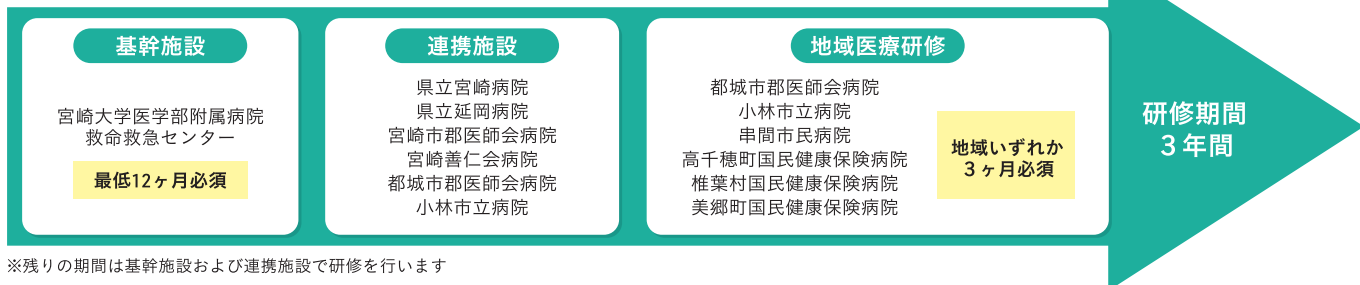
救急科専門医を取得することができます。救急科領域の専門研修中における、研修プログラムで示した集中治療領域の専門研修に関しては、サブスペシャリティ領域の集中治療専門医修練としてみなすことができます。他にもサブスペシャリティ領域として、感染症専門医、熱傷

専門医、外傷専門医、脳卒中専門医、消化器内視鏡専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、脳神経外傷専門医、透析専門医への連続的な育成が配慮されます。その他、ICLSやJATEC、JPTECなど救急系教育コースのインストラクターを目指して頂きます。

専門医取得までのタイムスケジュール

原則として、3年間の研修期間中、基幹施設での研修期間を最低12ヶ月必須とし、連携施設である県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、小林市立病院のいずれかでの研修を3～6ヶ月必須とします。地域医療の研修として、小林市立病院、都城市郡医師会病院、串間市民病院、高千穂町国民健

康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院のいずれかでの研修を最低3ヶ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。



※残りの期間は基幹施設および連携施設で研修を行います

プログラム達成目標

専門研修後の成果として掲げた能力を十分に備えるために、知識・技能、学問的姿勢と医師としての態度を目標とします。救命処置、診療手順、診断手技、集中治療手技、外科手技については定められた項目の症例、手技などを定数経験することで専門技能を修得します。また、学会・研究会などに積極的に参加、発表し、論文の執筆が義務付けられています。

主要症例名と実績数

救急症候に対する診療 : 21項目、各3症例まで。
急性疾患に対する診療 : 8項目、各3症例まで。
外因性救急に対する診療 : 15項目、各3症例まで。
小児、特殊救急に対する診療 : 6項目、各3症例まで。
重症患者に対する診療 : 10項目、各3症例まで。
経験すべき手術(救急手技)・処置はおおよそ35項目定められています。
例) 心拍再開後の集中治療経験必須5例、緊急気管挿管経験必須3例

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	診療科カンファレンス チーム回診	診療科カンファレンス 教授回診 チーム回診	診療科カンファレンス 勉強会 (抄読会、レクチャー、 症例検討等)	休 眠	診療科カンファレンス 教授回診 チーム回診	診療科カンファレンス チーム回診	休日 (月5回)
午後	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	当直・ドクターカーによる診療 (※月5回程度のシフト制)	休 眠	入院患者診療	
夕方			専攻医勉強会 シミュレーション教育 (月2回程度)	放射線科 合同カンファレンス (週1回)			

※ 救急外来診療、ドクターヘリによる診療(※月4～5回の当番)



指導医からのメッセージ



教育医長 佐々木 朗

当センターの専攻医教育の特徴として、専攻医1年目を「チームリーダー＝主役」としており、指導医の手厚いサポートのもとで診療方針を決定してもらいます。日々の診療で湧き出てくる臨床疑問を専攻医が主体的に調べ、さらにアウトプットできる教育を意識しています。ドクターヘリにも専攻医1年目から指導医とともに搭乗してもらい、早期から病院前診療に対する教育を受けることができます。また、大学病院以外の救急関連施設をローテートし、ER型救急、ドクターカー、地域救急医療の研修も受けてもらいますので、救急医療を行う施設や場所を問わず、即戦力として宮崎県の救急医療に貢献できる救急医を育成する教育体制が揃っています。

先輩からのメッセージ



専攻医 井之上 晃

本プログラムでは1年目は大学病院の救命救急センターで研修し、2年目以降で地域の複数の基幹病院で研修を行います。大学病院では屋根瓦式の指導体制の下チームリーダーとして最前線で重症患者の初期診療や集中治療管理を行い、2年目以降は基幹病院で研修を行い、軽症から重症まで多岐にわたる患者を診療し、地域医療の一端を担いながら研鑽を積むことができます。初めのうちは慣れないことが多く、上手いかないこともあります。上級医の先生の手厚い指導により、重症患者を救命するための力を身につけることができるプログラムになっています。

お問い合わせ先

担 当：長野 健彦

T E L：0985-85-9547
F A X：0985-85-9105
e-mail：takehiko_nagano@med.miyazaki-u.ac.jp

救急科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/kyuumei/index.shtml>



総合診療専門研修プログラム

ALL MIYAZAKIでつくる
地域医療を支える医療人のためのプログラム

募集定員
6名

研修期間
3年



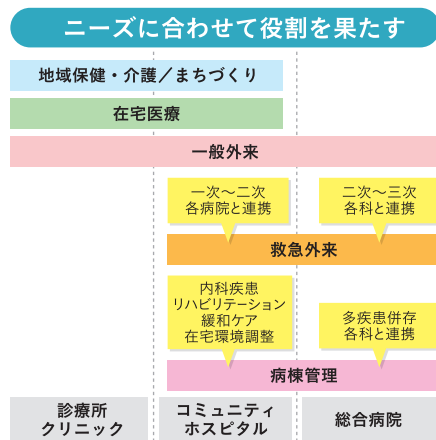
責任者からのメッセージ

地域包括ケア・総合診療医学講座
特別准教授 桐ヶ谷 大淳
地域医療・総合診療医学講座
教授 吉村 学

地域で暮らす人々にとって役に立つ医師として活躍してみませんか。幅広く深い臨床能力と心優しいマインドを備え、そして様々な人々とコラボ、地域に暮らす人々の生活を支え、よりよい街づくりにも貢献できる専門医、それは総合診療医、家庭医とも呼ばれます。日本では出来たての専門医ですが、知識・技能・態度それぞれに領域別専門医とは違った専門性を持ち、世界ではこうした医師こそヘルスケアの基盤を担っている重要な存在です。宮崎で、そしてオール宮崎で育てようとしています。新しいからこそ、ワクワクする道が待っています。ぜひ飛び込んできてください。全力で育成します！

プログラムの特徴

2021年度よりALL MIYAZAKI体制として宮崎県内の熱い総合診療医が揃い、今までバージョンアップした指導体制でプログラム運営しています。2020年4月に寄附講座の設置された都農町／都農町国民健康保険病院が基幹施設となり、大病院での病院総合医(ホスピタリスト)と中小病院での家庭医療(家庭医)という総合診療の2軸をしっかり学ぶことができます。県内3つのプログラムとも協働し、県央地区での研修も強化し研修先の選択肢の幅が広がりました。Web会議を利用した勉強会、教育コンテンツの増強、海外専攻医(タイPSU他)との交流を行い、総合診療ならではの専門性を身につけていきます。プログラム修了後も多彩なキャリアプランを用意しています。



連携施設名等

ALL MIYAZAKI プログラム

総合診療 18ヶ月 + 内科 12ヶ月 + 小児科 3ヶ月 + 救急科 3ヶ月

1 都農町国民健康保険病院 (総合診療、小児)

幅広い疾患、在宅医療／緩和ケア、内視鏡
学生教育／まちづくり・地域保健

2 古賀総合病院 (総合診療)

3 宮崎生協病院 (総合診療、小児)

4 県立宮崎病院 (内科、救急、小児)

多疾患併存の病棟管理／診断困難症例の外来
内科専科トレーニング

以下も選択可能

- 5 宮崎大学附属病院(救急)
- 6 県立延岡病院(救急)
- 7 都城市郡医師会病院(救急)
- 8 高千穂町国保病院(小児、総診、内科)
- 9 県立日南病院(内科、総診)
- 10 宮崎市立田野病院(総診)
- 11 小林市立病院(総診)
- 12 美郷町国保西郷病院(総診)
- 13 椎葉村国保病院(総診)
- 14 おおつか生協クリニック(総診)
- 15 和知川原生協クリニック(総診)
- 16 このはな生協クリニック(総診)
- 17 串間市民病院(総診)
- 18 西米良診療所(総診)
- 19 ホームクリニックみまた(総診)

他 福岡2ヶ所 鹿児島3ヶ所

キャリアや希望に
合わせて
調整可能な3年間

取得可能な専門医資格 および技能

- 総合診療専門医
- 新・家庭医療専門医
- 在宅医療専門医

- 1 外来、救急、病棟、在宅という多様な診療の場において、全人的、包括的かつ継続的に医療を展開できる能力
- 2 患者中心の医療面接から、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などを理解するコミュニケーション能力
- 3 地域のニーズに沿って、必要な医療技術を習得できる能力
- 4 限られた人材、医療資源を用いて、適切な医療をスタッフと協同行うリーダーシップ能力



専門医取得までのタイムスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療Ⅱ						内 科					
	古賀総合病院						県立宮崎病院					
2年目	内科						救 急			小 児		
	県立宮崎病院						県立宮崎病院			宮崎生協病院		
3年目	総合診療Ⅱ						総合診療Ⅰ					
	宮崎生協病院						都農町国民健康保険病院					

プログラム達成目標

患者の縦断的、横断的なマネジメントおよび、医療、介護、福祉との連携を実践することができ、研修修了時には地域包括ケアを実践する能力が習得できます。

- 日常に多く遭遇する疾病や傷害に対する初期対応能力を習得する
- 地域で対応が求められる各診療科のコモンディーズには、専門医へのコンサルトの見極めを含め対応できるようになる
- 地域で生活する患者の情報を、多職種で共有して解決するスキルを習得する
- 患者の診断や治療まで積極的に行い、かつ患者の生活背景を考えた退院後のマネジメントができるようになる
- より複雑な症例や患者の問題点を多職種連携で共有し、解決できるようになる

主要症例名と実績数

都農町国民健康保険病院総合診療科

入院症例数5-10名程度、外来は半日10-20名前後(新患含む)、在宅患者数名を担当しながら、入院・外来・救急・在宅と多様な診療の場での診療を行います。コモンディーズ、多疾患合併症例、下降期慢性疾患の対応、複雑困難事例、緩和ケア・終末期など多彩な症例を経験、総合診療科のコアスキルを研鑽しながら修得します。他にも小児・思春期から高齢者まで、リハビリテーションやメンタルヘルス、予防医学など多岐にわたる分野を、他の領域別専門医や多職種などと連携しながら経験できます。

プログラム紹介動画を作成しました。
詳しくはこちら



指導医からのメッセージ



早川 学

私は“最強の総合診療医”になることを目指しています！
私の中で“最強”とは、診療所・在宅医療～総合病院までどんな規模の医療機関でも働く能力を有し、医学生～初期研修医・専攻医のどんな学年にも適切な指導が可能で、学会発表や論文執筆もきちんと行い、その指導もできる医師をイメージしています。もちろん私自身もまだまだ“最強”への道のりは遠いのですが、我々はそのような医師になることが可能となる、素晴らしいプログラムを用意しています。ぜひ一緒に“最強の総合診療医”を目指しませんか？ お待ちしています！

先輩からのメッセージ



梶田 一旭

『患者さんの力になりたい』医師を志す者であれば共通する想いを、臓器によらず、年齢によらず、働く場所によらず、発揮したいと思う方に適切な専攻医研修だと思います。プライマリ・ケア、病む人が最初に医療の門戸をたたく最前線で、common diseaseや救急医療において適切な医療を提供する事、場合によっては専門科への適切な道筋をたてる事、また、治療のみならず予防医療を行う事、医療以外の介護や福祉、社会的な問題が絡んだコンプレックスケースにも多職種と連携して解決策を探る事。将来どの様な道を志そうとも医師として基礎・コアとなるスキルを習得することができる充実した3年間でした。



枝元 真人

専攻医1年目は串間市民病院で救急外来・一般外来・急性期病棟管理・在宅医療と幅広く携わることができました。救急外来で出会った患者さんを病棟で入院管理し、自分の外来で付き合っていくたり、在宅で看取ったりと、一人一人の患者さんにとことん付き合っていく楽しさがあります。また、院内の勉強会を開いたり、地域の座談会に足を向けたりと、「患者・病院・地域をより良くするために、やろうと思ったことは何でも自分の仕事にできる」土壤があり、それを支えてくれる指導医がいる恵まれた環境です。1つの診療科にこだわらず、患者さんや地域を丸ごと支えてみたいという方にお勧めできるプログラムになっています。

ぜひこの分野のパイオニアに！熱いです。熱い地域医療と一緒に燃えてやろう。

お問い合わせ先

担 当：吉村 学

T E L：0985-85-9809
F A X：0985-85-9805
e-mail：chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp

総合診療科 HP

<https://chiikiiryo-miyazaki.jp/>



○宮崎大学専門研修プログラム専攻医(医員)の処遇について

専門研修プログラム専攻医の身分	非常勤医師(医員)					
専門研修プログラム専攻医の給与	宮崎大学医学部附属病院の就業規則に準じて給与が支払われます。 詳細は、お問い合わせください。					
	賞 与	無	時間外手当	有	宿日直手当	有
勤務時間	月曜～金曜 8時30分～17時15分(週38.75時間勤務)					
休 暇	有給休暇		1年次 10日 (2年次以降は非常勤就業規則に準じて増えます。)			
	特別休暇の有無		有(夏季休業、リフレッシュ休暇、産前産後休暇等)			
	その他の休暇		無給休暇(病気休暇)			
宿 舎	専門研修プログラム専攻医(医員)は、宮崎大学が所有している宿舎に入居することができます。 (状況により入居できない場合があります。)					
社会保険及び労働保険	公的医療保険		文部科学省共済組合			
	公的年金保険		厚生年金保険			
	労働者災害補償保険の有無			有	雇用保険の有無	有
健康管理	健康診断		年1回実施			
	その他		特殊健康診断・特別定期健康診断(該当職種者の場合)、 臨時健康診断(必要がある場合)			
医師賠償責任保険の取り扱い	医師賠償責任保険の加入は、大学病院で加入。					
兼 業	可					
保育園	院内保育園あり (くすのき保育園)					

※ 専門研修連携施設等に在籍期間中は、各病院の待遇によります。

○宮崎大学医学部附属病院施設紹介

くすの木保育園

病院前宿舎敷地内に宮崎大学に勤務する職員の乳幼児を預かる「くすの木保育園」があります。週2日の24時間保育、延長保育、一時預かり、病後児保育も行っています。

	保育時間
基本保育	月～土 7:00～19:00
延長保育	月～土 19:00～22:00
終夜保育	火・木 22:00～翌7:00

詳しくはこちらへ



子育て応援します! 勤務に合わせてご利用ください。

就学児一時預かり室

木原職員宿舎F102に、清武キャンパス職員が保護者である小学生を対象とした「就学児一時預かり室」があります。

● 開設曜日と時間

月～金(祝日は除く) 17:00～19:30

● 対象

清武キャンパス職員が保護者である小学生
(本預かり室に慣れるため小学校入学前の利用可。)

詳しくはこちらへ



宮崎大学附属図書館医学分館(清武キャンパス)

1階は、オープン学修スペース・ラーニングコモンズ。2階は静かに集中して学習できるキャレル、e-ラーニングルームなどを完備。医学系の専門書などのべ12万3,000冊以上の蔵書を揃え、多様化する“学びの形”を支えるため広く活用されています。

	月～金	土・日	祝・休日
通常期	9:00～20:00	13:00～17:00	休 館
休業期	9:00～17:00	休 館	



○仕事も趣味も充実! 理想のワークライフバランスを実現!

宮崎県では、サーフィン、ゴルフ、スノーボードなどアクティブなスポーツを楽しむことができます。
仕事を忘れるくらい没頭できる趣味も宮崎ではじめてみませんか。

スキー・スノーボード

日本最南端の天然スキー場です。スノーボードも全面滑走可能で雪質も良く、毎年たくさんのスキヤー・スノーボーダーで賑わっています。



ゴルフ

南国ならではの一年中温暖な気候のため、冬場でも緑の芝が美しく映えるなど、一年を通して最高の環境でゴルフが楽しめます。



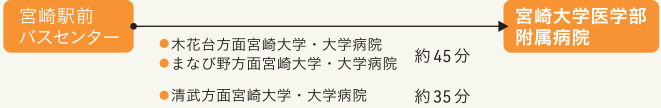
サーフィン

県北の日豊海岸から南国らしい明るい海が開ける日南海岸まで、約400kmにわたって海岸線が続いています。宮崎の海は全国屈指のサーフポイントが点在し、初心者から上級者まで誰もがサーフィンを楽しむことができます。



○アクセス

バス



宮交シティ



JR



車・タクシー

- 南宮崎駅から 約25分
- 木花駅から 約15分
- 宮崎空港から 約20分
- 清武駅から 約10分

